



デジタルレコーダー

C-DR096D10 C-DR096D20 C-DR166D20 C-DR166D40



このたびは、TOA デジタルレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上 げます。

安全上のご注意	
使用上のご注意	
個人情報について	
機器を譲渡・廃棄される場合	
ネットワーク使用時のセキュリティ対策について	
AVC/H.264 特許ライセンスに関するご注意	
アフターサービスについて	
ソフトウェア使用許諾契約書	
第1章本機の概要	
用語の説明	
概 要	1-3
品番の見方	1-3
特 長	1-3
各部の名称とはたらき	
前 面	
後 面	1-8
第2章 接続のしかた	
接続のしかた	
基本システム	
スター配線について	
デジタルレコーダー拡張システム(カスケード接続)	
外部端子に接続する	
RS-232C 端子の接続	
通信プロトコル	2-5
RS-232C コネクターピンの配列	
LAN 端子の接続	
NTP サーバーから時刻を取得する	
増設ユニット接続端子の接続	
ケーブルの固定について	
アラーム入力端子の接続	
コントロール出力端子の接続	

制御入出力端子の接続	
調時入出力端子の接続	
無停電電源装置(UPS)の接続	
UPS にデジタルレコーダーを1台接続する場合	
UPS にデジタルレコーダーを2台接続する場合	
リモコン入出力端子、カメラ制御端子の接続	
端子の接続のしかた	2-13
電源ケーブル用クランプ	2-14
ラックマウントのしかた	2-14
第3章 操作のしかた	
本機の起動と終了	
本機の起動	
主電源投入時にスタンバイ状態にする	
スタンバイ状態から起動する	
本機の終了	
初期設定	
DVR-ID を設定する	
時刻を合わせる	
ハードディスク増設ユニットを設定する	
ハードディスクを初期化する	
解像度の設定をする	
自動録画の設定をする	
スケジュールを設定する	
グループの設定をする	
その他の設定をする	
モニター表示	
モニターを切り換える	
ライブモードと再生モードについて	
ライブモードの表示	
再生中の表示	
1 画面表示で見る	
多画面表示で見る	
シーケンス表示で見る	
ズーム表示で見る	
その他の機能	
音声チャンネルを切り換える	
動きのある映像のノイズを除く(デインターレーシング)	
リモートコントローラーを使用する	

コンビネーションカメラを制御する	
配置設定をする	
トリプレックス設定をする	
録 画	
録画をする前に	
ディスクモード	
ハードディスクの録画の順序	
上書設定	
録画モードについて	
緊急録画	
緊急録画のしかた ······	
自動録画(アラームイベント録画、ノーマル録画)	
アラームイベント録画	
アラームイベント録画のしかた	
ノーマル録画	
プリ録画	
録画状態について	
自動(ノーマル録画)で録画をする	
緊急、アラームイベント発生時だけ録画する	
緊急発生時だけ録画する	
エッジ/レベル設定時の録画動作について	
	0-20
五	
「つ」 ー 再生の種類	
再生のしかた	
再生する	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
~ () _ / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
日本 / 0 最も古い映像を再生する(最古再生)	
最も新しい映像を逆再生する(最新逆再生)	
「マローフマー」」」「「「「「」」」」」	رد_ک ۱۲۵-۲
	2-32 3-32
イベント飛げしをする	 مورو
1 · · / 「川5なした y る	3-32
格	کۍ کې
17 示 日時で検索する	
	0.00

フピー	
- 日時を入力してコピーする	
再生映像からコピーする	
コピー実行中の表示	
コピー中の表示	
コピーの停止	
コピーの終了	
エラーメッセージについて	
コピーしたデータを見るとき	
フォルダー構成とファイル名	
ビューアーソフトによる再生	
ビューアーソフト	
機能について	
バックアップのしかた	
エラーメッセージについて	
フォルダー構成とファイル名	
静止画の保存のしかた ······	
エラーメッセージについて	
改ざんチェックをする	
カキ - リティ	2 50
ビイ エ ク ノ イ 木欅の操作キーに対するセキュリティ	
USB キーによろセキュリティ設定	
USB キーの堤作レベルについて	
USB キーの登録と USB キーレベルの設定のしかた	
USB キーの登録を解除する	
ログインとログアウト	3-53
ロノーンとロノナント	2.54
ハスフートの八刀採TF	3-54
USB キーの設定が <u>無効のとき</u>	2.55
	3-55
外面アノビスに対するビイユリアイ設定 Web ブラウザーアクセスに対するセキュリニッ語字	
Web $\mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} \mathcal{I} $	
異常時の動作	
ブザーを停止する	
異常文字表示	
ハードディスクエラー	
再生停止の警告表示	
エラー発生時のハードディスクの確認	
ハードディスクエラーが発生したら・・・	
BD エラー	
BD エラーが発生したら・・・	
	0-09

ビデオロス	3-60
ビデオロスが発生したら	3-60
ファン異常	3-61
ファン異常が発生したら	3-61
ハードディスクフル	3-61
ハードディスクフルが発生したら	3-61
停電復旧後の動作について	3-62
モニター表示	3-62
録 画	3-62

第4章 設定のしかた

設定項目の一覧	4-2
メインメニュー設定項目一覧表	4-2
サブメニュー設定項目一覧表	4-4

メインメニューの設定	
基本の操作	
設定を保存するとき	
実行操作するとき	

録 画設定	
<u> </u>	4-7
D1 (704 × 480)、HD1 (704 × 240)の場合	
CIF (352 × 240)の場合	
緊急録画設定	
録画設定(緊急録画) ····································	
音声設定(緊急録画)	
自動録画設定	
スケジュール	
グループ A ~ F 設定	
特定日設定	
モーション設定	
音声設定(自動録画)	
プリ録画設定	
音声設定(プリ録画)	

囲	面表示說定	4-21
	文字表示設定	4-22
	モニター出力設定	4-23
	シーケンス設定	4-23
	カメラ名設定	4-24
	DVR 名設定	4-24

ネットワーク設定	4-25
WEB 管理者パスワード設定	4-26

メール設定 送信条件設定	4-27 4-28
システム設定	
ブザー/異常表示設定	4-30
入出力端子モード設定	4-30
コントロール出力端子設定 ·······	4-31
セキュリティ設定	4-32
カメラプリセット設定	4-33
ログ表示/出力	
録画ログ 	
異常ログ	
システムログ	4-37
時刻設定	4-38
機器メンテナンス	
ハードディスクの初期化	
ハードディスクの稼働時間	4-41
サブメニューの設定	
第5章 Web 機能	
Web サーバー機能	5-2
機能について	5-2
初めて Web ブラウザーに接続するときのご注意	5-3
ソフトウェアをインストールする	5-3
Windows Vista、Windows 7 を使用するときのご注意	5-4
ブラウザーを「管理者として実行」する方法	5-4
ログインのしかた	5-5
アクセス禁止の場合	
トップページ	
管理者アカウントの場合	5-6
ユーザーアカウントの場合	
メニュー画面	5-7
	5-7 _
Web	
ライブ配信	
再生配信	
日時検索	
イベント検索	

バックアップ5-17	7
エラーメッセージについて	3
フォルダー構成とファイル名	9
ビューアーソフトによる再生	Э
リモートコントロール 5-20)
第6章 補 足	
ファイルサイズ一覧表	2
録画時間表	2
故障かな?と思ったら	7
仕 様	9
パーソナルコンピューター要件	3
付属品6-13	3
別売品 6-13	3
機器保証書 6-14	4

安全上のご注意

- ●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止す るために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について





設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。 火災・感電の原因となります。

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。 火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。 また、コードの上に重いものをのせないでください。 火災・感電の原因となります。

電源のアースをとる

アース線を取り付けないと、感電の原因となります。 ただし、ガス管は危険ですから、絶対に接続しないでください。 アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。 また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから切り離して から行ってください。

い。 一離して



禁止

禁止

禁止



LAN 端子に過電圧を加えない

LAN 端子に過電圧が加わるおそれがあるネットワーク機器を接続しないでくだ さい。感電、火災の原因になります。

禁止

禁止



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容を示しています。



万一、異常が起きたら

次の場合、電源を切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ● 煙が出ている、変なにおいがするとき ● 内部に水や異物が入ったとき

- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・ 感電の原因となります。 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだ り、落とし込んだりしないでください。 火災・感電の原因となります。

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。感電の原因となり ます。

接触禁止

禁止

禁止

電源プラグ を抜け

禁止

電源プラグ

を抜け

分解禁止

禁止

禁止

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることが あります。

通風口やファンの開口部をふさがない

通風ロやファンの開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

また、通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。

10 取扱説明書



使用上のご注意

- ●付属の電源コードは、本機専用部品です。本機以外の機器には使用しないでください。
- 増設ユニット接続端子、リモコン入力端子 A のモジュラーコネクターに電話回線を接続しないでください。
- ●温度が +5℃~ +40℃、湿度が 80 % 以下(ただし結露のないこと)の場所で使用してください。
- ●本機の移動は電源を切った後、30秒以上経過してから行ってください。
- ●寒いところから暖かいところへの移動やエアコンの吹き出し口付近の設置などは、結露が発生しやすいので避けてください。結露が発生したときは十分に乾くまで電源を入れないでください。また、寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ場合は、半日程放置してから使用してください。
- ●ほこりの多い場所や、油煙、蒸気、直射日光の当たる場所には設置しないでください。 また、特にほこりが多くない場所でも、通風口にほこりがたまる場合があります。内部温度の異常な上昇の原因となるため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年1回程度実施することをお勧めします。

- ●本機を掃除するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。またひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン、シンナー、アルコール類、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や故障の原因になります。
- ●通風口や冷却用ファンをふさがないでください。内部の温度が上昇して、故障の原因となることがあります。 壁などに近づけて設置しないでください。(100 mm 以上のスペースを空けてください。)
- ●本機には冷却用ファンが内蔵されていますのでモーター音がします。モーター音が共振しない場所に設置してください。
- ●ファン異常が発生した場合は、すぐに電源の供給を停止してください。ファン異常発生後、電源を入れた ままにすると内部の温度が上昇し、機器が故障することがあります。
- 強力な磁界や強い電波のある場所には設置しないでください。映像が乱れたり、故障の原因となることがあります。
- ●本機は、電気用品の技術上の基準を定める省令第2項の規定に基づくクラスA情報技術装置です。 住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させるおそれがあります。その際、本機の利用者は、適切な 手段を講ずることが必要とされることがあります。
- ●本機に強い衝撃を与えないでください。 本機は精密機器です。落としたりして強い衝撃を与えると、故障の原因になります。 輸送するときは、付属のカートンに梱包し、本機に衝撃を与えないように注意してください。
- ●本機を振動のあるところで使用しないでください。
 本機は精密機器です。振動のある場所で使用すると、故障の原因になります。
- ●本機を縦置きで使用しないでください。 本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直にしたり、傾けての使用はさけてください。
- ●ハードディスクについて
 - ・万が一、ハードディスクが故障した場合、録画したデータの復旧はできません。
 - ・大切な録画の場合は、USBメモリーや内蔵 Blu-ray Disc ドライブで DVD-R/BD-R に保存してください。
 - ・著作権を有する映像や録画(録音)物などから録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。
- 消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命時間を目安にして交換してください。但し、この時間はあくまでも目安であり、 部品の寿命時間を保証するものではありません。

- ・冷却ファン :約3年(使用環境温度 25℃)
- ・ハードディスク :約3年(使用環境温度 25℃)
- ・Blu-ray Disc ドライブ:約3年または累積書き込み時間が約2,000時間(使用環境温度25℃)
- ●本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(営業損失などの補償)の責についてはご容赦ください。
- カメラを電源同期で使用しないでください。カメラを電源同期で使用すると、画面が揺れることがあります。
 また、電源周波数に大きな変動があると、ビデオロスになることがあります。
- ●無停電電源装置(UPS)は、電源出力の波形が正弦波の機器をご使用ください。 矩形波の機器と接続した場合、本機または無停電電源装置(UPS)が故障することがあります。

● 個人情報について

本機または本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法 律」で定められた「個人情報」に該当します。* 法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報 に該当する事例 | を参照してください。

● 機器を譲渡・廃棄される場合

本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。 廃棄、譲渡、修理などで本機または記憶媒体が第三者に渡る場合は、その取扱いに十分注意し、お客様の責 任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

12 ^{取扱説明書}

- ネットワーク使用時のセキュリティ対策について
- ●お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。
 不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害・損害については、弊社は
 一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●本機への不正アクセスを防ぐために、機器のID、及びパスワードは、初期設定から変更することをお勧めします。また、必要に応じて定期的に変更をお願いします。 設定方法等、詳細については本書を参照してください。
- パスワードの管理には十分ご注意ください。

● AVC/H.264 特許ライセンスに関するご注意

本製品は、画像情報の取り扱いに関して、MPEG 技術(AVC/H.264 STANDARD)を使用しており、同技術の 使用に関しては、特許管理団体 MPEG LA,LLC.の許諾を受けております。

以下の場合を除いては、本製品のご利用が禁止されていますので、ご注意下さい。

MPEG 技術利用者の個人的使用及び非営利的な使用であって、(i) AVC/H.264 STANDARD に適合するビデ オ(以下、「AVC/H.264」)の符号化、及びまたは、(ii) 個人的使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用 者により符号化された AVC/H.264、及びまたは、MPEG LA,LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プ ロバイダーから提供された AVC / H.264 の復号化。

なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA,LLC. までお問い合わせ下さい。

HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご覧下さい。

アフターサービスについて

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お買い上げの販売店にお問い合わせ ください。

● 保証書

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。 お客様が修理することはできません。

もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象から外れますのでご注 意ください。

● 保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理 致します。

● 連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

● 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、生産完了後8年間となっております。 補修用性能部品の入手が不可能な場合には、同等性能部品を供給させていただきます。 ※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

/ ソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書(以下「本契約書」「本契約」)は、TOA 株式会社(以下「TOA」)製 ActiveX プラグインソフト ウェア(以下「本ソフトウェア」)に関して、お客様(個人または団体)とTOA との間で締結される法的な契約 書です。

本ソフトウェアをインストールまたは使用することによって、お客様は本契約書の条項に同意されたものと します。本契約書の条項に同意されない場合、TOA はお客様に本ソフトウェアのインストールまたは使用の いずれも許諾することはできません。

- 本契約によって TOA は、非独占的かつ譲渡不能な権利として、お客様に以下のライセンスを許諾するものとします。お客様は、許諾されたライセンス1件につき、3台のコンピューターで使用することができます。
- 2. 本ソフトウェアに関するすべての権利および著作権は、TOA が所有しており、本ソフトウェアは著作権法および国際条約の規定によって保護されています。また、本ソフトウェアに関するすべての著作権およびその他の知的所有権は、お客様に一切移転されないものとします。
- お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。 お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させることはできません。 お客様は、本ソフトウェアを改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルする ことはできません。
- 4. お客様は、本ソフトウェアを本来の目的以外に使用することはできません。
- 5. お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出して使用する場合、適用される国内外の輸出管理法令等に 従うものとします。
- お客様がアメリカ合衆国政府の組織または機関である場合、本ソフトウェアは、アメリカ合衆国政府による規制 DFARS 227.7202 および FAR 12.212(b) に基づき「商用コンピューターソフトウェア」および「商用コンピューターソフトウェア書類」と見なされ、それぞれの規制に従うものとします。
- 7. TOA は、本ソフトウェアを使用したことにより発生した、データ損失、逸失利益、保証金その他いかなる 損害についても、お客様に対し責任を負いません。また、TOA は、明示もしくは黙示を問わず、本ソフト ウェアに関する一切の保証(商用性および特定の目的に対する適合性などの黙示の保証を含む)をしないも のとします。
- お客様が、本ソフトウェアの不法な複製を行われた場合、または本契約に違反された場合、即刻もしくは 通知より 30 日以内に、TOA は本契約を解除することができます。その場合、お客様は、本ソフトウェア を一切使用できないものとします。
- 9. 本契約は日本国の法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、神戸地方裁判所が第一審 の専属的合意管轄裁判所とします。

〒 665-0043 兵庫県宝塚市高松町2番1号 TOA 株式会社



本機の概要

用語の説明

トリプレックス

多画面表示でライブ映像、再生映像を見ながら録画できる機能です。トリプレックス設定では、多画面に それぞれ個別のライブ映像や再生映像を設定することができます。

プリ録画

録画がされていない状態で、アラームイベント(アラーム入力、モーション)または緊急録画入力が発生したとき、最大5分前にさかのぼって録画することができます。

ミラーリング録画(ミラーモード)

2台のハードディスクに同時に同じ映像と音声を録画することができます。一方のハードディスクが破損 した場合でも、もう一方のハードディスクで録画や再生ができます。

長時間録画(長時間モード)

1 台目のハードディスクへの録画が終了すると、2 台目のハードディスクに録画をします。同じ設定(録画 レート、画質)の場合、長時間モードの録画時間はミラーモードの2倍になります。

マスター機、スレーブ機

本機を調時する場合に、1台をマスター機として、ほかのスレーブ機を制御することができます。

アラームイベント録画

アラーム録画とモーション録画の2つのイベントを表します。 アラーム録画は、本機またはコンビネーションカメラのアラーム入力端子からの信号で録画します。 モーション録画は、カメラ映像の動きを検出して録画します。

録画レート(ips)

録画レートは1秒間に録画する映像の枚数で、単位は ips (image per second)で表します。ips の数値が大きいほど、短い間隔で映像を録画することができます。

ポスト時間

録画を終了するまでの時間を設定します。

スケジュール

本機には自動録画モードがあり、あらかじめ設定したスケジュールに従って録画します。

ライブモード

現在のカメラ映像を表示している状態をいいます。

再生モード

ハードディスクに録画した映像を表示している状態をいいます。

デインターレーシング

解像度がD1(704×480)で録画されたデータを再生すると、動きのある映像に"くし状"のノイズ(インターレースノイズ)が発生する場合があります。このノイズを除去することができます。

自動消去

機器メンテナンス画面の自動消去で設定した期間が経過した録画データを自動的に消去します。

概要

監視カメラの映像を録画する9局または16局のデジタルレコーダーです。

画像圧縮方式に H.264 (MPEG-4 AVC)を採用し、ハードディスクへ録画するため長時間録画が可能です。 ハードディスクに録画したデータを USB メモリーや内蔵 Blu-ray Disc ドライブで DVD-R/BD-R に保存する ことができます。

別売のラックマウント金具を使用すれば、EIA 規格に適合するラックに取り付けることができます。

品番の見方

本機(C-DR096 シリーズ、C-DR166 シリーズ)は、局数とハードディスク容量の違いによって、4 機種のバリ エーションがあります。

品番と容量については、下記を参照してください。





● C-DR096 シリーズ

品番	局数	BD ドライブ	ハードディスク容量
C-DR096D10	9 局	あり	1 TB × 1 *
C-DR096D20	9 局	あり	1 TB $ imes$ 2

● C-DR166 シリーズ

品番	局数	BD ドライブ	ハードディスク容量
C-DR166D20	16 局	あり	1 TB $ imes$ 2
C-DR166D40	16 局	あり	2 TB imes 2

※ BD: Blu-ray Disc

* ハードディスクが1台のため、ミラーリング録画はできません。

特 長

● H.264 (MPEG-4 AVC)を採用

画像圧縮方式に H.264 (MPEG-4 AVC)を採用し、JPEG や MPEG-4 に比べて録画時間が増加します。

●3つの解像度に対応

録画やネットワーク配信の画像サイズを D1(704 × 480)、HD1(704 × 240)、CIF(352 × 240)の解像度か ら選択することができます。

● TOA 製プログレッシブカメラに対応

TOA 製プログレッシブカメラの高解像度映像を録画できます。

●トリプレックス(録画 + 再生 + ライブ映像)機能

録画中に多画面で再生映像とライブ映像を同時に見ることができます。

● プリ録画機能

録画されていない状態でも、アラームイベント(アラーム入力、モーション)または緊急録画入力が発生した とき、最大5分前にさかのぼって録画することができます。

● スピード検索機能

日時検索、イベント検索機能で見たい場面をすばやく検索することができます。

● ミラーリング録画

2 台のハードディスクに同時に同じ映像と音声を録画することができます。1 台のハードディスクが破損した場合でも、もう1 台のハードディスクで録画や再生ができます。 ハードディスクの破損によるデータ消失の可能性が少なくなり、信頼性が上がります。

● 自動録画機能

本機は電源を入れるとすぐに録画を開始します。あらかじめ設定したスケジュールに従って録画を行います。 また、自動録画には、ノーマル録画とアラームイベント録画があり、それぞれ異なった設定で録画できます。 (P. 4-12「自動録画設定」)

● ネットワーク機能

PCのWebブラウザーを使用して、本機に接続されたカメラの遠隔監視や操作、録画映像の検索、再生ができます。

● メール機能

アラームイベント発生時や異常時などにメールを送信することができます。送信先アドレスは4件まで登録 できます。

● カスケード接続

デジタルレコーダーのモニター出力を別のデジタルレコーダーのリンク入力に接続します。 本機は最大で8台接続することができ、8台接続すると最大128台のカメラを1台のモニターで見ることが できます。

また、インターフェースユニット(C-RF1000)を使用すれば、最大4台のリモートコントローラー(C-RM1000) が接続でき、すべてのデジタルレコーダーおよびコンビネーションカメラを操作することができます。 (P. 2-3「デジタルレコーダー拡張システム(カスケード接続)))

● コピー機能

本機のハードディスクに録画した映像を DVD-R/BD-R または USB メモリーヘコピーすることができます。 PC で再生するためのビューアーソフトも同時にダウンロードされます。(P. 3-36「コピー」)

● セキュリティ機能

パスワードによる設定と USB キーによるキーロックがあります。本機のキー操作やメニュー操作をレベルご とにセキュリティ設定することができます。(P. 3-50「セキュリティ」)

● ハードディスクの増設

本機1台あたり、ハードディスク増設ユニット(C-DA1000シリーズ(生産完了品)、C-DA1010シリーズ)を2台まで接続できます。最大8TBのハードディスクの増設が可能です。

● 調時機能

NTP サーバーや接点端子を利用して自動的に時刻を調整することができます。

● 無停電電源装置(UPS)との連動

UPS と組み合わせることで停電前後の録画データの消失を防止できます。

1-4 ^{取扱説明書}

各部の名称とはたらき

■ 前 面

[C-DR166 シリーズ]



[C-DR096 シリーズ]



1 電源キー [山] (LED)

本機がスタンバイ状態のときに電源キーを押す と、動作状態になります。動作状態からスタンバ イ状態にするときは、電源キーを2秒以上押して ください。(P.3-2「本機の起動と終了」)

②キーロック端子

あらかじめ登録した USB メモリーを差し込んで、 セキュリティロックを解除するときに使用しま す。(P. 3-50「本機の操作キーに対するセキュリ ティ」)

ご注意

USB メモリー以外は接続しないでください。

③ コピー端子

ハードディスクに録画した映像を USB メモリー にコピーするとき、ログー括出力、設定外部入力、 または設定外部出力を実行するときに使います。 (P. 3-36「コピー」、P. 4-34「ログ表示/出力」、 P. 4-39「機器メンテナンス」)

ご注意

USB メモリー以外は接続しないでください。

④カメラ選択キー(LED)

ライブモードや再生モードのカメラを選択しま す。カメラ選択キーを押すと、対応するカメラの 映像を1画面で表示します。表示されているカメ ラのキーが点灯します。

⑤ 緊急録画キー(LED)

緊急録画を開始するときに使います。緊急録画中 は、緊急録画キーが赤く点滅します。緊急録画キー を2秒以上押すと、緊急録画を停止します。 (P. 3-22「緊急録画」)

⑥ モニターキー(LED) [モニター1、モニター2] 本機はモニター出力を2系統もっています。モニター1の操作とモニター2の操作を切り換えるときに使います。 押すとキーが点灯し、再度押すと消灯します。消灯時はモニター1の操作ができ、点灯時はモニター2の操作ができます。モニター2の操作は、カメラ選択キー、多画面キー、シーケンスキーが使用できます。(P. 3-11 [モニター表示])

- ⑦アラーム解除キー(LED)
 「ブザー停止/アラーム解除]
 - ブザー停止
 緊急録画、機器異常、アラームイベント録画が
 発生しブザーが鳴ったときにアラーム解除キー
 を押すと、ブザーが停止します。
 - アラーム解除
 アラームイベント録画を停止するときに使います。アラーム解除キーを2秒以上押すと、アラームイベント録画を停止します。(P. 3-23「アラームイベント録画」)
- ⑧ズームキー(LED)

ライブモードや再生モードのズーム(2倍)表示す るときに使います。1 画面表示のときにズーム キーを押すと、ズーム位置を決めるためのカー ソルが表示されます。ズーム位置を決定してメ ニューキーを押すと、2倍に拡大した画面を表示 します。再度ズームキーを押すとズームモードを 解除します。(P. 3-15「ズーム表示で見る」)

(9)検索キー

録画した映像を検索するときに使います。ライブ モードや再生モードで検索キーを押すと、検索画 面を表示します。
こ

まーを押すと検索画面から 抜けます。(P. 3-33「検索」)

多画面、(-)キー(LED)

●多画面表示 ライブモードや再生モードで、多画面表示をす るときに使います。多画面キーを押すごとに4 分割、9分割、16分割(16局用のみ)表示に切り換わります。(P. 3-14「多画面表示で見る」)

- 設定値の逆送り(-)
 メニュー画面の設定値を選択中に押すと、設定
 値が逆方向に変わります。
- トリプレックス設定画面の起動
 多画面で再生中に多画面キーを2秒以上押すと、トリプレックス設定画面を表示します。メニューキーを2秒以上押すと、設定画面から抜けます。(P. 3-19「トリプレックス設定をする」)
- 配置設定画面の起動
 多画面でライブ中に多画面キーを2秒以上押すと、配置設定画面を表示します。メニューキーを2秒以上押すと設定画面から抜けます。
 (P. 3-18「配置設定をする」)

- ① メニューキー [メニュー/決定]
 - メニュー画面の起動 モニターキーが消灯しているときにメニュー キーを押すとモニター1の画面にサブメニュー を表示します。メニューキーを2秒以上押すと、 メニュー画面を表示します。
 ▲ キーを押す と、ライブモードに戻ります。(P. 4-5「メイン メニューの設定」、P. 4-42「サブメニューの設 定」)
 - メニュー項目の確定 メニュー画面で設定項目を確定するときに使い ます。「はい」、「いいえ」などの選択肢を確定 したり、「実行」するときに使います。
 - メニュー設定の次画面に遷移
 メニュー設定画面で ▶ 印から次の設定画面を
 開くときに、メニューキーを押します。
 - モーション設定画面の終了
 メニュー画面内のモーション設定画面を終了するとき、メニューキーを2秒以上押します。
 (P.4-18「モーション設定」)
 - パスワード入力画面の起動 セキュリティを設定しているときは、メニュー キーを2秒以上押すと、パスワード入力画面を 表示します。操作レベルにより表示画面が異な ります。(P.4-32「セキュリティ設定」)
- 12 シーケンス、(+)キー(LED)
 - シーケンス ライブモードでシーケンスキーを押すと、あら かじめ設定した順序でカメラの映像をシーケン ス表示します。(P. 3-15「シーケンス表示で見 る」)
 - 設定値の順送り(+)
 メニュー画面の設定値を選択中に押すと、設定 値が順方向に変わります。

13 逆再生(◀、 (LED)

- 逆再生
 逆再生キーを押すと、録画した映像を逆方向に
 再生します。(P. 3-30「再生」)
- メニュー画面のカーソル左移動
 メニュー画面内でカーソルを左に移動するとき
 に使います。
- メニュー画面を前画面に移動
 メニュー画面でカーソルが左にあるとき
 キーを押すと、前画面に戻ります。
- ライブモードに戻る メインメニュー画面で
 オーを押すと、ラ イブモードに戻ります。

- (4) 一時停止(■■、▲)キー(LED)
 - 再生/逆再生映像の一時停止 再生映像を一時停止するときに使います。一時 停止中は、コマ送り再生、コマ戻し再生、イベ ント飛ばしの操作ができます。(P. 3-30「再生」)
 - メニュー画面のカーソルの上移動
 メニュー画面内でカーソルを上に移動するとき
 に使います。
- 15停止(■、 🔽)キー
 - 再生/逆再生の停止
 再生、逆再生を停止するときに使います。
 (P. 3-30「再生」)
 メーモ
 停止キーを押しても録画は停止しません。
 - メニュー画面のカーソル下移動
 メニュー画面内でカーソルを下に移動するときに使います。
- 16 再生(▶、 **▶**) +- (LED)
 - 再生
 再生キーを押すと、録画した映像を再生します。
 (P. 3-30「再生」)
 - メニュー画面のカーソル右移動
 メニュー画面内でカーソルを右に移動するとき
 に使います。
- ①情報 LED
 - 録画 LED 録画(緊急録画、ノーマル録画、アラームイベ ント録画)中に点灯します。
 - 機器異常 LED
 ビデオロス、ファン異常、ハードディスクエラー、BDエラーが発生した場合に点滅します。
 正常な状態になるまで LED は点滅します。
 機器異常の原因は、ログ表示/出力の異常ログを参照してください。(P. 4-36「異常ログ」)
 - ディスクフル LED 上書禁止の場合は、ハードディスクの残量時間 が残量警告時間を下回ったときに点滅します。 また、残量時間がなくなると点灯します。上書 許可の場合は、点灯(点滅)しません。(P. 3-61 「ハードディスクフル」、P. 4-29「システム設定」)

- (18) BD 挿入トレイ
 本機に録画したデータをコピーするときにDVD-R/ BD-R を挿入します。
- (19) BD LED
 DVD-R/BD-R を挿入したときや書き込み中は点滅します。
- ② BD 取り出しキー DVD-R/BD-R の出し入れをします。
- ② 強制イジェクトホール BD 取り出しキーを押しても BD 挿入トレイが出 てこないとき、強制的に DVD-R/BD-R を取り出 すために使用します。 本機の電源キーを2秒以上押してスタンバイ状態 にしたあと、先端の細いものなどで押してください。

ご注意

この機能は異常時のみ使用してください。

22 メンテナンス用ゴムカバー

メンテナンス用です。装着した状態で使用してく ださい。

■後 面

[C-DR166 シリーズ]



[C-DR096 シリーズ]



23 主電源スイッチ
 本機の電源スイッチです。

- 24 AC インレット 付属の電源コードを接続します。
- (25) リンク入力端子(BNC)

本機を複数台使ったカスケード接続時に使用しま す。(P. 2-3「デジタルレコーダー拡張システム(カ スケード接続)」、P. 3-17「リモートコントロー ラーを使用する」)

- 26 モニター出力端子(BNC)
 - モニター 1 出力端子
 モニター 1 の映像を出力します。
 - モニター2出力端子
 モニター2の映像を出力します。ライブ映像の
 1 画面、4分割画面での表示ができます。再生
 映像は出力しません。
 設定によってモニター1出力と同じ映像を出力
 することができます。

② アナログ RGB 出力端子 (D-sub 15P)

アナログ RGB 入力を持ったモニターに接続しま す。モニター 1 出力と同じ映像を出力します。

28映像入出力端子(BNC)

- ・映像入力端子 カメラを接続します。
 カメラを接続すると、75Ωで自動終端します。
- 映像出力端子
 映像入力端子のループスルー出力です。映像出 力端子に BNC プラグを接続すると 75 Ω終端は
 自動的に開放されます。

(29) 音声入出力端子(RCA ピンジャック)

- ・音声入力端子
 音声録音用の音声入力端子(音声チャンネル1 ~音声チャンネル4)です。
- ・音声出力端子
 ライブモードでは、音声入力端子の信号を出力します。再生をすると録音した音声を出力します。
 音声出力するチャンネルを切り換えることができます。

③ 増設ユニット接続端子

専用のハードディスク増設ユニット(C-DA1000 シリーズ(生産完了品)、C-DA1010 シリーズ)を 接続する端子です。ハードディスク増設ユニット に付属の eSATA ケーブル、モジュラーケーブル を使って接続します。ハードディスク増設ユニット は、最大2台接続することができます。 (P. 2-7「増設ユニット接続端子の接続」)

1-8 取扱説明書

③ RS-232C 端子

本機を PC などから制御するときに使います。 PC などの RS-232C 端子とクロスケーブルで接 続します。(P. 2-5「RS-232C 端子の接続」)

③2 LAN 端子

PC から Web ブラウザーを使用して、ネットワー クで本機に接続したカメラの遠隔監視や操作、録 画映像の検索、再生をするときに使います。 (P. 2-6「LAN 端子の接続」)

③ 制御入出力端子

(P. 2-9「制御入出力端子の接続」)

- ●調時入力、調時出力端子
 本機を複数台使ったシステムで、各機器の時刻
 合わせをするための端子です。マスター機器の
 調時出力をスレーブ機器の調時入力に接続します。時刻設定画面で調時の設定が必要です。
 (P. 4-38「時刻設定」)
- UPS 入力、UPS 出力端子 無停電電源装置(UPS)を接続する端子です。
- 緊急録画入力端子 外部からの信号で緊急録画を開始する場合に使います。スイッチなどの無電圧接点信号を接続してください。
- アラーム解除入力端子
 アラームイベント録画を停止する場合に使います。スイッチなどの無電圧接点信号を接続してください。
- ③ コントロール出力端子

緊急録画、アラーム録画、モーション録画、ビデ オロス、ハードディスクフル、機器異常の発生時 に信号を出力します。(P. 2-8「コントロール出 力端子の接続」、P. 4-31「コントロール出力端子 設定」)

③ アラーム入力端子

アラーム録画をするときに使います。センサーな どの無電圧接点信号を接続してください。 (P. 2-8「アラーム入力端子の接続」、(P. 4-30「入 出力端子モード設定」)

- ③ リモコン入出力端子・カメラ制御端子
 (P. 2-13「リモコン入出力端子、カメラ制御端子の接続」)
 - ●リモコン入出力端子 B 専用のリモートコントローラー(C-RM1000) を接続する端子です。+、一の極性があります ので注意してください。(P. 2-2「接続のしかた」)

リモートコントローラーから本機を複数台操作 する場合には、1 台目のリモコン出力端子を2 台目のリモコン入力端子に接続します。2 台目、 3 台目も同様に接続して、最大8 台まで接続で きます。本機をカスケード接続する場合にも本 端子を使います。(P. 2-3 「デジタルレコーダー 拡張システム(カスケード接続)」、P. 3-17「リ モートコントローラーを使用する」)

メモ

リモートコントローラー (C-RM1000)との配 線距離が3m以下であれば、リモコン入力端子 Aを使って接続できます。

● カメラ制御端子

コンビネーションカメラを制御するときに使い ます。コンビネーションカメラの制御端子(RS-485)と接続してください。十、一の極性があり ますので注意してください。(P. 2-2「接続のし かた」)

ご注意

- 本機のキー操作でコンビネーションカメラは 制御できません。Web ブラウザーまたは専用 のリモートコントローラー(C-RM1000)を使 用してください。
- コンビネーションカメラのアドレスは、本機の映像入力番号と一致させてください。
- ③ リモコン終端スイッチ

リモコン入出力端子 A、B の終端スイッチです。 「入」にすると終端します。「切」にすると終端し ません。 システムの最後に接続するデジタルレコーダーの 終端スイッチを「入」にしてください。 工場出荷時は「入」に設定されています。

③ リモコン入力端子 A (電源供給可能)

専用のリモートコントローラー (C-RM1000)を 接続する端子です。リモートコントローラーに付 属のモジュラーケーブル(3 m)を使って接続しま す。本端子を使用した場合には、本機からリモー トコントローラーに電源を供給します。

メモ

- インターフェースユニット(C-RF1000)を使用 する場合は、本端子に接続してください。
- リモートコントローラー (C-RM1000)との配 線距離が3mを超える場合は、リモコン入力 端子Bを使って接続してください。

第2章

接続のしかた

/ 接続のしかた

● 基本システム



● スター配線について

コンビネーションカメラの制御線(RS-485)をスター配線するためには、インターフェースユニット(C-IF500) が必要になります。 制御線の接続については、インターフェースユニット C-IF500 の取扱説明書をご覧ください。

2-2 取扱説明書

● デジタルレコーダー拡張システム(カスケード接続)

最大8台のデジタルレコーダー(最大128台のカメラ)の映像を1台のモニターで見ることができます。イン ターフェースユニット(C-RF1000)を使用すれば、最大4台のリモートコントローラーが接続できます。 接続例は、8台のデジタルレコーダーをグループ1とグループ2でカスケード接続したシステムです。カスケー ド接続ができるデジタルレコーダーは、C-DR091/161シリーズ、C-DR096/166シリーズです。(P.3-17「リ モートコントローラーを使用する」)

ご注意

- ●カスケード接続のシステムでは、リモートコントローラー (C-RM1000)が必要です。
- カスケード接続のシステムでは、DVR-ID を設定する必要があります。(P. 3-4「DVR-ID を設定する」)





**1 C-DR096 シリーズ:入出力端子が9局になります。 C-DR166 シリーズ:入出力端子が16局になります。

**2 C-RM1000 の延長距離については、リモートコントローラー C-RM1000 の取扱説明書を ご覧ください。



外部端子に接続する

■ RS-232C 端子の接続

本機は RS-232C を使って、PC などから制御をすることができます。

ご注意

- 制御用ソフトは、標準では用意しておりません。
- ●本仕様をもとに作成した制御ソフトウェアの動作によって生じたお客様のハードウェアおよびソフトウェアの不具合、損害については責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 通信プロトコル

転送方式 パリティービット	:調歩同期式(非同期式)半二重 :偶数		
転送速度	:9,600 bps、19,200 bps、38,400 bps		
符号	:バイナリコード		
データ長	: 8 bit		
フロー制御	:CTS / RTS ハンドシェーク、なし		
ストップビット	:1		
誤り制御	:なし		
※ 通信プロトコルの詳細は、最寄りの営業所へお問い合わせください。			

● RS-232C コネクターピンの配列

RS-232C コネクター D-sub 9P の各ピンの信号名は以下のとおりです。

端子番号	記号	名 称
1	NC	未接続
2	RD	受信データ
3	SD	送信データ
4	NC	未接続
5	SG	信号接地
6	NC	未接続
7	RS	送信要求
8	CS	送信可
9	NC	未接続



※本機には、RS-232Cコネクター用のプラグは付属していません。 また、RS-232Cケーブルは、インターリンク用クロスケーブルをご使用ください。

■ LAN 端子の接続

PC の Web ブラウザーを使用して、本機に接続されたカメラの遠隔監視や操作、録画映像の検索、再生をす るときに使います。また、アラームイベント発生時や異常時などにメール送信したり、NTP サーバーから時 刻を取得するときに使います。

LAN ケーブルには UTP カテゴリー 5 以上を使用してください。ストレートケーブル、クロスケーブルのどち らも使用できます。(AUTO MDI/MDI-X 対応)

● NTP サーバーから時刻を取得する

時刻設定の調時動作を NTP に設定した場合は、外部にある NTP サーバーに接続し、本機の現在時刻を調時 します。(P. 4-38「時刻設定」)

接続にネットワークを使うため、ネットワークの設定を行う必要があります。(P. 4-25「ネットワーク設定」) 本機を起動したときや調時動作の設定を NTP に変更したときに NTP サーバーから時刻を取得し、その後は 一定間隔で時刻を取得します。

調時時刻になると調時出力端子から信号を出力し、通信方式がタイプBで動作するコンビネーションカメラ を接続しているときは、本機の時刻にカメラの時刻を合わせます。

メーモ] 調時動作を NTP に設定している場合は、調時入力端子からの入力は受け付けません。

■ 増設ユニット接続端子の接続

本機は、専用のハードディスク増設ユニット(C-DA1000 シリーズ(生産完了品)、C-DA1010 シリーズ)を2台 まで接続できます。ハードディスク容量を増やすことができるため、さらに長時間の録画が可能になります。 ハードディスク増設ユニットに付属の eSATA ケーブルとモジュラーケーブルを使って接続します。 また、ノイズの影響で誤動作する場合がありますので、必ずハードディスク増設ユニットに付属のアース線 で本機とハードディスク増設ユニットを接続してください。

● ケーブルの固定について

付属の eSATA ケーブル固定金具で eSATA ケーブルを固定してください。

[C-DR166 シリーズ、C-DR096 シリーズ 後面]



メモ

2種類のeSATA ケーブル固定金具を付属しています。接続する eSATA ケーブルにあわせて使用してください。

ご注意

本機が動作しているときに eSATA ケーブルが抜けた場合は、ハードディスクエラーになります。本機とハードディスク増設ユニットの再起動を行ってください。(P. 3-59「ハードディスクエラーが発生したら…」)

第2章 接続のしかた

■ アラーム入力端子の接続

デジタルレコーダーの 16 局と9 局で端子数が異なります。
 アラーム入力端子を接続するときは、下表を参照してください。
 使用できる電線の線径は、以下のとおりです。
 単線 : φ 0.32 mm ~ φ 0.65 mm (AWG28 ~ AWG22)
 より線 : 0.08 mm² ~ 0.32 mm² (AWG28 ~ AWG22)
 剥き線長: 9 ~ 10 mm



端子記号	名 称	端子記号	名称
1	アラーム入力1	10	アラーム入力 10
2	アラーム入力2	11	アラーム入力 11
3	アラーム入力3	12	アラーム入力 12
4	アラーム入力4	13	アラーム入力 13
5	アラーム入力5	14	アラーム入力 14
6	アラーム入力6	15	アラーム入力 15
7	アラーム入力7	16	アラーム入力 16
8	アラーム入力8	COM	信号接地
9	アラーム入力9		

■ コントロール出力端子の接続

コントロール出力端子を接続するときは、下表を参照してください。
 使用できる電線の線径は、以下のとおりです。
 単線 : φ 0.32 mm ~ φ 0.65 mm (AWG28 ~ AWG22)
 より線 : 0.08 mm² ~ 0.32 mm² (AWG28 ~ AWG22)
 剥き線長: 9 ~ 10 mm

	1 2 3 4
-	
	└сом ┘

端子記号	名 称
1	コントロール出力1
2	コントロール出力2
3	コントロール出力3
4	コントロール出力4
COM	信号接地

┃制御入出力端子の接続

制御入出力端子には、調時入出力、UPS 入出力、緊急録画入力、アラーム解除入力があります。 各端子の接続については下表を参照してください。

使用できる電線の線径は、以下のとおりです。

単線 : ϕ 0.32 mm ~ ϕ 0.65 mm (AWG28 ~ AWG22)

より線 :0.08 mm² ~ 0.32 mm² (AWG28 ~ AWG22)

剥き線長:9 ~ 10 mm



端子記号		名 称	
調	入力	調時入力	
時	出力	調時出力	
U	入力	UPS 入力	
P	出力 1	UPS 出力 1	
S	出力 2	UPS 出力 2	
緊急	録画入力	緊急録画入力	
アラーム解除入力		アラーム解除入力	
COM		信号接地	

メモ COM 端子は2つあり、どちらも同様に使用できます。

● 調時入出力端子の接続

調時入出力端子を接続し、複数台のデジタルレコーダーの時刻を合わせることができます。通信方式がタイ プBで動作するコンビネーションカメラを接続しているときは、カメラの時刻も合わせることができます。 外部にある NTP サーバーに接続して調時することもできます。(P. 4-38「時刻設定」)



調時の接続は、マスター機の調時出力とスレーブ機1の調時入力、スレーブ機1の調時出力とスレーブ機2 の調時入力と接続していきます。マスター機からの出力で各スレーブ機は調時されます。

メモ

- 機器間の COM 端子を接続してください。
- 電波時計を使用する場合は、デジタルレコーダーのマスター機の代わりに電波時計の調時出力をデジタルレコーダーのスレーブ機1の入力に接続してください。

AM 電波タイマー 9LZ500-008 (斡旋品) をマスター機として使用する場合は、以下の接続を行ってください。 ・スレーブ機の調時入力端子と AM 電波タイマーの毎正時出力端子を接続する。

・スレーブ機の COM 端子と AM 電波タイマーの GND 端子を接続する。

[マスター機の動作]

調時時刻になると調時出力端子から出力します。通信方式がタイプBで動作するコンビネーションカメラを 接続しているときは、本機の時刻にカメラの時刻を合わせます。

メ モ 調時入力端子からの入力は受け付けません。

[スレーブ機の動作]

調時入力端子から入力があると現在時刻を正時に調時し、調時出力端子から出力します。また、通信方式が タイプBで動作するコンビネーションカメラを接続しているときは、調時入力端子からの入力から1分後に 本機の時刻にカメラの時刻を合わせます。



メモ

スレーブ機の現在時刻が0分~30分未満の場合は、現在時刻の正時に調時されます。30分~59分の場合は、 現在時刻の次の正時に調時されます。

(例) 10時 29分 59秒の場合:10時 00分 00秒
 10時 30分 00秒の場合:11時 00分 00秒

● 無停電電源装置(UPS)の接続

無停電電源装置(UPS)と接続し、電源異常(停電)前後の録画データの消失を防止できます。

デジタルレコーダーは2つの UPS 出力(出力回路は下図)を持っています。UPS の入力端子仕様により UPS 出力1 または UPS 出力2を接続してください。



電源異常(停電)が発生した場合、本機は UPS からの信号でシャットダウン状態に移行します。

UPS からの信号で本機をシャットダウン状態にするまでの時間は、電源異常待機時間で設定できます。(P. 4-39 「機器メンテナンス」)

シャットダウン状態では、電源キーの LED が5秒ごとに点滅し、UPS 出力1と UPS 出力2から信号を出力 します。また、"UPS シャットダウン"とシステムログに記録するため、発生日時を確認することができます。 (P. 4-37「システムログ」)

メモ

電源異常待機時間が経過する前に、電源の復旧などで UPS からの信号が無効となったときは、シャットダウン状態には移行しません。

ご注意

- UPS は、電源出力の波形が正弦波の機器をご使用ください。 矩形波の機器と接続した場合、本機または UPS が故障することがあります。
- UPS からの信号でシャットダウン状態になってから UPS からの電源供給が停止されるまでは、本機の操作ができません。電源の復旧などによって UPS からの信号が無効になったときは、電源キー を押すとシステムが再起動します。
- UPS 接続中で電源異常待機時間が経過する前に電源キー () を長押しした場合や、スタンバイ中に UPS からの信号が入った場合は、すぐにシャットダウン状態に移行します。

2-10 取扱説明書

● UPS にデジタルレコーダーを 1 台接続する場合

デジタルレコーダーから UPS に接続する UPS 出力端子は、「UPS 出力 1」または「UPS 出力 2」のどちらかを接続します。UPS の入力端子の仕様を確認して、どちらを接続するか選択してください。



UPS に BY50FW (斡旋品)、BY75SW (斡旋品)を使用する場合は、以下の接続を行ってください。



AC100 V^

|メ モ| 機器間の COM 端子を接続してください。

[電源異常発生時の動作]

UPS の AC 電源(AC100 V)に異常(停電)が発生したとき(下図 ①)、UPS からの信号(下図 ②)で本機は電源 異常待機時間経過後にシャットダウン状態(下図 ③)になります。

このとき、本機から UPS に信号(下図 ④)を送り、UPS からの電源供給を停止(下図 ⑤)させて本機の電源を 切ることができます。電源異常待機時間の設定については、P. 4-39「機器メンテナンス」を参照してください。



[復電後の動作]

UPS からの電源供給が再開されると自動的にシステムが起動します。(P. 3-62「停電復旧後の動作について」)

● UPS にデジタルレコーダーを 2 台接続する場合

デジタルレコーダー1からデジタルレコーダー2への UPS 出力は、「UPS 出力1」を使用します。 デジタルレコーダー2から UPS に接続する UPS 出力端子は、「UPS 出力1」または「UPS 出力2」のどち らかを接続します。UPS の入力端子の仕様を確認して、どちらを接続するか選択してください。



* UPS 出力 1 または UPS 出力 2

メ モ 機器間の COM 端子を接続してください。

[電源異常発生時の動作]

UPSのAC電源(AC100 V)に異常(停電)が発生した場合、UPSからの信号でデジタルレコーダー1は電源異常待機時間が経過したあとにシャットダウン状態となり、UPS出力1を出力します。

デジタルレコーダー1の UPS 出力1によってデジタルレコーダー2は電源異常待機時間が経過したあとに シャットダウン状態になります。

このとき、デジタルレコーダー2から UPS に信号を送り、UPS からデジタルレコーダー1と2の電源供給を停止させることができます。

電源異常待機時間の設定については、P. 4-39「機器メンテナンス」を参照してください。

[復電後の動作]

UPSからの電源供給が再開されると自動的にシステムが起動します。(P. 3-62「停電復旧後の動作について)」)
■ リモコン入出力端子、カメラ制御端子の接続

リモコン入出力端子とカメラ制御(RS-485)端子があります。

リモコン カメラ	端子	記号	名称
「入力B 出力B (RS-485)	リ	入力 B +	リモコン入力 B (RS-485) +
พึกปิกปิกปิกปิกปิกปิกปิกไป	モコン	入力 B -	リモコン入力 B (RS-485) -
		出力 B +	リモコン出力 B (RS-485) +
000000000	-	出力 B -	リモコン出力 B(RS-485)-
+ COM - + COM - + COM -	カメ	ラ (RS-485) +	カメラ制御(RS-485)+
	カメ	ラ (RS-485) -	カメラ制御(RS-485)-
	COI	N	信号接地

● 端子の接続のしかた

この端子は、リリースボタンを強く押し込むとロックが解除します。端子に線材を入れたあと、リリースボ タンを戻してロックします。

端子の接続には CPEV-S(対よりシールドケーブル) ϕ 0.65 mm ~ ϕ 1.2 mm を使用してください。また、シールド線は必ず COM 端子に接続してください。



- 端子に接続する場合は、必ずロックしていることを確認してください。
- デジタルレコーダーから終端に設定されたカメラまでの制御線の延長距離は最長で 1.2 km です。また、リ モートコントローラー (C-RM1000)から終端に設定されたデジタルレコーダーまでの制御線の延長距離は 最長で 1.2 km です。



電源インレットから電源ケーブルが抜けるのを防止します。 図のように電源コードを固定します。





ラックマウントのしかた

本機をラックに取り付けるときは別売の金具(MB-23B)を使用します。 底面のゴム足(4個)を外してください。ゴム足は固定しているねじをマイナスドライバーで緩めると外れます。



ご注意

- 本機の使用温度範囲は +5℃~ +40℃です。ラック内部の通気を十分に確保できるように設置してください。
- 本機は必ずカメラドライブユニットなど発熱する機器よりも下に設置し、必ずパーフォレイテッドパネル などをつけて間隔を開けてください。
- 振動の多い場所には設置しないでください。
- 本機をラックなどに設置し、後面の主電源スイッチが操作できない場合は、スタンバイ状態で起動したあ とで設置してください。ハードディスクが動作中に移動すると、振動によってハードディスクが故障する ことがあります。(スタンバイ状態では、ハードディスクは動作していません。)

前面の電源キー 🕛 を押しながら、後面の主電源スイッチを入れ、電源キー 🕛 を 10 秒以上押し続けると スタンバイ状態で起動します。(P. 3-3「主電源投入時にスタンバイ状態にする])

取扱説明書 2-14

第3章

操作のしかた



■本機の起動



7 各機器を正しく接続する。(P. 2-2「接続のしかた」)

2 電源プラグを差し込む。

電源キー	LED 表示	状態						
	消灯	主電源 OFF						
	点滅(5 秒)	スタンバイ状態						
	点滅(1 秒)	システムチェック中(起動中)						
	点灯	電源 ON(動作中)						

3後面の主電源スイッチを「入」にする。

下図のように画面が自動的に切り換わり表示されます。

システムチェック中は電源キー 🛈 が緑に点滅します。

システムチェックが終了すると、電源キー ()が点滅から点灯に変わり、画面表示設定のモニター1、2の起動時画面の設定に従い、ライブモードの画面を表示します。(P.4-21「画面表示設定」)



○○:チェック中のBDまたはHDD番号

- 初めて使用するときは、日時が正しく表示されない場合があります。最初に時刻設定を行ってから使用してください。(P. 3-5「時刻を合わせる」)
- 本機の動作中に、主電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜かないでください。ハードディスク 内のデータが破損したり、ハードディスクが故障するおそれがあります。主電源スイッチを「切」にしたり、 電源プラグを抜くときは、必ずスタンバイ状態で行ってください。(P.3-3「本機の終了」)
- ハードディスク増設ユニットを接続している場合は、本機を起動する前にハードディスク増設ユニットの 電源を入れてください。最初に本機を起動するとハードディスク増設ユニットが正しく認識されません。

● 主電源投入時にスタンバイ状態にする

スタンバイ状態では、ハードディスクは動作していないため、ラックに設置するときなど、後面の主電源スイッチを操作しづらい場合にお勧めします。

7 後面の主電源スイッチが「切」になっていることを確認する。

2 各機器を正しく接続する。

3 電源プラグを差し込む。

4 前面の電源キー ○ を押しながら後面の主電源スイッチを「入」にして、電源キー ○ を 10 秒 以上押し続ける。

スタンバイ状態になります。

メモ

- スタンバイ中は、電源キー ()の LED が 5 秒ごとに点滅します。モニターに映像を出力せず、録画も 行いません。
- ●冷却用ファンはスタンバイ中も動きます。

5 本機を設置する。

● スタンバイ状態から起動する

本機がスタンバイ状態のときは、本機前面のキー操作で起動させることができます。

前面の電源キー①を押す。

本機が起動します。

ご注意

ハードディスク増設ユニットを接続している場合は、本機を起動する前にハードディスク増設ユニットの電 源を入れてください。最初に本機を起動するとハードディスク増設ユニットが正しく認識されません。

■ 本機の終了

1 電源キー (りを2秒以上押す。

スタンバイ状態になります。

メモ

- ●スタンバイ中は、電源キー

 ●のLEDが5秒ごとに点滅します。モニターに映像を出力せず、録画も行いません。
- ●冷却用ファンはスタンバイ中も動きます。
- 2 スタンバイ状態になっていることを確認し、後面の主電源スイッチを「切」にする。 電源が切れます。

ご注意

- ●必ず上記手順で電源を切ってください。ハードディスク内のデータが破損したりハードディスクが故障することがあります。
- ●本機の移動は、電源を切り 30 秒以上経過してから行ってください。
- ●ハードディスク増設ユニットを接続している場合は、本機を終了した後にハードディスク増設ユニットの 電源を切ってください。ハードディスク増設ユニットのハードディスク内のデータが破損したり、ハード ディスクが故障することがあります。

取扱説明書 3-3

初期設定

本機を使用する前に、必ず以下の設定を行ってください。 設定をしないで使用すると、各機能が正常に動作しないことがあります。



■ DVR-ID を設定する

リモートコントローラー(C-RM1000)を接続して本機を複数台(最大 8 台)操作する場合は、すべてのデ ジタルレコーダーを異なる DVR-ID に設定してください。

工場出荷時の DVR-ID はすべて「1」に設定されています。(P. 2-3「デジタルレコーダー拡張システム(カス ケード接続)」)

- メ モ リモートコントローラーを接続しない場合や本機を1台だけ操作する場合は、設定を変更する必要は ありません。
- 7 本機をスタンバイ状態にする。
- 2 シーケンスキーを押しながら、本機の電源キー ()を押す。 カメラ選択キー1~8が点減し、現在設定されている DVR-ID と同じ番号のカメラ選択キーが点灯します。 1分経過すると、DVR-ID は変更されずに本機が起動します。
- 3 設定したい DVR-ID と同じ番号のカメラ選択キーを押す。 選択した番号が3回点滅します。DVR-ID が登録され、本機が起動します。
- メ モ DVR-ID はシステム設定画面でも設定できます。(P. 4-29「システム設定」)
- 3-4 取扱説明書

■ 時刻を合わせる

日付、時刻を時刻設定で合わせます。(P. 4-38「時刻設定」)

ご注意

現在時刻を変更して録画データに同一時刻が重複する場合や長時間間違った時刻で録画されたあとに現在時 刻に変更した場合には、再生、検索、コピー、Webブラウザーのバックアップが正しくできないことがあります。



- **1** メニューキーを2秒以上押す。 メインメニュー画面が表示されます。
- 2 ▲、▲ キーでカーソルを「時刻設定」に移動し、メニューキーを押す。 時刻設定画面が表示されます。
- 3 <■、 ト キーでカーソルを移動し、(+)、(-)キーで日時を合わせる。 年、月、日、時、分、秒を設定します。
- **4** キーでカーソルを画面の左端の選択位置に移動し、 キーを押す。 設定保存の確認メッセージが表示されます。
- 5 <

 ・ キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。
 メインメニュー画面に戻ります。

■ ハードディスク増設ユニットを設定する

ハードディスク増設ユニットを使用する場合は、増設ユニット1または増設ユニット2を設定します。工場 出荷時は、「未使用」に設定されています。(P. 4-39「機器メンテナンス」)

|メーモ| ハードディスク増設ユニットを接続しない場合は変更する必要はありません。



- **1** メニューキーを2秒以上押す。 メインメニュー画面が表示されます。
- 3 (■、) キーでカーソルを「増設ユニット1」に移動し、(+)、(-)キーで接続する増設ユニットに対応した設定を選択する。
 増設ユニット接続端子1に接続する増設ユニットの設定をDA1、DA2から選択します。
 DA1: C-DA1000-1 (生産完了品)、C-DA1010-2を接続するとき
 DA2: C-DA1000-2 (生産完了品)、C-DA1010-4 を接続するとき
- 4 ▲ 、▲ キーでカーソルを「増設ユニット2」に移動し、(+)、(-)キーで接続する増設ユニットに対応した設定を選択する。

増設ユニット接続端子2に接続する増設ユニットの設定をDA1、DA2から選択します。 DA1:C-DA1000-1(生産完了品)、C-DA1010-2を接続するとき DA2:C-DA1000-2(生産完了品)、C-DA1010-4を接続するとき

- メ モ 接続するハードディスク増設ユニットが1台の場合は、増設ユニット2は「未使用」から変更 する必要はありません。
- **5 ■** キーを押す。

設定保存の確認メッセージが表示されます。

- 6 ■、▶ キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。
 再起動の確認メッセージが表示されます。
- 7 ■、▶ キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。 本機は再起動します。
- 8 ハードディスクを初期化する。

本機にハードディスク増設ユニットを初めて接続した場合には、起動後にハードディスクエラーが発生します。ハードディスクの初期化を行ってください。(P. 3-7「ハードディスクを初期化する」)

3-6 取扱説明書

■ ハードディスクを初期化する

ハードディスクに録画するディスクモード(長時間モード、ミラーモード)を設定し、ハードディスクを初期 化します。(P. 4-39「機器メンテナンス」)

メーモ 接続されていないハードディスクは、「---」が表示されます。

- ハードディスクを初期化すると、録画されていた映像は消去されますので、必要なデータがある場合は、 DVD-R/BD-R や USB メモリーにコピーしたあとに初期化してください。
- ディスクモードの工場出荷時は、「長時間」に設定されています。長時間で使用する場合は、ディスクモードを変更する必要はありません。



- **1** メニューキーを2秒以上押す。 メインメニュー画面が表示されます。
- 2 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「機器メンテナンス」に移動し、メニューキーを押す。 機器メンテナンス画面が表示されます。
- **3** 「ハードディスク初期化」を選択し、メニューキーを押す。 ハードディスク初期化の設定画面が表示されます。
- **4** 「ディスクモード」を(+)、(ー)キーで選択する。 「長時間」、「ミラー」から選択します。(P. 3-20「録画をする前に」)
- 5 ▲ 、 キーでカーソルを「実行」に移動し、メニューキーを押す。 「はい」、「キャンセル」が表示されます。
- 6 <

 ・ キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。
 ハードディスクの初期化を実行した後、確認メッセージが表示されます。
- 7 「OK」でメニューキーを押す。 ハードディスク初期化画面に戻ります。

第3章 操作のしかた

■ 解像度の設定をする

ハードディスクに録画する画像の解像度をカメラごとに選択できます。緊急録画設定、自動録画設定、プリ 録画設定をする前に解像度設定を行ってください。(P. 4-7「解像度設定」)

メモ解像度は、すべての録画モードで共通です。



1 メニューキーを2秒以上押す。 メインメニュー画面が表示されます。

- 2 「録画設定」を選択し、メニューキーを押す。 録画設定画面が表示されます。
- 3 「解像度設定」を選択し、メニューキーを押す。 解像度設定画面が表示されます。
- 4 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを移動し、(+)、(-)キーで各カメラの解像度を選択する。
 D1 (704 × 480)、HD1 (704 × 240)、CIF (352 × 240)の解像度から選択します。
 メ モ
 CIF (352 × 240)を選択した場合、選択したカメラ以外に連動するカメラの解像度も変更されます。
- 5 5 まーを押す。
 設定保存の確認メッセージが表示されます。
- 6 ■、▶ キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。
 録画設定画面に戻ります。

■ 自動録画の設定をする

設定されたスケジュールに従って録画します。自動録画をする場合は、スケジュール設定やグループ設定を してください。(P. 4-12「自動録画設定」)

● スケジュールを設定する

曜日、開始時刻、終了時刻、および運用するグループをスケジュールとして設定します。



- 1 メニューキーを2秒以上押す。 メインメニュー画面が表示されます。
- 2 「録画設定」を選択し、メニューキーを押す。 録画設定画面が表示されます。
- 3 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「自動録画設定」に移動し、メニューキーを押す。 自動録画設定画面が表示されます。
- **4** 「スケジュール」を選択し、メニューキーを押す。 スケジュール設定画面が表示されます。
- 5 ▲、▲、▲、▲、▲・マカーソルを移動し、(+)、(-)キーでスケジュールの内容を設定する。
 曜日、開始時刻、終了時刻、運用方法(グループ)を設定します。
- 6 <-- キーでカーソルを画面の左端の選択位置に移動し、 <-- キーを押す。 設定保存の確認メッセージが表示されます。
- ▲ 、 ▶ キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。
 自動録画設定画面に戻ります。

● グループの設定をする

グループA~Fにそれぞれノーマル録画、アラームイベント録画などの設定をします。(P. 4-14「グループ A~F設定」)



- **1** メニューキーを2秒以上押す。 メインメニュー画面が表示されます。
- **2** 「録画設定」を選択し、メニューキーを押す。 録画設定画面が表示されます。
- 3 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「自動録画設定」に移動し、メニューキーを押す。 自動録画設定画面が表示されます。
- 4 自動録画設定画面の「グループA~F」から ▲ 、▲ キーでカーソルを設定するグループに 移動し、メニューキーを押す。 選択したグループ設定画面が表示されます。
- 5 ▲ 、▲ 、▲ 、▲ キーでカーソルを移動し、(+)、(-)キーで選択したグループの録画に関する設定をする。
 録画間隔、録画画質、録画イベント、アラームイベント録画モード、アラーム入力モード、アラームポスト時間、モーション検出モード、モーションポスト時間の設定をします。
- ▲ 、 ▶ キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。
 自動録画設定画面に戻ります。

● その他の設定をする

自動録画設定には、スケジュール設定とグループ設定のほかに、特定日、モーション、音声の設定ができます。 (P. 4-12「自動録画設定」)

3-10 取扱説明書

- モニター表示

モニター1出力とモニター2出力で表示できる機能が異なります。

○:表示可 ×:表示不可

451%	台上			ライブ	モード				再生	電子	カスケード			
依	日ヒ	1 画面	4 分割	9 分割	」16 分割*	シーケ	ンス	1 画面	4 分割	9 分割	16 分割*	ズーム	映像	
モニタ-	- 1 出力	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	
モニタ-	- 2 出力	0	0	×	×	0	\bigcirc		×	×	×	×	×	
機	能	メイン	メニュー通	面	サブメニュー	-画面	検	索画面	配置設定画面		トリプレッ [,] 設定画面	クス ī	画像コピー画面	
モニタ-	- 1 出力		0		\bigcirc	0					0		0	
モニタ-	- 2 出力		×		×			× ×			×		×	

*16 局用のみ表示できます。

メモ

- モニター 2 出力は、設定によってモニター 1 出力と同じ映像を出力することができます。(P. 4-21 「画面表 示設定」)
- アナログ RGB 出力は、モニター1 出力と同じ映像を出力します。
- カスケード映像は、カスケード接続されたデジタルレコーダーの映像を出力します。(P. 2-3 「デジタルレ コーダー拡張システム(カスケード接続)」、P. 3-17 「リモートコントローラーを使用する」)

■ モニターを切り換える

モニターキーを押すごとに、モニター1とモニター2の操作を切り換えることができます。 モニターキーが消灯中はモニター1の操作ができ、点灯中はモニター2の操作ができます。

メモ

モニター2出力にモニター1出力の映像を出力しているときは、モニター2の操作はできません。(P. 4-21 「画 面表示設定」)

■ ライブモードと再生モードについて

ライブモードと再生モードの画面表示を切り換えることができます。 ライブモードで再生キーまたは逆再生キーを押すと、再生モードに切り換わり、再生モードで停止キーを押 すとライブモードに切り換わります。ライブと再生を切り換えても多画面表示状態は継続されます。

ライブモード:現在のカメラ映像を表示している状態です。「L」の文字の後にカメラ番号が表示されます。

再生モード : ハードディスクに録画されている映像を表示している状態です。「PB」の文字の後にカメラ 番号が表示されます。

■ ライブモードの表示

ライブモードのときは、以下のような表示をします。



- カメラ番号を表示します。
 Lはライブ映像を表します。番号はカメラ映像の 入力番号を表します。
- ②録画状態を表示します。
 - アイコンの色で録画モードを表します。
 - ●(緑色):ノーマル録画中
 - ●(黄色):アラーム録画中
 - ●(青色):モーション録画中
 - ●(赤色):緊急録画中
 - 表示なし:録画停止中、または、プリ録画中
 - メモ

アラームイベント録画(アラーム録画、モーショ ン録画)時にイベントカメラ以外の録画レートで 録画してるカメラは●(緑色)を表示します。

- カメラの制御状態を表示します。
 コンビネーションカメラが接続され、制御可能な ときに表示されます。
- ④ DVR 名を表示します。(P. 4-24「DVR 名設定」)
- ⑤ 音声の録音状態を表示します。
 - 1 ♪ :音声チャンネル1を録音しています。
 2 ♪ :音声チャンネル2を録音しています。
 3 ♪ :音声チャンネル3を録音しています。
 4 ♪ :音声チャンネル4を録音しています。
 表示なし:録音していません。
 (P. 4-9「緊急録画設定」、P. 4-12「自動録画設定」、
 P. 4-20「プリ録画設定」)
- ⑥上書設定を表示します。(P. 4-7「録画設定」)

➡:上書禁止

♀:上書許可

(7)カメラ名を表示します。(P. 4-24 「カメラ名設定」)

- ⑧ ディスクモードを表示します。
 (P. 4-40「ハードディスクの初期化」)
 ミラー:ミラーリング録画(ミラーモード)
 長時間:長時間録画(長時間モード)
- (9) ハードディスクの残量時間を表示します。上書禁止のときに表示されます。
- ①ファン異常が発生しているとき「*」を点灯表示します。
 画面表示設定で[非表示]に設定することはできません。
- ① 現在録画中のハードディスクを表示します。
 長時間モードで録画中は、A~Fのどれか1つの 記号が表示されます。ミラーモードで録画中は、A ~Fのうち2つの記号が表示されます。
 - A、B : 内蔵ハードディスク
 - C、D : ハードディスク増設ユニット (増設ユニット接続端子 1)
 - E、F : ハードディスク増設ユニット (増設ユニット接続端子 2)
- ① 現在の日付と時刻を表示します。
 (P. 4-38「時刻設定」)
 表示位置は設定によって移動できます。(P. 4-22
 「文字表示設定」)
- メモ
- ①、⑦は、設定したどちらか一方を表示します。
- ①以外は、画面表示設定の文字表示設定画面で表示/非表示を設定できます。(P. 4-22「文字表示設定」)

3-12 取扱説明書

■ 再生中の表示

再生モードのときは、以下のような表示をします。



- 再生しているカメラ番号を表示します。
 PBは、再生映像を表します。番号は、カメラ映像の入力番号を表します。
- ②DVR 名を表示します。(P. 4-24「DVR 名設定」)
- ③再生モードを表示します。
 - ▶ 再生 :再生しています。
 ▶ 再生 :早送り再生しています。
 ◀ 逆再生 :逆再生しています。
 ◀ 逆再生 :早戻し再生しています。
 - ■■ 一時停止:一時停止しています。
 - ■■一時停止・一時停止しています。
- ④早送り、早戻し再生の速度を表示します。
 - ×2、×4、×8:表示している速度で早送りま たは早戻し再生をしています。 ×1分、×10分:1分ごと、10分ごとの映像を
 - 表示して早送りまたは早戻し 再生をしています。
- ⑤再生データの音声の録音状態を表示します。
 - 1 ♪ : 音声チャンネル1の音声が録音されて います。
 - 2 ♪ : 音声チャンネル2の音声が録音されています。
 - 3 ♪ : 音声チャンネル3の音声が録音されています。
 - 4 ♪ : 音声チャンネル4の音声が録音されて います。
 - 表示なし: 音声が録音されていません。

- ⑥カメラ名を表示します。(P. 4-24 「カメラ名設定」)
- ⑦ファン異常が発生しているときに「*」を点灯表示します。
 画面表示設定で[非表示]に設定することはできません。
- ⑧ 現在再生中のハードディスクを表示します。
 A~Fのどれか1つの記号が表示されます。
 - A、B : 内蔵ハードディスク
 - C、D : ハードディスク増設ユニット (増設ユニット接続端子1)
 - E、F : ハードディスク増設ユニット (増設ユニット接続端子 2)
- ⑨ 録画した日付と時刻を表示します。
 表示位置は設定によって移動できます。(P. 4-22
 「文字表示設定」)

メモ

- ①、⑥は、設定したどちらか一方を表示します。
- ⑦以外は、画面表示設定の文字表示設定画面で表示/非表示を設定できます。(P. 4-22「文字表示設定」)

|1画面表示で見る

ライブモードや再生モードで、カメラ選択キーを押すと、選択したカメラの1画面表示ができます。



┃多画面表示で見る

ライブモードや再生モードで多画面キーを押すごとに、下図のように多画面表示ができます。 多画面表示中は、多画面キーが点灯します。

メモ

- 境界部分は、モニター1出力は枠線表示しますが、モニター2出力は枠線表示しません。
- 再生モードの枠線表示は、録画された画像の解像度によって違いがあります。



(例)16局用ライブモードの場合



■ シーケンス表示で見る

ライブモードでシーケンスキーを押すと、カメラのライブ映像が順次表示されます。切り換え時間と表示す るカメラの設定は、画面表示設定のシーケンス設定画面で行います。シーケンス表示中はシーケンスキーが 点灯します。(P. 4-23「シーケンス設定」)



■ ズーム表示で見る

ライブモードまたは再生モードの1画面表示中に2倍のズーム表示ができます。ズーム選択画面、ズーム画 面表示中は、ズームキーが点灯します。



1 ズームキーを押す。

ズーム選択画面が表示されます。画面にポインターが表示されます。

- 2 (▲、) 、 (▲、) キーでズームする中心点を移動し、メニューキーを押す。 指定した点を中心にズームします。ズームしたままでも (▲)、) 、 (▲)、) キーでズームエリアの移動ができます。
- 3 ズーム画面でメニューキーを押す。 ズーム選択画面に戻ります。 ズーム画面で再度ズームキーを押すとズーム表示を解除します。

その他の機能

■ 音声チャンネルを切り換える

ライブモードや再生モードで音声を出力します。

ライブモードは音声入力端子の音声を出力し、再生モードは録音した音声を出力します。

音声チャンネルは、サブメニュー画面で選択します。(P. 4-42「サブメニューの設定」)

再生モードの音声は、再生中だけ出力されます。再生速度を変更したときや逆再生中は出力されません。

ご注意

本機をスタンバイ状態にしたり、電源を切ると音声チャンネル設定は初期値に戻ります。 初期値の設定は、システム設定の音声出力起動時設定で行います。(P. 4-29「システム設定」)

■動きのある映像のノイズを除く(デインターレーシング)

解像度が D1 (704 × 480)で録画されたデータを再生すると、動きのある映像に"くし状"のノイズ(インター レースノイズ)が発生する場合があります。デインターレーシング機能は、このノイズを除去することができ ます。

デインターレーシング機能のON / OFF は、サブメニュー画面で選択します。(P. 4-42 「サブメニューの設定」)

メモ

- インターレース方式のカメラと組み合わせ使用した場合にインターレースノイズが発生する場合があります。TOA 製プログレッシブカメラは、インターレースノイズが発生しないため、デインターレーシング機能を使用する必要はありません。
- 解像度が HD1 (704 × 240)、CIF (352 × 240)で録画された録画データを再生した場合は、インタレース ノイズは発生しません。

ご注意

- 本機をスタンバイ状態にしたり、電源を切るとデインターレーシング設定は初期値に戻ります。
 初期値の設定は、画面表示設定のデインターレーシング起動時設定で行います。(P. 4-21「画面表示設定」)
- 解像度が D1(704 × 480)で録画されたデータをデインターレーシング機能を使用して再生すると、インターレースノイズは除去されますが、解像度が低下します。

■文字表示位置を調整する

モニター1出力とアナログ RGB 出力の文字表示位置を調整できます。

モニターによっては、本機の出力映像のすべての領域が表示できないため、文字がモニター画面に収まらない場合があります。このため、工場出荷時は画面中央方向に設定されています。(P. 4-22「文字表示設定」)

ご注意モニター2出力の文字表示位置は変更できません。







■ リモートコントローラーを使用する

リモートコントローラー (C-RM1000)を接続して、本機やコンビネーションカメラの操作、メニュー表示と 設定ができます。 インターフェースユニット(C-RF1000)を使用すると最大4台のリモートコントローラーが接続できます。

複数台のデジタルレコーダーを操作する場合は、以下の設定が必要です。

[本機]

DVR-ID を設定する (P. 3-4「DVR-ID を設定する」、P. 4-29「システム設定」)

[リモートコントローラー (C-RM1000)]

グループを設定する

※ リモートコントローラーの設定のしかたは、リモートコントローラー C-RM1000 の取扱説明書をご覧く ださい。

デジタルレコーダーごとにグループを分けると、デジタルレコーダーごとに1台のモニターで見ることができます。

また、デジタルレコーダーのモニター出力を別のデジタルレコーダーのリンク入力にカスケード接続し、カス ケード接続されたデジタルレコーダーをグループ化すると、同じグループ内の映像を1台のモニターで見るこ とができます。カスケード接続ができるデジタルレコーダーは、C-DR091 / 161 シリーズ、C-DR096 / 166 シリーズです。(P. 2-3「デジタルレコーダー拡張システム(カスケード接続)」)

■ コンビネーションカメラを制御する

本機にコンビネーションカメラを接続し、Web ブラウザーまたはリモートコントローラー(C-RM1000)を使 用してカメラの操作、メニュー表示と設定ができます。 本機では、以下の制御を行います。

- ●本機のアラーム入力端子に信号が入ると、設定されているプリセットポジション番号の位置にコンビネーションカメラを移動します。(P. 4-33「カメラプリセット設定」)
- コンビネーションカメラのアラーム入力端子に信号が入り、スケジュール設定している時間内に本機がカメラからのアラームコマンドを受信するとアラーム録画を開始します。

メモ

カメラには最大8つのアラーム入力端子があります。本機は、アラームコマンドを受信した場合、入力さ れた端子に関係なくアラーム録画を開始します。

● 通信方式がタイプBで動作するコンビネーションカメラを接続しているときは、本機の時刻にカメラの時 刻を合わせます。(P. 4-38「時刻設定」)

- 本機のキー操作でコンビネーションカメラは制御できません。
- コンビネーションカメラのアドレスは、本機の映像入力番号と一致させてください。また、コンビネーションカメラの終端スイッチは、正しく設定してください。詳しくは、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。

■配置設定をする

多画面でライブ中に多画面キーを2秒以上押すと、配置設定画面になります。多画面のカメラ映像を任意に 配置することができ、配置設定は画面ごとに保存されます。電源を切っても配置設定は保持されます。 配置設定した多画面は、再生モードにも反映されます。



1 ライブモードの多画面表示中に多画面キーを2秒以上押す。 配置設定画面が表示されます。

- 3 配置したいカメラをカメラ選択キーで選ぶ。

カーソルで選択した位置に、カメラ選択キーで選んだカメラのライブ映像が表示されます。 カメラが接続されていないカメラ選択キーを押したときは、黒画面が表示されます。

4 メニューキーを2秒以上押す。

現在の設定状態で設定画面を終了し、ライブモードに戻ります。

- ●同じカメラの映像を複数設定できません。選択したカメラ番号のライブ映像を表示している場合は、選択 中のカメラと入れ換わります。
- モニター2の映像は、配置を変更することができません。
- 配置設定中にアラームイベントが発生した場合、録画は行いますが、1 画面表示はしません。

■ トリプレックス設定をする

多画面で再生中(早送り、巻戻し、一時停止を含む)に多画面キーを2秒以上押すと、トリプレックス設定画 面になります。トリプレックス設定は、多画面の再生映像の中にライブ映像を配置して見ることができ、画 面ごとに保存されます。電源を切ってもトリプレックス設定は保持されます。



7 再生モードの多画面表示中に多画面キーを2秒以上押す。 トリプレックス設定画面が表示されます。

3 配置したいカメラをカメラ選択キーで選ぶ。

カーソルで選択した位置に、カメラ選択キーで選んだカメラのライブ映像が表示されます。 カメラが接続されていないカメラ選択キーを押したときは、黒画面が表示されます。

4 設定したライブ映像を再生映像に戻すときは、シーケンスキーを押す。 選択された位置のライブ映像表示を解除し、再生映像を表示します。

5 メニューキーを2秒以上押す。

トリプレックス設定画面を終了し、再生モードに戻ります。

- すべての画面をライブ映像に設定することはできません。
- 同じカメラのライブ映像を複数設定できません。

第3章 操作のしかた



■ 録画をする前に

通常は、あらかじめ設定されたスケジュールに従って自動録画をします。そのため、キーを押すなどの録画 を開始するための操作は必要ありません。 スケジュールされていない時間帯も緊急録画キーを押すと録画することができます。

録画をする前に、ディスクモードの設定と上書きの設定をしてください。

● ディスクモード

ディスクモードには、長時間モードとミラーモードがあります。(P. 4-39「機器メンテナンス」) 工場出荷時は「長時間」に設定されています。

- 長時間モード:1台目のハードディスクへの録画が終了すると、2台目のハードディスクに録画します。 録画の設定内容が同じ場合、長時間モードの録画時間はミラーモードの約2倍になります。
- ミラーモード:2台のハードディスクに同時に同じ映像を録画します。1台のハードディスクが故障した場合でも、もう1台のハードディスクは継続して録画しますので、録画した映像をすべて再生することができます。

すべてのカメラの解像度が同じ場合の最高録画レートは、以下のとおりです。

	CIF (352×240)	HD1 (704 \times 240)	D1 (704 \times 480)
長時間モード	240 ips	120 ips	60 ips
ミラーモード	120 ips	60 ips	30 ips

ご注意

ディスクモードを変更すると、ハードディスクが初期化されます。 録画されていた映像は消去されますので、必ず使用する前にディスクモードを決定してください。

● ハードディスクの録画の順序

本機またはハードディスク増設ユニット(C-DA1000 シリーズ(生産完了品)、C-DA1010 シリーズ)のハード ディスクは、以下のように録画します。 ミラーモードの場合、接続されているハードディスクを HDD1 と HDD2 の 2 つのグループとし、同時に同じ 映像を録画します。



HDD-A、HDD-B:本機のハードディスク(1 台機の場合は、HDD-A のみ) HDD-C、HDD-D:増設ユニット接続端子 1 に接続されているハードディスク増設ユニットのハードディスク HDD-E、HDD-F:増設ユニット接続端子 2 に接続されているハードディスク増設ユニットのハードディスク

ご注意

ハードディスク増設ユニットを接続したときの録画のしかたについては、ハードディスク増設ユニット(C-DA1000 シリーズ(生産完了品)、C-DA1010 シリーズ)の取扱説明書をご覧ください。

● 上書設定

ハードディスクへの録画を上書許可または上書禁止に設定できます。(P. 4-7「録画設定」)

- 上書許可: すべてのハードディスクがいっぱいになると、録画日時の古い映像から自動的に消去し、新しい 映像を上書きします。
- 上書禁止: すべてのハードディスクがいっぱいになると、録画を停止します。 再び録画を開始するときは、ハードディスクを初期化する、または上書設定を「許可」にしてく ださい。

■ 録画モードについて

本機には以下の録画モードがあります。優先順位については①、②、③の順になります。



■ 緊急録画

緊急録画は自動録画よりも優先した録画モードです。不審者が侵入した場合などの録画やスケジュール外で の録画時に使用します。緊急録画では、各カメラごとに録画レート、画質の設定ができます。また、緊急録 画中の音声の設定をすることができます。(P. 4-9「緊急録画設定」)

● 緊急録画のしかた

1 緊急録画を開始する。

緊急録画キーを押すと、緊急録画を開始します。緊急録画キーが赤く点滅し、ブザーが鳴動します。 ブザーを停止させる場合は、アラーム解除キーを押してください。 メモ ブザー/異常表示設定で、ブザーを「なし」に設定している場合は、ブザーは鳴りません。(P. 4-30「ブ ザー/異常表示設定」)

2 緊急録画を終了する。

緊急録画入力モードがエッジの場合は、緊急録画のポスト時間経過後に終了します。 緊急録画キーが点灯し、ブザーが停止します。緊急録画キーを2秒以上押すと、キーが消灯します。 緊急録画中に緊急録画キーを2秒以上押して緊急録画を終了することもできます。 緊急録画入力モードがレベルの場合は、緊急録画キーを2秒以上押して緊急録画を終了します。

メモ

緊急録画は、以下の方法でも録画を開始することができます。

- ●本機後面の緊急録画入力端子に信号を入力する。
- ●リモートコントローラー (C-RM1000)の緊急録画キーを押す。

📕 自動録画(アラームイベント録画、ノーマル録画)

あらかじめ設定したスケジュールに従って録画します。スケジュールは 12 プログラムまで設定することがで きます。プログラムの時間が重なった場合は、番号の大きいプログラムが優先されます。プログラムには「曜 日」、「開始時刻」、「終了時刻」、「運用」があります。「運用」のグループ設定は、A~Fの6種類あり、ノー マル録画、アラームイベント録画時の録画設定を登録できます。また、最大 60 日の日付を設定して、異なる プログラムで運用するための特定日設定やカメラごとにモーションエリアを設定するモーション設定、自動 録画中の音声の設定をすることができます。(P. 4-12「自動録画設定」)

● アラームイベント録画

アラームイベント録画には、アラーム録画とモーション録画があります。 「録画間隔設定」では、カメラごとに録画レートを設定します。(P. 4-15「録画間隔設定」) 「録画画質/イベント設定」では、カメラごとの画質と「録画イベント」を設定できます。(P. 4-16「録画画 質/イベント設定」)

アラームイベントが発生すると、「録画イベント」で設定したカメラはアラームイベント録画を開始します。 アラームイベントが発生していないカメラは、ノーマル録画を継続します。

アラーム入力の録画時間は、「アラーム入力モード」と「アラームポスト時間」で設定します。

モーション起動の録画時間は、「モーション検出モード」と「モーションポスト時間」で設定します。(P. 4-14「グループA~F設定」)

 アラーム録画
 アラーム入力端子(後面)からの信号でアラーム録画を開始します。また、本機にコンビネーションカメラを接続している場合は、カメラからのアラームコマンドを受信するとアラーム録画を開始することができます。(P. 3-17「コンビネーションカメラを制御する」) アラーム入力端子からの信号でどのカメラを録画するかは、「録画イベント」のアラーム入力で設定します。
 「アラームイベント録画モード」がシーケンスの場合、カメラごとに最大4つのアラーム入力を任意に設定できます。
 「アラームイベント録画モード」がラストの場合、カメラ番号と同じ番号のアラーム入力を設定できます。

 モーション録画:カメラ映像の動きを検出して録画を開始します。モーションエリア、感度および起動は「モーション設定」で行います。(P. 4-18「モーション設定」) カメラ映像の動きを検出した場合にどのカメラを録画するかは、「録画イベント」のモーション検出カメラで設定します。 「アラームイベント録画モード」がシーケンスの場合、カメラごとに最大4つのモーション検出カメラを任意に設定できます。 「アラームイベント録画モード」がラストの場合、カメラ番号と同じ番号のモーション検出カメラを設定できます。 第3章 操作のしかた

● アラームイベント録画のしかた

1 アラームイベント録画を開始する。

アラームイベントが発生すると、録画イベントで設定したカメラはアラームイベント録画を開始します。 アラーム解除キーが赤く点滅し、ブザーが鳴動します。

ブザーを停止させる場合は、アラーム解除キーを押してください。

ライブモードでは、イベントが発生したカメラ映像が1画面表示されます。アラームカメラ表示時間で 設定した時間が経過すると前画面表示に戻ります。(P. 4-21「画面表示設定」)

メモ

- ブザー/異常表示設定で、ブザーを「なし」に設定している場合は、ブザーは鳴りません。(P. 4-30「ブ ザー/異常表示設定」)
- アラームカメラ表示時間を「0 秒」に設定すると1 画面表示されず、現在の表示状態を維持します。
- スケジュール設定している時間外にアラームイベントが発生した場合は、アラームイベント録画は開始されません。

2 アラームイベント録画を終了する。

アラームポスト時間またはモーションポスト時間経過後に終了します。

アラーム解除キーが点灯し、ブザーが停止します。アラーム解除キーを2秒以上押すと、キーが消灯し ます。

アラームイベント録画中にアラーム解除キーを2秒以上押してアラームイベント録画を終了することも できます。

メモ

アラームイベント録画は、以下の方法でも録画を終了することができます。

- ●本機後面のアラーム解除入力端子に信号を入力する。
- リモートコントローラー (C-RM1000)のアラーム解除キーを2秒以上押す。

● ノーマル録画

スケジュールで設定したカメラの映像を自動的に録画します。

録画間隔設定では、カメラごとに「録画レート」を設定します。(P. 4-15「録画間隔設定」) 録画画質/イベント設定では、カメラごとに「画質」を設定できます。(P. 4-16「録画画質/イベント設定」) 複数のプログラムを組み合わせると、昼間と夜間、平日と休日などスケジュール通りに録画することができ ます。

■ プリ録画

プリ録画は、録画停止状態で緊急録画やアラームイベント録画が開始される直前の映像を録画する機能です。 プリ録画設定でプリ録画時間を1秒以上に設定するとプリ録画をします。プリ録画では、カメラごとのカメ ラの録画レート、画質の設定はできません。すべてのカメラに共通の録画レート、画質、音声、録画時間の 設定をします。カメラ1台あたり録画レートは最大8 ips です。(P. 4-20「プリ録画設定」)

以下の場合にプリ録画をすることができます。

- 録画停止状態で緊急録画を開始するとき
- スケジュール設定している時間内ですべてのカメラが録画停止状態のときに、アラームイベントが発生し アラームイベント録画を開始するとき

| 録画状態について

本機は、ユーザーの用途に合わて録画設定することができます。

スケジュールで設定された時間内のとき

● 自動(ノーマル録画)で録画をする

通常、自動録画(ノーマル録画)を設定しているカメラは、下図の状態で動作します。



- ① 緊急録画のイベントが発生すると、緊急録画を開始します。
- ② 緊急録画が終了すると、ノーマル録画に戻ります。
- ③ アラームイベントが発生すると、録画イベントで設定したカメラ はアラームイベント録画を開始します。アラームイベントが発生 していないカメラは、ノーマル録画を継続します。
- ④ アラームイベント録画で設定した時間が終了すると、ノーマル録 画に戻ります。
- ⑤ アラームイベント録画中に緊急録画が発生すると、緊急録画を開始します。
- ⑥ 緊急録画が終了すると、ノーマル録画に戻ります。

第3章 操作のしかた

スケジュールで設定された時間内のとき

● 緊急、アラームイベント発生時だけ録画する

通常は録画停止していて、緊急録画またはアラームイベント録画だけを録画するに設定しているカメラは、 下図の状態で動作します。

メモ

スケジュールで設定された時間内でノーマル録画を停止する場合は、自動録画設定の録画間隔設定でカメラの「ノーマル録画」の録画レートを「-(録画しない)」にしてください。(P. 4-15「録画間隔設定」)



- ① 緊急録画のイベントが発生すると、緊急録画を開始します。
- 2 緊急録画が終了すると、録画停止に戻ります。
- ③ アラームイベント録画が発生すると、アラームイベント録画を開始します。アラームイベントが発生していないカメラは、イベント以外の録画レート、録画画質に従って録画します。
- ④ アラームイベント録画で設定した時間が終了すると、録画停止に 戻ります。
- ⑤ アラームイベント録画中に緊急録画が発生すると、緊急録画を開始します。
- ⑥ 緊急録画が終了すると、録画停止に戻ります。

メモ

録画停止中にプリ録画をすることができます。(P. 3-25「プリ録画」)

スケジュールで設定された時間外のとき

● 緊急発生時だけ録画する

スケジュールで設定された時間以外のときは、下図の状態で動作します。



 ① 緊急録画のイベントが発生すると、緊急録画を開始します。

 ② 緊急録画で設定した時間が終了すると、録画停止に戻ります。

ご注意

ノーマル録画、アラームイベント録画はできません。

メモ

録画停止中にプリ録画をすることができます。(P. 3-25「プリ録画」)

■ エッジ/レベル設定時の録画動作について

緊急録画入力モード、アラーム入力モード、モーション検出モードがエッジまたはレベルに設定されている ときは、以下のような録画動作をします。







①プリ録画

② 緊急録画、アラーム録画、モーション録画

ご注意

- プリ録画は、録画停止中だけ動作します。録画中は動作しません。
- 緊急録画入力モードをレベルに設定して、本機またはリモートコントローラー (C-RM1000)の緊急録画キー で録画を開始したときは、手動で停止するまで緊急録画を継続します。

■録画画質について

録画画質は5段階の設定があり、録画モードやカメラごとに設定することができます。(P. 6-2「ファイルサ イズ一覧表」)

■ 録画レートについて

録画レートは1秒間に録画する映像の枚数で、単位は ips (image per second)で表します。 カメラ1台で設定できる録画レートは最大 30 ips です。

すべてのカメラの解像度が同じ場合の最高録画レートは、以下のとおりです。

	CIF (352×240)	HD1 (704 \times 240)	D1 (704 \times 480)				
長時間モード	240 ips	120 ips	60 ips				
ミラーモード	120 ips	60 ips	30 ips				

本機で設定する録画レートは、端数を切り上げて表示しています。 表示と実際の録画レートの関係は下表のようになります。

メニュー表示	実際の録画レート	メニュー表示	実際の録画レート
30	30.00000	1	0.93750
15	15.00000	1/2	0.46875
8	7.50000	1/3	0.31250
4	3.75000	1/5	0.18750
2	1.87500	1/10	0.09375

本機では、各カメラの録画レートの合計を総録画レートとし、上表の実際の録画レートに従って計算されます。 例えば、16 台のカメラを 8 ips で設定した場合、実際の録画レートが 7.5 ips であるため、総録画レートは 120 ips となります。

メモ

1/2 以下の録画レート(1/2~1/10)を指定した場合、総録画レートの計算は 0.9375 を使って計算されます。

■録画時間について

録画時間は以下の設定によって変わります。 録画時間の目安は、P.6-2「録画時間表」を参考にしてください。

- ・ハードディスクの容量(1 TB~4 TB)
- ・解像度(CIF:352×240、HD1:704×240、D1:704×480)
- ・録画レート(30 ips ~ 1/10 ips)
- · 画質(1~5)
- ・音声(あり/なし)

| 録画データの自動消去について

設定した期間が経過した録画データを自動的に消去します。(P. 4-39「機器メンテナンス」)

(例)自動消去を「1日」に設定した場合の録画データ

現在の日時が8月20日10時00分の場合は、1日前の8月19日10時00分よりも過去の録画データは消去 されます。



●日時を変更した場合

(例)自動消去を「1日」に設定した場合の録画データ

時刻設定で8月19日22時00分から8月20日22時00分(1日未来)に変更した場合でも、1日経過していないデータは消去されません。

現在時刻が 8月21日10時00分の場合は、実際に経過した日数(1日前)の8月19日10時00分よりも過去の録画データが消去されます。



- ●自動消去を設定し保存すると、その時点で設定した期間よりも過去のデータは消去されます。一度消去されたデータは、自動消去の設定や時刻を変更しても見ることはできません。
- ●録画された日時をもとに期間を判断しています。現在時刻を変更しても設定した期間を経過していない録 画データは消去されません。
- ●上書許可のときは、設定した期間が経過する前にハードディスクがいっぱいになると、録画日時の古い映像から自動的に消去し、新しい映像を上書きします。

再生

■再生の種類

本機には同時録画再生機能があり、録画を止めることなく、録画した映像と音声を再生することができます。 再生はモニター1で表示できます。本機には、以下のような再生方法があります。

種類	説 明
再生	録画された映像と音声を再生します。
逆再生	録画された時間をさかのぼって再生します。
最古再生	録画された最も古い映像から再生します。
最新逆再生	録画された最も新しい映像から逆再生します。
早送り再生、早戻し再生	再生または逆再生の速度を2倍、4倍、8倍で再生します。また、1 分飛ばし、 10 分飛ばしの画面を表示し、再生速度を速めることもできます。
一時停止	再生または逆再生している映像を一時停止して、静止画を表示します。
コマ送り再生、コマ戻し再生	一時停止している映像を1コマずつ再生します。
イベント飛ばし	イベント(緊急録画、アラームイベント録画、ノーマル録画)が開始された時刻 まで移動して再生します。

■ 再生のしかた

ライブモード中に再生操作をすると再生モードになります。 再生モードの音声は再生中だけ出力されます。再生速度を変更したときや逆再生中は出力されません。

ご注意

- Web ブラウザーを使ってライブ配信、再生配信、バックアップのいずれかを行っていると、再生のパフォーマンスが低下する場合があります。
- ●録画モードの切り換わりやアラームイベント録画中に別のアラームイベントが発生した部分を再生すると、 一時的に再生が止まったり、音声が途切れることがあります。
- 表示画面を切り換えると音声が途切れることがあります。

再生する

再生 ▶ キーを押す。

録画した映像と音声を再生します。前に再生を停止した時刻から再生を開始します。 再生中は再生キーが緑に点灯します。

メモ

本機を起動したときや前に再生を停止した時刻の映像が上書きされたときは、最も古い映像から再生を開 始します。

ご注意

音声は再生中だけ出力されます。再生速度を変更したときや逆再生中は出力されません。

● 逆再生する

逆再生 🔳 キーを押す。

時間をさかのぼって再生します。前に再生を停止した時刻から逆再生を開始します。 逆再生中は逆再生キーが緑に点灯します。

メモ

本機を起動したときや前に再生を停止した時刻の映像が上書きされたときは、最も新しい映像から逆再生を開始します。

● 停止する

停止 🔽 (■)キーを押す。

再生中の映像を停止します。停止するとライブモードになります。

● 最も古い映像を再生する(最古再生)

停止 **▶** (■)キーを押しながら、再生 **▶** キーを押す。 録画された最古の時刻から再生します。

● 最も新しい映像を逆再生する(最新逆再生)

停止 **■** (**■**)キーを押しながら、逆再生 **■** キーを押す。 録画された最新の時刻から逆再生します。

● 早送り再生、早戻し再生する

再生中に再生 ▶ キー (逆再生中のとき逆再生 🖪 キー)を押す。

早送り再生(逆再生中は早戻し再生)になります。キーを押すたびに再生速度が2倍、4倍、8倍と変化します。また、1分飛ばし、10分飛ばしの画面を表示し、再生速度を速めることもできます。

再生速度 通常速度→2倍速(×2)→4倍速(×4)→8倍速(×8) 10分飛ばし(×10分)←1分飛ばし(×1分)

ご注意

- 時刻設定を過去に戻して録画を行った場合、1 分飛ばし、10 分飛ばしが正常に動作しないことがあります。
- ハードディスクのアクセス時間などによって、表示速度で再生されない場合があります。
- プリ録画されたデータは、1 分飛ばし、10 分飛ばし再生はできません。
- 再生と逆再生は録画されたデータをすべて再生しますが、早送り再生と早戻し再生は、再生速度にあわせてスキップします。

● 一時停止する

1 再生中または逆再生中に一時停止 ▲ (■)キーを押す。

一時停止します。一時停止中はキーが緑に点灯します。

2 再度、再生または逆再生を行うには、再生 🗈 キーまたは逆再生 < キーを押す。

一時停止が解除され、再生(逆再生)を始めます。

● コマ送り再生、コマ戻し再生する

一時停止中に一時停止 ▲ (■■)キーを押しながら、再生 ▶ キーまたは逆再生 ■ キーを押す。

1回押すごとにコマ送りまたはコマ戻し再生をします。

イベントについて

録画モードのイベントには、緊急録画、ノーマル録画、アラームイベント録画(アラーム録画、モーション録画) があります。

● イベント飛ばしをする

イベント飛ばしは、再生する映像をイベント単位で移動させることができ、短時間で必要な映像を探し出す ことができます。

- イベント飛ばしは、以下のイベントまで移動して一時停止します。
 - 緊急録画を開始した時刻
 - すべてのカメラがノーマル録画を開始した時刻
 - アラームイベント録画を開始した時刻
- メモ

アラームイベント録画中に別のアラームイベントが発生した場合は、そのイベントで録画を開始した時刻に は移動しません。

[次のイベントに飛ばすとき]

- 時停止中に再生 🕩 キーを2秒以上押す。

次のイベントの先頭に飛んで一時停止します。



[前のイベントに飛ばすとき]

一時停止中に逆再生 🖪 キーを 2 秒以上押す。

現在のイベントの先頭に飛んで一時停止します。



3-32 取扱説明書

検索

ライブや再生モードで検索キーを押すと検索画面を表示します。

検索の方法は、時刻指定による日時検索と録画イベントから検索するイベント検索があります。

ご注意

検索に時間がかかる場合(録画中、ハードディスク増設ユニット接続中、Web ブラウザーの接続中)があります。 また、イベント数が多い場合も検索に時間がかかります。



■ 日時で検索する

検索したい日時を入力し検索を実行すると、指定した時刻の映像を 16 分割(9 分割)画面で一時停止した状態 で表示します。指定した日時が録画されていないときは、指定日時以降で日時が一番近い映像を表示します。 録画されているデータの最古時間と最新時間が表示されますので、この間の日時を入力してください。

1 検索キーを押す。

検索画面が表示されます。

- 2 「日時検索」を選択し、メニューキーを押す。 日時検索画面が表示されます。
 - メ モ 検索を実行せずに前画面に戻る場合は、カーソル を画面の左端の位置に移動し、 ■ キーを押して ください。
- 3 ■、 ト キーでカーソルを移動し、(+)、(-)キー
 で「時刻」を設定する。
 年、月、日、時、分、秒を設定します。

日用	持検索																											
時亥 検雺	1] 夜		2 実	0 行	1	2	年			2	月		2	4	H			5	時			0	分			0	秒	
最古 最新	i f		2 2	0 0	1 1	2 2	年 年			2 2	月月		2 2	4 4	日日			5 5	時時			0 -	分分			0	秒秒	
	検索画	面	表:	示	時	刻		2	0	1	2	年		2	月	2	5	H	1	3	時		2 :	分 :	3	7	秒	

4 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「実行」に移動し、メニューキーを押す。 指定した日時以降の最も近い映像が表示されます。

項目	選択	説明
時刻	2000 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒 ~ 2099 年 12 月 31 日 23 時 59 分 59 秒	検索する日時を指定します。
検索	実行	実行すると検索を開始します。
最古		録画されている最古映像の時間を表示します。
最新		録画されている最新映像の時間を表示します。
検索画面表示時刻		検索画面を表示した時刻を表示します。

指定した時刻以降に映像がない場合は、画面右上にエラーメッ セージが表示されます。 メニューキーを押すと元のカーソル位置に戻ります。

該当なし OK

第3章 操作のしかた

ご注意

- ●現在時刻を変更して録画データに同一時刻が重複する場合や長時間間違った時刻で録画されたあとに現在時刻に変更した場合には、日時検索が正しくできないことがあります。
- 上書許可で録画中の場合、日時検索画面を表示して3分以上経過すると、録画された映像が上書きされるため、最古時間付近の検索、表示ができなくなります。検索画面表示時刻を参考にしてください。
- 指定した時刻に録画データが存在する場合でも、指定した時刻に対して最大1秒前後ずれた映像を表示することがあります。
- ●検索中にハードディスクエラーが発生した場合は、検索を終了し、画面右上に以下のエラーメッセージを 表示します。

検索に失敗しました

■ イベントで検索する

指定した条件でイベント検索を開始します。

1	検索キーを押す 。 検索画面が表示されます。	イベント検索 カメラ イベント 開始時間 終索	カメラ1 モーション 2012年 2012年 実行	1月 12月	1日 31日 2	0時 3時 5	0分 5分!	0秒 59秒
2	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	论去面	도로구매체	0.0.1.0.5	0.8.0.5			0 7 Feb
	検索を実行をすに前画面に戻る場合は、ガーラルを画面の 左端の位置に移動し、 <	快米回店	山衣小时刻	2012年	2 月 2 5	口I3时 	2753	3749

3 ▲ 、 ▲ 、 ▲ 、 ▶ キーでカーソルを移動し、「カメラ」、「イベント」、「開始時間」、および「終了時間」をそれぞれ(+)、(-)キーで設定する。

4 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「実行」に移動し、メニューキーを押す。 イベント検索のリストが表示されます。(P. 3-35「イベント検索のリスト表示」)

5 イベント検索のリストから、 ▲、 ▲ キーでカーソルを見たいイベントに移動し、メニューを押す。

イベント開始時刻の映像は、16分割(9分割)画面が一時停止した状態で表示されます。

指定した条件で該当するイベントが存在しない場合は、エラー メッセージが表示されます。 メニューキーを押すと元のカーソル位置に戻ります。

該当なし OK

ご注意 検索中にハードディスクエラーが発生した場合は、検索を終了し、画面右上に以下のエラーメッセージを表示します。

検索に失敗しました

項目	選択	説明
カメラ	カメラ 1~16(1~9)/すべて	検索するカメラ番号を選択します。
イベント	緊急 /ノーマル/アラーム /モーション/すべて	検索するイベントの種類を選択します。
開始時間	2000 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒 ~ 2099 年 12 月 31 日 23 時 59 分 59 秒	検索する開始時間を指定します。開始時間は終了時間より 大きい値を設定することはできません。
終了時間	2000 年 1 月 1 日 0 時 0 分 0 秒 ~ 2099 年 12 月 31 日 23 時 59 分 59 秒	検索する終了時間を指定します。終了時間は開始時間より 小さい値を設定することはできません。
検索	実行	実行すると検索を開始します。
検索画面表示時刻		検索画面を表示した時刻を表示します。

3-34 取扱説明書
● イベント検索のリスト表示

指定した条件で検索が一致した場合、イベントがリスト表示されます。

- カメラ番号を表示します。
 01~16(01~09)
- ② 録画したイベントの種類を表示します。
 ノーマル :ノーマル録画
 アラーム :アラーム録画
 モーション:モーション録画
 緊急 :緊急録画
- ③ ディスクモードを表示します。
 ミラー :ミラーリング録画(ミラーモード)
 表示なし :長時間録画(長時間モード)
- ④ 録画したハードディスクを表示します。
 A、B:内蔵ハードディスク
 C、D:ハードディスク増設ユニット (増設ユニット接続端子1)
 E、F:ハードディスク増設ユニット (増設ユニット接続端子2)

12	34	5	6
イ ベント札 索	- -		
CH イベント	ミラー HD	開始時刻	
05 緊急	ミラー A	12/2/8	1:00:00 🔺
01 モーション	A	12/ 2/28	11:00:00
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	
		//	

(5) 録画開始日時を表示します。

ご注意実際にイベントが入った時刻から最大1秒前後することがあります。

- ⑥ 複数ページを表示します。
 イベントリストが複数ページの場合に表示します。
 ▲:前ページがあります。
 - ▼:次ページがあります。

コピー

ハードディスクに録画した映像と音声を DVD-R/BD-R、または USB メモリーにコピーできます。 また、同時にビューアーソフトもコピーされますので、PC での再生も簡単にできます。

コピー範囲を指定する方法は2通りあります。

- 日時を入力してコピー範囲を指定する
- ●再生映像を見ながらコピー範囲を指定する

ご注意

- ●録画中、ハードディスク増設ユニット接続中、Web ブラウザーによる接続中は、コピーの転送時間が長く なることがあります。
- ●指定した時刻に対して、コピーされたデータの時刻は最大2秒前後することがあります。
 コピー開始時刻:指定時刻の2秒前~指定時刻
 コピー終了時刻:指定時刻~指定時刻の2秒後
- コピーした映像を本機で再生することはできません。ビューアーソフトを使って PC で再生してください。

[USB メモリーにコピーする場合]

- ●USBメモリーを本機のコピー端子に接続してください。
- ●マスストレージクラス(Windows XP / Vista / 7で「USB 大容量記憶装置デバイス」と認識されるもの) が使用できます。
- FAT16 / FAT32 でフォーマットされた USB1.1 / USB2.0 の USB メモリーに対応しています。
- コピー中に USB メモリーを抜くと、USB メモリーを認識できなくなることがあります。 コピー終了後、またはコピー停止後に抜いてください。

[DVD-R/BD-R にコピーする場合]

使用できるもの : DVD-R、DVD-R DL、BD-R、BD-R DL

推奨メディアメーカー		
DVD-R	Verbatim	
DVD-R DL	Verbatim	
BD-R	SONY	
BD-R DL	Panasonic	

ご注意

- DVD-R for Authoring 規格の DVD-R は使用できません。
- 上記条件に合致したものでも、すべてのメディアの動作を保証するものではありま せん。メディアの製造品質や保管状況などによりコピーできないことがあります。
- 使用できないもの : DVD-RW、DVD+R/RW、DVD+R DL、DVD-RAM、BD-R XL、BD-R LTH、BD-RE、 BD-RE DL、BD-RE XL
- ●1 度コピーした DVD-R/BD-R に追記することはできません。
- ●本機でコピーした DVD-R/BD-R を DVD/BD プレイヤーで再生しないでください。プレイヤーが破損するお それがあります。
- コピー中に電源を切ると、コピーが完了していないため DVD-R/BD-R が認識できず、PC で再生すること ができません。

■ 日時を入力してコピーする

あらかじめ日時がわかっていて、コピーする場合に使います。 本機に DVD-R/BD-R を挿入するかコピー端子に USB メモリーを接続してください。

1 ライブモードや再生モードでメニューキーを押す。 サブメニュー画面が表示されます。

2 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「画像コピー」に移動し、メニューキーを押す。 画像コピー画面が表示されます。

 画像 コピー

 開始1
 2012/2/7
 12:00:00

 終71
 2012/2/8
 12:30:00

 原始2
 2012/2/8
 8:00:00

 終72
 2012/2/10
 15:30:00

 酸約3
 2012/2/10
 15:30:00

 酸約4
 2012/2/10
 14:15:00

 開始4
 2012/2/20
 14:15:00

 開始5
 ---/-/- --:-/-

 開始6
 ---/-/- --:

 月
 カメラ3
 3

 音声
 あり

 転送
 実行

 最去
 2012/2/20
 17:30:00

メモ

画像コピー画面からコピーを実行せずにライブ モードや再生モードに戻る場合は、カーソルを 画面の左端の位置に移動し、 ■ キーを2回押 してください。

- 3 ▲、■、■、■ キーでカーソルを移動し、「開始1」と「終了1」の日時をそれぞれ(+)、
 (-)キーで設定する。
- **4** ほかにもコピーしたいデータがある場合は、手順3を繰り返す。 最大5つの開始、終了日時を設定できます。
- 5 ▲、▲ キーでカーソルを「カメラ」に移動し、(+)、(ー)キーでカメラを選択する。 「カメラ1」~「カメラ16」と「すべて」からコピーするカメラを選択します。(9局用は「カメラ1」~「カ メラ9」、「すべて」から選択できます。)
- 6 ▲、▲ キーでカーソルを「音声」に移動し、(+)、(ー)キーで音声のあり/なしを選択する。 なし:音声データをコピーしません。 あり:すべての音声チャンネルの音声データをコピーします。
- 7 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「実行」に移動し、メニューキーを押す。 実行すると画面右上に USB または BD を選択するメッセージが表示されます。
- 8 ■、 ▶ キーでカーソルを「USB」または「BD」に移動し、メニューキーを押す。 コピーが開始されます。

		USB :USB メモリーにコピーします。
実行しますか? USB BD	キャンセル	BD :DVD-R/BD-R にコピーします。
BDは追加書き込みできません		キャンセル:実行せず、元のカーソル位置に戻ります。

■ 再生映像からコピーする

再生映像を見ながらコピーをする場合に使います。 本機に DVD-R/BD-R を挿入するかコピー端子に USB メモリーを接続してください。

- **7** 再生モード中にコピーを開始したい位置で一時停止キーを押し、メニューキーを押す。 サブメニュー画面が表示されます。
- 2

 2

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 、

 画像 つビー

 開始1
 2012/2/7
 12:00:00

 核71
 2012/2/8
 12:30:00

 原始2
 2012/2/8
 12:30:00

 酸石2
 2012/2/8
 13:00:00

 酸石3
 2012/2/10
 15:30:00

 酸石3
 2012/2/10
 16:30:00

 酸石4
 2012/2/20
 14:15:00

 開始5
 ---/-2/20
 15:00:00

 開始6
 ---/-2/20
 15:00:00

 開始5
 ---/-2/20
 15:00:00

 開始5
 ---/-2/20
 15:00:00

 開始5
 ---/-2/20
 15:00:00

 開始5
 ---/-2/20
 15:00:00

 新送
 実行
 長古

 星古
 2012/2/2/0
 17:30:00

メモ

画像コピー画面からコピーを実行せずに再生 モードに戻る場合は、カーソルを画面の左端の 位置に移動し、
 (■) キーを2回押してください。

- 3 「開始1」でメニューキーを押す。 一時停止中の日時が開始位置に表示されます。 (+)、(-)キーで日時の変更ができます。
- **4 ■** キーを2回押して、画像コピー画面を終了する。 一時停止中の画面に戻ります。
- **5** 再生を行い、コピーを終了したい位置で一時停止キーを押し、メニューキーを押す。 サブメニュー画面が表示されます。
- 6 ▲、▲ キーでカーソルを「画像コピー」移動し、メニューキーを押す。 画像コピー画面が表示されます。
- 7 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「終了1」に移動し、メニューキーを押す。 一時停止中の日時が終了位置に表示されます。 (+)、(-)キーで日時の変更ができます。
- 8 ほかにもコピーしたいデータがある場合は、手順1~7を繰り返す。 最大5つの日時の開始、終了時間を設定できます。

- 9 ▲、▲キーでカーソルを「カメラ」に移動し、(+)、(-)キーでカメラを選択する。 「カメラ1」~「カメラ16」と「すべて」からコピーするカメラを選択します。(9局用は「カメラ1」 ~「カメラ9」、「すべて」から選択できます。)
- 10
 III 、 「 キーでカーソルを「音声」に移動し、(+)、(ー)キーで音声のあり/なしを選択する。
 なし:音声データをコピーしません。
 あり:すべての音声チャンネルの音声データをコピーします。
- **11** ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「実行」に移動し、メニューキーを押す。 実行すると画面右上に USB または BD を選択するメッセージが表示されます。
- 12 <

 12 <

 12

 ・

 ドーでカーソルを「USB」または「BD」に移動し、メニューキーを押す。

 コピーが開始されます。

	USB	:USB メモリーにコピーします。
実行しますか? USB BD キャンセル	BD	:DVD-R/BD-R にコピーします。
BDは追加書き込みできません	キャンヤ	zル:実行せず、元のカーソル位置に戻ります。

第3章 操作のしかた

■ コピー実行中の表示

● コピー中の表示

コピーを開始すると、以下の画面が表示されます。 コピー中はライブモードの画面を表示し、1 画面表示、多画面表示、シーケンス表示、ズーム表示操作がで きます。また、サブメニュー画面を表示し、音声出力、デインターレーシングの選択ができます。 コピー中は一時停止キーが点滅します。

ご注意

コピー中は再生、トリプレックス設定、配置設定、画像コピー画面表示、検索画面表示、およびメインメニュー 画面表示ができません。

また、設定したログアウト時間(P.4-32「セキュリティ設定」)が経過してもログアウトしません。



[状態表示]

USBメモリーの場合:「コピー中 **%」と表示されます。 DVD-R/BD-Rの場合:「書込み中 **%」→「終了中」と表示が変わります。

ご注意

コピーの進捗状況をパーセント(%)で表示します。

コピー開始時間から終了時間の録画状況や該当カメラ数を概算して見込み容量を算出しています。 このため、進捗表示が100%のまましばらく続いたり、100%に到達しないまま終了したりする場合があり ます。

● コピーの停止

停止キーで転送中断ができます。

コピーの停止確認のメッセージが表示されます。 <
 、 トーでカーソルを移動し、メニューキーを押します。



はい :停止します。 キャンセル :コピーを継続します。

ご注意

● DVD-R/BD-R の場合、コピーを停止しても、実際に停止するまでに数分かかる場合があります。

● DVD-R/BD-R の場合、状態表示が「終了中」のときは、コピーの停止はできません。

● コピーの終了

USBメモリーの場合 : コピーが終了すると、「コピー中」の表示が消え、ライブモードに戻ります。 DVD-R/BD-R の場合 : コピーが終了すると、「終了中」の表示が消え、ライブモードに戻ります。 DVD-R/BD-R は BD 挿入トレイから自動で出てきます。 第3章 操作のしかた

● エラーメッセージについて

コピー実行時にエラーが発生すると、以下のメッセージが表示されます。

開始位置、終了位置が正しく設定されていません

開始位置、終了位置の日時を逆に入力した場合に表示されます。正しく設定してください。

メディアを認識できません

- DVD-R/BD-R が挿入されていなかったり、USB メモリーが接続されていない場合に表示されます。
- 挿入した DVD-R/BD-R にすでにデータが書き込まれている場合にも表示されます。

該当なし

録画データがない日時やカメラを指定した場合に表示されます。

空き容量が少ないため最後までコピーできない可能性があります

コピー開始時に転送先の DVD-R/BD-R または USB メモリーとコピーするデータの容量を確認し、コピー するデータ容量が大きい場合に表示されます。コピー開始位置、終了位置の日時やコピーするカメラを再 設定する、または別の DVD-R/BD-R や USB メモリーに変更するなどしてください。メッセージが表示さ れても、コピーを実行することはできます。

メモ

コピー開始時間から終了時間の録画状況や該当カメラ数を概算し、コピーするデータの見込み容量を算出 しています。このため、メッセージが表示されても最後までコピーできる場合や、メッセージが表示され ずに DVD-R/BD-R または USB メモリーの空き領域がなくなり、コピーが途中で終了することがあります。

転送エラーが発生しました

コピーするデータの読み込みまたは書き込みに失敗した場合に表示されます。

メディアに空き領域が無いため、終了しました

DVD-R/BD-R または USB メモリーの容量いっぱいに書き込まれてコピーが途中で終了した場合に表示されます。続けてコピーをするときは、新しい DVD-R/BD-R または USB メモリーを入れ、再度コピー操作をしてください。

転送先の容量がいっぱいになったときでも、途中までコピーしたデータは再生できます。

メモ

コピーが途中で終了した場合、画像コピー画面の開始時間は、終了したときのデータの時間に更新されます。

■ コピーしたデータを見るとき

● フォルダー構成とファイル名



- ビューアーソフト : コピー時にダウンロードされる専用のビューアーソフトです。
- コピー番号別フォルダー:フォルダー内に映像データと音声データを1つのファイルとして保存します。 USBメモリーにコピーする場合、コピー番号別フォルダーがあると、最も大きな フォルダー番号に1を足したフォルダーを自動で作成します。フォルダー番号は、 0001 ~ 9999 となります。
- データファイル :ファイル名はコピーデータの開始日時を表します。拡張子は ".264"です。コピー 実行時に開始、終了日時を複数指定した場合は、ファイルを分けて保存します。 USBメモリーにコピーする場合はファイルサイズが 4 GB を超えると、ファイル は分割されます。
 - (例) <u>12 08 25 12 00 05 1</u> 1.264 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)
 - (1) 年(2000~2099:下2桁)を表します。例は、2012年を表します。
 - (2) 月(01~12)を表します。例は、8月を表します
 - (3)日(01~31)を表します。例は、25日を表します。
 - (4)時(00~23)を表します。例は、12時を表します。
 - (5)分(00~59)を表します。例は、00分を表します。
 - (6) 秒(00~59)を表します。例は、5秒を表します。
 - (7) コピー番号(1~5)を表します。例は、画像コピー画面の開始1のコピー であることを表します。
 - (8) ファイルの通し番号を表します。ファイルが分割された場合に、番号に1を 足したファイルが作成されます。

第3章 操作のしかた

● ビューアーソフトによる再生

PC でコピーデータを見る場合は、以下の手順で行ってください。

- **1** 記録した USB メモリーまたは DVD-R/BD-R を PC に挿入する。
- **2** PCのドライブから USBメモリーまたは DVD-R/BD-Rを選択し、ダブルクリックする。

3 USBメモリーまたは DVD-R/BD-R の中のビューアーソフト (DRviewer.exe)を選択し、ダブル クリックする。 ビューアーソフトが起動します。

4 ビューアーソフトで再生したいファイルを選択し再生する。 ビューアーソフトについては、P. 3-45「ビューアーソフト」を参照してください。



本機で USB メモリーまたは DVD-R/BD-R にコピーしたデータや Web ブラウザーでバックアップしたデータ は、同時に保存されるビューアーソフトを使って、PC で再生できます。

■ 機能について

ビューアーソフトの主な機能は以下のとおりです。

- ●1 画面表示/多画面表示の再生
- 音声再生
- 一時停止画面の静止画保存(JPEG 形式)
- 一時停止画面の印刷
- 任意のデータ範囲のバックアップ
- ●改ざん検出



① ファイル表示 :再生ファイルの保存先、名称を表示します。

 ② ファイル選択
 : ファイル指定ダイアログ画面を表示します。再生したいファイルを選択すると、 先頭の映像が一時停止表示します。
 録画データがない日時やカメラを指定してバックアップしたファイル、異なる形式のファイルなどを選択した場合は、以下のエラーメッセージを表示します。
 指定されたファイルは再生可能なデータではありません。

③ 再生制御 状態表示 :現在の再生状態を表示します。

第3章 操作のしかた

(4) 再生制御 ボタン

: 一時停止、再生、再生×2、再生×4、再生×8、逆再生、逆再生×2、逆再生×4、 逆再生×8 などの再生操作をします。



- (A) 早戻し再生を行います。
- 押すごとに逆再生速度が 2 倍(× 2)、4 倍(× 4)、8 倍(× 8)と変化します。
- (B) コマ戻し再生をします。
- (C) コマ送り再生をします。
- (D) 早送り再生をします。
 押すごとに再生速度が2倍(×2)、4倍(×4)、8倍(×8)と変化します。
- (E) 逆再生します。
- (F) 再生を一時停止します。
- (G)再生します。
- (5) カメラ番号 :再生中のカメラ番号を表示します。
- ⑥ 再生日時 :再生中の日時を表示します。
- ⑦ 再生スライダーバー :スライダーバーで指定した位置の再生映像を一時停止表示します。左端が最古位置、右端が最新位置で、最古日時と最新日時を表示します。 スライダーバーをドラッグすると、ドラッグした位置の日時情報が表示されます。
- ⑧ 画面切換
 :1 画面表示、多画面表示を切り換えます。
 メ モ カメラ10~16、4分割D、9分割B、および16分割ボタンは、9局用では表示 されません。
- ⑨ 音声切換
 : 音声出力するチャンネルを切り換えます。 再生中だけ出力され、再生速度を変更したときや逆再生中は出力されません。
 メ モ 音声が録音されていないチャンネルはグレー表示になり、選択できません。
- ① 音量
 : 音声出力する音量をスライダーバーで調整します。右端が最大音量になります。
 スピーカーボタン

 を押すごとに消音中
 、出力中
 が切り換わります。

メ モ 最大音量は PC の設定音量になります。

① デインターレーシング:あり/なしを設定します。解像度が D1 (704 × 480)で録画されたデータを再生すると、動きのある映像に"くし状"のノイズ(インターレースノイズ)が発生する場合があります。「あり」にするとデインターレーシング機能を使用し、このノイズを除去します。

 メ モ
 TOA 製プログレッシブカメラは、インターレースノイズが発生しないため、デインターレーシング機能を使用する必要はありません。

- (2) バックアップ
 : 任意のデータ範囲をバックアップできます。保存したファイルはビューアーソフトで再生できます。バックアップのしかたは、P. 3-47「バックアップのしかた」を参照してください。
- ⑦ フルスクリーン
 :表示している映像を全画面で表示します。PCのESCキーを押す、または、マウスで画面をクリックすると全画面表示を解除します。全画面表示中は、ほかの操作を受け付けません。

3-46 取扱説明書

- (4) 静止画保存 : 再生一時停止中の1画面、多画面映像をJPEG形式で保存します。静止画保存 のしかたは、P. 3-49「静止画の保存のしかた」を参照してください。
- (5) 印刷
 : 再生一時停止中の1 画面、多画面映像を印刷します。印刷される内容は、表示 画面映像(カメラ番号含む)、再生日時、DVR 名、カメラ名です。

🔳 バックアップのしかた

- 7 再生を行い、バックアップを開始する日時で一時停止する。
- 2 開始日時ボタン ⇒ をクリックする。 一時停止中の再生日時が開始日時に設定されます。
- 3 再生を行い、バックアップを終了する日時で一時停止する。
- 4 終了日時ボタン ⇒ をクリックする。 一時停止中の再生日時が終了日時に設定されます。
- 5 映像を設定する。

「カメラ 1」~「カメラ 16」と「全て」からカメラを選択します。(9 局用は「カメラ 1」~「カメラ 9」、 「全て」から選択できます。)

6 音声を設定する。

なし:音声データをバックアップしません。 あり:すべての音声チャンネルの音声データをバックアップします。

7 バックアップボタン 🔐 をクリックする。

ファイル保存画面を表示します。

ご注意開始日時と終了日時を逆に入力している場合は、バックアップボタン はグレーになり操作できません。正しく設定してください。

8 ファイル保存画面で保存先フォルダーとファイル名を設定し「保存」をクリックする。

バックアップ中は進捗バーを表示します。

バックアップ中は、ほかの操作を受け付けません。キャンセルボタンをクリックすると、バックアップ を終了することができます。



バックアップが完了すると、以下のメッセージを表示します。

バックアップを完了しました。

第3章 操作のしかた

メモ

- ファイル名は、任意に変更できます。
- ファイル保存画面で最初に表示されるファイル名には、日時、映像および音声情報が含まれています。

ファイル名

- (例) 20120720120000 _20120720131530_1_on.264 (1) (2) (3) (4)
- (1) バックアップデータ開始日時(西暦年月日時分秒)を表します。 例は、2012 年 07 月 20 日 12 時 00 分 00 秒を表します。
- (2) バックアップデータ終了日時(西暦年月日時分秒)を表します。 例は、2012 年 07 月 20 日 13 時 15 分 30 秒を表します。
- (3)映像情報を表します。「00」の場合はすべて、それ以外は選択されたカメラ番号
 (1~16)。例は、カメラ1を表します。
- (4) 音声情報を表します。「on」の場合は音声あり、「off」の場合は音声なしです。 例は、音声ありを表します。

エラーメッセージについて

保存先の空き容量が不足している可能性があります。バックアップを実行しますか?

バックアップ開始時に保存先の容量とバックアップするデータの容量を確認し、バックアップするデータ 容量が大きい場合に表示されます。バックアップの開始位置、終了位置の日時やバックアップするカメラ を再設定する、または別の保存先に変更するなどしてください。 また、メッセージが表示されてもバックアップを実行することはできます。

ファイルの保存に失敗しました。

- バックアップするデータの読み込みまたは保存に失敗した場合に表示されます。
- PCのアクセス制限で書き込みが禁止されているフォルダーを保存先に指定し、保存に失敗した場合に 表示されます。書き込み可能なフォルダーを選択する、または新規フォルダーを作成して、作成したフォ ルダーを選択してください。
- ●保存先の容量いっぱいに書き込まれて、バックアップが途中で終了した場合に表示されます。このとき 途中までバックアップしたデータは再生できます。
- FAT32 でフォーマットされた USB メモリーなどにバックアップを行い、データファイルサイズが 4 GB を超えてバックアップが終了した場合に表示されます。このとき、途中までバックアップしたデータは 再生できます。
- フォルダー構成とファイル名



- ビューアーソフト :バックアップ時にダウンロードされる専用のビューアーソフトです。 データファイル :バックアップした映像データと音声データを1つのファイルとして保存します。 拡張子は ".264"です。
- 3-48 取扱説明書

■ 静止画の保存のしかた

1 再生を行い、静止画保存したい映像で一時停止する。

- 2 静止画保存ボタン <a>[i] をクリックする。
静止画保存画面が表示されます。
- **3** 静止画保存画面で保存先フォルダーとファイル名を設定し「保存」をクリックする。 ^{静止画を保存します。}

メモ

- 保存内容は画像のみです。
- ファイル名は、任意に変更できます。
- 静止画保存画面で最初に表示されるファイル名には、日時、DVR 名、画面情報が含まれています。
 - (例) <u>12 08 25 12 00 05 _1_CAM01_DVR.jpg</u> ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨
 - ① 年(2000 ~ 2099:下 2 桁)を表します。例は、2012 年を表します。
 - ②月(01~12)を表します。例は、8月を表します
 - ③ 日(01~31)を表します。例は、25日を表します。
 - ④ 時(00~23)を表します。例は、12時を表します。
 - ⑤分(00~59)を表します。例は、00分を表します。
 - ⑥ 秒(00~59)を表します。例は、5秒を表します。
 - (7) 画像の識別番号を表します。
 - ⑧保存した画面の種類を表します。
 1画面の場合 :CAM**(**は、カメラ番号1~16)
 4分割の場合 :4*(*は、分割名A、B、C、D)
 9分割の場合 :9*(*は、分割名A、B)
 16分割の場合 :16
 - ⑨ DVR 名を表します。

● エラーメッセージについて

ファイルの保存に失敗しました。

● データの保存に失敗した場合などに表示されます。

 PCのアクセス制限で書き込みが禁止されているフォルダーを保存先に指定し、保存に失敗した場合に 表示されます。書き込み可能なフォルダーを選択する、または新規フォルダーを作成して、作成したフォ ルダーを選択してください。

■ 改ざんチェックをする

ビューアーソフトには改ざんチェック機能があり、再生中は自動的に改ざんチェックを行います。改ざんが あると以下の警告メッセージを表示し、再生を停止します。

データが改ざんされている可能性があります。再生を中止します。

セキュリティ

本機の操作や設定にレベルごとのセキュリティ設定を行うことができます。 セキュリティの方法は、以下の3種類があります。

- 1. 本機の操作キーに対するセキュリティ
- 2. 外部アクセスに対するセキュリティ
- 3. Web ブラウザーアクセスに対するセキュリティ

上記のセキュリティ設定を組み合わせて使用すると、より高いセキュリティ設定ができます。

■ 本機の操作キーに対するセキュリティ

6桁のパスワードとUSBキーにより、操作レベル1、2、3およびフルロックの4段階に設定できます。 各操作レベルごとの操作可/不可は、以下の表を参考に設定してください。(P.4-32「セキュリティ設定」)

操作レベル	高			—— 低
操作項目	操作レベル 1	操作レベル2	操作レベル3	フルロック
メニュー設定	0	×	×	×
サブメニュー設定	0	0	0	×
画像コピー画面	0	×	×	×
緊急録画	0	0	△ *	×
配置設定	0	0	×	×
トリプレックス設定	0	0	×	×
再生/検索画面	0	0	×	×
ライブモード操作	0	0	0	×
アラーム解除	0	0	×	×
ブザー停止	0	0	0	0

○:操作可

操作レベル 1	すべての操作にアクセスできます。 いずれの操作レベルにあっても、操作レベル1のパスワードを入力することで、操作レベル1に ログインができます。
操作レベル 2	ライブモードや再生モードの操作とサブメニューの設定変更ができ、メインメニューの設定変更や コピー設定操作はできません。操作レベル2のパスワードを入力することで、操作レベル2にログ インができます。
操作レベル3	ライブモードの操作とサブメニューの設定変更ができます。緊急録画キーは、別途設定すると使用 できます。*操作レベル3のパスワードを入力することで、操作レベル3にログインができます。
フルロック	ブザー停止操作以外のすべての操作ができません。操作レベル3が有効な場合(パスワード3が設定 されている)、ログアウト時間が経過または操作レベル3をログアウトするとフルロックになります。

ログアウト時間	1 分/5 分/10 分/30 分/60 分/無効から選択できます。 設定した時間だけ無操作状態が続くと、設定されている最も操作レベルの低い状態にログアウト します。 (例)操作レベル1、2 が有効な場合(パスワード1、2 が設定されている)、ログアウト後の状態は 操作レベル3 になります。
緊急録画 操作レベル 3	有効にすると、操作レベル3で緊急録画キーを使用することができます。 無効にすると、操作レベル3では緊急録画キーを使用できません。 この設定にかかわらず、操作レベル1および2では緊急録画キーは使用でき、フルロックでは使用 できません。

※工場出荷時の設定は、すべて「無効」です。

*操作レベル3での緊急録画キーの操作可/不可は"緊急録画操作レベル3"の設定で変更できます。

3-50 取扱説明書

X:操作不可

● パスワードと操作レベルについて

パスワードを設定していない場合は、操作レベル1になります。パスワードを設定している場合は、以下の 表を参照してください。パスワードの設定は、P. 4-32「セキュリティ設定」を参照してください。

					- κ ³
パターン	設定した パスワード	操作レベル 1	操作レベル 2	操作レベル3	フルロック
1	パスワード 1	0	\bigtriangleup]	
2	パスワード2	0		\bigtriangleup]
3	パスワード3	0	<u>ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ</u>		\bigtriangleup
4	パスワード1、2	0	0	\bigtriangleup]
5	パスワード2、3	0	•	0	\bigtriangleup
6	パスワード1、3	0	0	<u>ـــــ</u>	\bigtriangleup
7	パスワード1、2、3	0	0	0	\bigtriangleup

△: ログアウトしたときの操作レベルになります。

←:パスワードが設定されていないため、1つ上の操作レベルになります。

ログインしたい操作レベルに応じたパスワードを入力してください。 ログアウトすると、 の操作レベルになります。

● パターン1

● パターン5



■ USB キーによるセキュリティ設定

USBメモリーをUSBキーとして本機に登録することで操作制限をかけることができます。登録したUSBキー をキーロック端子に抜き差しすると、セキュリティ設定を有効/無効にすることができます。(P. 4-32「セキュ リティ設定」)

● USB キーの操作レベルについて

USB キーレベルの設定による操作レベル間のログイン/ログアウト動作は、以下のとおりです。 USB キーを差し込むと の操作レベルにログインします。USB キーを抜くと の操作レベルにログ アウトします。USB キーレベルの設定方法は、P. 4-32「セキュリティ設定」を参照してください。

[USB キーレベル:操作レベル1の場合]



[USB キーレベル:操作レベル3の場合]



[USB キーレベル	1	操作レベル	2	の場合]
------------	---	-------	---	------



[USB キーレベル:無効]

USB キーによるキーロックを行いません。 常に操作レベル1になります。

- USB キーの登録と USB キーレベルの設定のしかた
 - **1** USBメモリーを「キーロック」端子に差し込む。
 - 2 メニューキーを2秒以上押す。 メインメニュー画面が表示されます。
 - 3 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「機器メンテナンス」に移動し、メニューキーを押す。 機器メンテナンス画面が表示されます。
 - **4** ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「USB キー登録」に移動し、メニューキーを押す。 実行の確認メッセージが表示されます。
 - 5 <

 、

 トーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。

 実行中のメッセージが表示されます。

 完了したら「終了しました」とメッセージが表示されます。
 - **6**「OK」でメニューキーを押す。 USB キーが登録されました。
 - ▲ キーを押してメインメニュー画面に戻る。
 - 8 ▲、▲ キーでカーソルを「システム設定」に移動し、メニューキーを押す。 システム設定画面が表示されます。
- 3-52 取扱説明書

- 9 ▲、▲ キーでカーソルを「セキュリティ設定」に移動し、メニューキーを押す。 セキュリティ設定画面が表示されます。
- 10 🗈 、 🖬 キーでカーソルを「USB キーレベル」に移動し、(+)、(-)キーでレベルを選 択する。

「レベル1」、「レベル2」、「レベル3」、「無効」から選択します。(P.4-32「セキュリティ設定」)

- **11 (1)** キーを押す。 保存の確認メッセージが表示されます。
- 12 <

 12
 ISB キーレベルが登録されました。
- **13** USBメモリーを「キーロック」端子から抜く。 USB キーレベルで設定した操作レベルからログアウトします。

メモ

- USB キーは、複数登録することができます。
- USB メモリーは、マスストレージクラス(Windows XP / Vista / 7で「USB 大容量記憶装置デバイス」と 認識されるもの)が使用できます。
- FAT16 / FAT32 でフォーマットされた USB1.1 / USB2.0 の USB メモリーに対応しています。

ご注意

- ネットワーク経由で USB キーの登録や解除はできません。
- USB キーの登録中に USB メモリーを抜くと、USB メモリーを認識できなくなることがあります。
- USB キーの登録を解除する
- ┦ メニューキーを2秒以上押す。

メインメニュー画面が表示されます。

- 2
 ▲ 、
 本 キーでカーソルを「機器メンテナンス」に移動し、メニューキーを押す。
 機器メンテナンス画面が表示されます。
- 3 ▲ 、 ▲ キーでカーソルを「USB キーデータ削除」に移動し、メニューキーを押す。 実行の確認メッセージが表示されます。
- 4 ▲ 、 ト キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。 実行中のメッセージが表示されます。 完了したら「終了しました」とメッセージが表示されます。
- 5 「OK」でメニューキーを押す。 USB キーの登録が解除され、セキュリティ設定の「USB キーレベル」が無効になります。
- メ モ USB キーの登録解除時は、USB キーをキーロック端子に差し込む必要はありません。
 ご注意 USB キーを複数登録していると、すべての USB キーの登録が解除されます。

■ ログインとログアウト

パスワードによるログインは、メニューキーを2秒以上押します。 操作レベルにより、表示画面と操作手順が異なります。

● パスワードの入力操作

パスワード入力画面(画面 A)でのパスワード入力操作は、以下のとおりです。

- 1 🔳 キーでカーソルを「------(パスワード)」に移動する。
- 2 カメラ選択キー1~9を使用して6桁のパスワードを入力する。 パスワードを入力すると、"*"で表示されます。

3 メニューキーを押す。

パスワードが正しい場合はログインします。パスワードが間違っている場合は、画面右上に「パスワードが間違っています。」のメッセージが表示されます。

● USB キーの設定が無効のとき

[操作レベルがフルロックの場合]

1 メニューキーを2秒以上押す。

パスワード入力画面(画面 A)が表示されます。

2 ■、 ト キーでカーソルを移動して「------(パ スワード)」を選択してパスワードを入力し、メ ニューキーを押す、または、「クリア」、「キャンセル」 を選択し、メニューキーを押す。

- パスワード :入力したパスワードの操作レベルにログ インします。
- クリア :入力したパスワードをクリアします。
- キャンセル :操作レベルはそのままでライブモードに なります。

画面A

[操作レベル2、3の場合]

- メニューキーを2秒以上押す。
 ログイン、ログアウト選択画面(画面 B)が表示されます。
 、 ト キーでカーソルを移動して「ログアウト」、「ログイン」、「キャンセル」から選択し、メニューキーを押す。
 ログアウト:ログアウトしてライブモードに戻ります。
 ログイン:パスワード入力画面(画面 A)が表示され
 - ます。(手順3へ) キャンセル :操作レベルはそのままでライブモードに なります。

画面 B	
	ログアウト ログイン キャンセル

- 3 ■、▶ キーでカーソルを移動して「------(パスワード)」を選択してパスワードを入力し、 メニューキーを押す、または、「クリア」、「キャンセル」を選択し、メニューキーを押す。
 - パスワード :入力したパスワードの操作レベルにログインします。
 クリア :入力したパスワードをクリアします。
 キャンセル :操作レベルはそのままでライブモードになります。

[操作レベル1の場合]

- メニューキーを2秒以上押す。
 メニュー設定、ログアウト選択画面(画面C)が表示されます。
 2
 、 ト キーでカーソルを移動して「ログアウト」、「メニュー設定」、「キャンセル」から選択し、メニューキーを押す。
 ログアウト : ログアウトしてライブモードに戻ります。
 - メニュー設定 :メインメニュー画面が表示されます。 キャンセル :操作レベルはそのままでライブモード になります。

ログアウト	メニュー設定	キャンセル	

● USB キーの設定が有効のとき

パスワードによるログイン、ログアウトは、「USB キーの設定が無効のとき」と同様です。ただし、パスワード入力画面でパスワードを入力してログインする場合、入力したパスワードの操作レベルで USB キーが必要となります。(P. 3-54「USB キーの設定が無効のとき」)

[USB キーが挿入されている場合]

ログインしてライブモードになります。

[USB キーが挿入されていない場合]

USB キー挿入を促す画面(画面 D)が表示されます。 「キャンセル」を選択すると、操作レベルはそのままでライ ブモードになります。 USB キーを挿入すると、ログインしてライブモードになり ます。

画面D	
	USBキーを挿入してください。 キャンセル

■ 外部アクセスに対するセキュリティ設定

リモートアクセス制限を設定すると、リモートコントローラー (C-RM1000)や RS-232C 端子からの操作に 対して制限をかけることができます。リモートアクセス制限は、本機の操作キーと同じリモートアクセスに 対するセキュリティレベルを設定することができます。

リモートアクセス制限を「する」に設定すると、本機と同じ操作レベルの制限をかけることができます。(パ スワード、USB キーが有効になります。)「しない」に設定すると制限がないため、すべての操作ができます。 (P. 4-32「セキュリティ設定」)

メモ

コンビネーションカメラの操作は、本機のキー操作に対するセキュリティの操作レベルに関係なく操作できます。

■ Web ブラウザーアクセスに対するセキュリティ設定

Web ブラウザーを使用してネットワーク経由で本機を操作する場合、ログインするためのパスワードを設定 することができます。(P. 4-26「WEB 管理者パスワード設定」)

管理者アカウントおよびユーザーアカウントでの操作制限は以下のとおりです。

	ライブ配信	再生配信	リモート コントロール	メニュー
管理者アカウント root	0	0	0	0
ユーザーアカウント user	○*	×	×	×

○:操作可 ×:操作不可

* ユーザーアカウントでは、コンビネーションカメラのマニュアル操作、ワイパー操作、プリセット移動、オート動作はできますが、プリセット記憶、カメラメニュー操作はできません。

メモ

ネットワーク経由で本機を操作する場合は、本機の操作キーに対するセキュリティの操作レベルに関係なく 操作できます。

ご注意

本機のネットワーク設定画面で、Web ブラウザーにアクセスするためのパスワードを確認され変更される可能性があります。本機の操作キーに対するセキュリティを設定してください。(P. 3-50「本機の操作キーに対するセキュリティ」)

異常時の動作

異常の発生原因と各異常時の動作は以下のとおりです。

ブザー/異常表示設定で、ブザーを「あり」にすると異常時に鳴動します。異常表示を「あり」にすると、 ライブモード、再生モードの画面に異常内容を文字表示します。(P. 4-30「ブザー/異常表示設定」) コントロール出力端子設定によって、異常時に端子から信号を出力します。(P. 4-31「コントロール出力端子

設定」)また、発生した異常内容と時刻は、異常ログに記録します。(P. 4-36「異常ログ」)

	LED	異常ログ表示	異常文字表示	ブザー鳴動
ハードディスクエラー	、	「ハードディスクエラー」	「ハードディスクエラー」	あり
BDエラー	、	「BDエラー」	「BDエラー」	あり
ビデオロス	、	「ビデオロス発生」	「ビデオロス カメラ○○」 ※ ○○はカメラ番号	あり
ファン異常	、	「ファン異常」	「ファン異常」	あり
残量警告 *	ヽ <i> </i> ディスクフル	「残量警告開始」		
ハードディスクフル *	ディスクフル	「ハードディスクフル」		

* 異常文字表示、ブザー鳴動はありません。

■ ブザーを停止する

ブザー鳴動中にアラーム解除キーを押すと、ブザーが停止します。

■ 異常文字表示

異常が発生した場合、ライブモード、再生モードの画面中央に異常内容を文字で表示します。 複数の異常が発生した場合は、最新の異常内容が表示されます。 異常発生要因が解消されると文字は消えます。また、アラーム解除キーを押しても表示されている文字を消 すことができます。まだ、対処していない異常が残っている場合は、その異常内容を表示します。

2012/ 1/ 1 (H) 0:00:00
ハードディスクエラー
Ф ≷⋽- АВ

🔳 ハードディスクエラー

ハードディスクにエラーが発生したときに機器異常 LED が点滅し、ブザーが鳴動します。 画面中央には「ハードディスクエラー」と表示されます。録画中にハードディスクエラーが発生した場合、ディ スクモードにかかわらず、別のハードディスクで録画を継続します。異常ログでハードディスクエラーの発 生日時を確認することができます。

● 再生停止の警告表示

再生中にハードディスクエラーが発生して再生が継続できない 場合、右の画面が表示されます。 停止キーを押すと、ライブモードに戻ります。

● 再起動の警告表示

接続されているすべてのハードディスク(ハードディスク増設 ユニットを含む)にエラーが発生した場合、右の画面が表示さ れます。 一過性のエラーの場合は、本機を再起動すると復旧することが

一週往のエノーの場合は、本機を再起動すると後にすることがあります。

電源キー () を2秒以上押してスタンバイ状態にしたあと、再度 電源キー () を押して再起動してください。

ハードディスクにエラーが発生しました	
電源キーで冉起動してください	

● エラー発生時のハードディスクの確認

エラー発生中のハードディスクは、機器メンテナンスのハードディスク初期化画面で確認できます。 (P. 4-40「ハードディスクの初期化」)

(例)ハードディスク2台接続されている場合

ハードディスクエラーが発生したときは「---」と表示さ れます。

ハードディス	7初期化	L	ニラー発生	E中
5 1 スラモー 実行	実行			
HDD-A		>	HDD-B	1000GB
H D D – C 0	5 0	0 G B	H D D – C 1	5 0 0 G B
H D D – C 2	5 0	0 G B	H D D – C 3	500GB
H D D – D 4	5 0	0 G B	H D D – D 5	500GB
H D D – D 6	5 0	0 G B	H D D – D 7	500GB
	5 0	0 G B		500GB
HDD-E0	5 0	0 G B	H D D – E 1	500GB
H D D – E 2	5 0	0 G B	H D D – E 3	500GB
HDD-F4	5 0	0 G B	H D D – F 5	500GB
H D D – F 6	5 0	0 G B	H D D – F 7	500GB
BD	B D			

● ハードディスクエラーが発生したら…

[本機のハードディスクエラーの場合]

本機を再起動する。

電源キー 🕛 を 2 秒以上押してスタンバイ状態にしたあと、再度電源キー 🕛 を押して再起動してください。 ご注意 再起動して復旧した場合は、録画データが一部破損することがあります。

● 再起動しても続けてエラーが発生するときは、ハードディスクを初期化する。(P. 3-7「ハードディスクを 初期化する」)

ご注意

ハードディスクを初期化すると、録画したデータは消去されます。 ハードディスクに必要なデータがある場合は、コピーしてから初期化してください。(P. 3-36「コピー」)

● 初期化してもエラーが発生するときは、ハードディスクの交換をする。
 お買い求めになった販売店へご相談ください。

[ハードディスク増設ユニットのハードディスクエラーの場合]

- 接続ケーブルが抜けたり、抜けかかっていないか確認する。
- ハードディスク増設ユニットと本機を再起動する。
 電源キー ()を2秒以上押して本機をスタンバイ状態にしたあと、ハードディスク増設ユニットを再起動します。その後、電源キー ()を押して本機を再起動してください。
 ご注意 再起動して復旧した場合は、録画データが一部破損することがあります。
- 再起動しても続けてエラーが発生するときは、ハードディスクを初期化する。(P. 3-7「ハードディスクを 初期化する」)

ご注意

ハードディスクを初期化すると、録画したデータは消去されます。 ハードディスクに必要なデータがある場合は、コピーしたあとに初期化してください。(P. 3-36「コピー」)

● 初期化してもエラーが発生するときは、ハードディスクの交換をする。
 お買い求めになった販売店へご相談ください。

BD エラー

BD ドライブにエラーが発生したときに機器異常 LED が点滅し、ブザーが鳴動します。 画面中央には「BD エラー」と表示されます。エラー発生中は、機器メンテナンスのハードディスク初期化画 面の BD 表示は、「---」と表示されます。(P. 4-40「ハードディスクの初期化」) 異常ログで BD エラーの発生日時を確認することができます。

● BD エラーが発生したら…

- 本機を再起動する。
 電源キー () を 2 秒以上押してスタンバイ状態にしたあと、再度電源キー () を押して再起動してください。
- 再起動しても続けてエラーが発生するときは、BD ドライブの 交換をする。 お買い求めになった販売店へご相談ください。

ハードディスク	初期化		
ディスクモード 実行	長時間 実行		
H D D – A	1000GB	H D D – B	1000GB
HDD-CO	500GB	H D D – C 1	500GB
HDD-C2	500GB	HDD-C3	500GB
H D D – D 4	500GB	H D D – D 5	500GB
H D D – D 6	500GB	H D D – D 7	500GB
	500GB		500GB
HDD-E0	500GB	H D D – E 1	500GB
H D D – E 2	500GB	H D D – E 3	500GB
H D D – F 4	500GB	H D D – F 5	500GB
H D D – F 6	500GB	H D D – F 7	500GB
B D		エラ-	-発生中

第3章 操作のしかた

■ ビデオロス

カメラからの映像が途切れた場合に、ビデオロスが発生します。 機器異常 LED が点滅し、ブザーが鳴動します。画面中央には「ビデオロス カメラ〇〇(〇〇はカメラ番号)」 と表示されます。 異常ログでビデオロスの発生日時、カメラ入力番号を確認することができます。

ご注意

緊急録画、自動録画(ノーマル録画、アラームイベント録画)の録画レートを「一(録画しない)」に設定した カメラは、ビデオロスが発生しません。また、本機を起動するときにカメラが接続されていない場合は、ビ デオロスは発生しません。

● ビデオロスが発生したら…

● カメラの映像を復旧させる。

映像入力端子の接続ケーブルが断線していないか、カメラの電源が切れていないか確認してください。 映像が復旧すると、ビデオロスは解消します。

● 本機を再起動する。

電源キー 🛈 を 2 秒以上押してスタンバイ状態にしたあと、再度電源キー 🛈 を押して再起動してください。 再起動すると、ビデオロスは解消します。

● 録画設定を変更する。

ビデオロスしているカメラの録画レートを「-(録画しない)」に設定すると、ビデオロスは解消します。 緊急録画と自動録画の録画レートを「-(録画しない)」に設定してください。(P. 4-10「録画設定(緊急録 画)」、P. 4-15「録画間隔設定」)

アラーム解除キーを長押しする。
 アラーム解除キーを長押しすると、ビデオロスは解消します。

■ ファン異常

ファンが故障したとき、ファン異常が発生して機器異常 LED が点滅し、ブザーが鳴動します。 画面中央に「ファン異常」の文字を表示し、画面右下に「*」マークを表示します。 異常ログでファン異常の発生日時を確認することができます。

ご注意

- 画面右下の「*」マークは、ファンの異常が解消するまで表示されます。
- ハードディスク増設ユニットのファン異常は、デジタルレコー ダーでは表示できません。ハードディスク増設ユニット前面 のファン異常 LED を確認してください。



● ファン異常が発生したら…

ファン異常が発生したら電源を切ってください。ファンが動作していないと、内部の温度が上昇して故障の 原因となりますので、速やかに電源キー 🕁 を2秒以上押してスタンバイ状態にしたあと、後面の主電源ス イッチを「切」にしてください。

- 異物等で動作していないときは、電源を切ってから異物を取り除く。
- ファンの故障で動作していないときは、ファンの交換をする。
 お買い求めになった販売店へご相談ください。

■ ハードディスクフル

上書設定が「禁止」のときにハードディスクの残量時間が残量警告時間を下回ると、残量警告を開始します。 また、残量時間がなくなるとハードディスクフルが発生し、録画を停止します。異常ログで残量警告開始と ハードディスクフルの発生日時を確認することができます。

● ハードディスクフルが発生したら…

- 上書設定を「許可」にする。
 上書許可にするとハードディスクフルは解消します。
 もう一度上書禁止にするには、上書設定を「禁止」にしてください。(P. 4-7「録画設定」)
- ハードディスクを初期化する。(P. 4-40「ハードディスクの初期化」)

ハードディスクを初期化すると、ハードディスクフルは解消します。

ご注意

ハードディスクを初期化すると、録画した映像と音声は消去されます。 必要なデータがある場合は、コピーしたあとに初期化してください。(P. 3-36「コピー」)



● モニター表示

停電復旧後は、システムチェックを行います。画面表示設定のモニター1起動時画面とモニター2起動時画 面の設定に従い、ライブモードの画面を表示します。(P. 4-21「画面表示設定」)

●録 画

[ノーマル録画中に停電が発生すると] 停電復旧後、スケジュールに従いノーマル録画を再開します。

[アラームイベント録画中に停電が発生すると] 停電時にアラームイベント録画はリセットされます。

[緊急録画中に停電が発生すると]

停電時に緊急録画はリセットされます。

第4章

設定のしかた

メインメニュー



■メインメニュー設定項目一覧表



次の頁





■ サブメニュー設定項目一覧表



/ メインメニューの設定

ライブモードからメインメニュー画面を表示して、各設定を行います。

録画設定 ······P. 4-7 画面表示設定 ·····P. 4-21 ネットワーク設定 ·····P. 4-25 メール設定 ·····P. 4-27 システム設定 ·····P. 4-29 ログ表示/出力 ····P. 4-34 時刻設定 ·····P. 4-38 機器メンテナンス ····P. 4-39

ンメニュー 登定 した トワーク設定 テム設定 テム設定 表示/出力 換定 メンテナンス
--

■ 基本の操作

1 メニューキーを2秒以上押す。

メインメニュー画面が表示されます。

ご注意

- 再生中の場合は、ライブモードに戻ってからメインメニュー画面を表示します。
- ズームモードやズーム中(ズームキー点灯中)、コピー中、またはモニター2を選択しているとき(モニターキー点灯中)は、メインメニュー画面が表示されません。
- 2 🛋 、 💌 キーでカーソルを設定したい項目に移動し、メニューキーを押す。

選択した項目の画面が表示されます。 下の階層を選択するには、手順2の操作を繰り返します。

3 設定値の選択や変更をする。

▲、▲、▲、▲、▲・でカーソルを設定値に移動し、(+)、(-)キーで設定値を変更します。
 ほかの項目に移動するとき⇒手順4へ
 前の項目に移動するとき⇒手順5へ

4 カーソルを設定したい項目に移動し、メニューキーを押す。

設定値を変更した場合 :設定保存の確認メッセージが表示されます。(次ページ参照) 設定値を変更していない場合:次の画面に遷移します。

5 5 ● キーでカーソルを画面の左端の選択位置に移動し、

設定値を変更した場合 : 設定保存の確認メッセージが表示されます。(次ページ参照) 設定値を変更していない場合:前の画面に遷移します。また、メインメニュー画面を表示しているとき は、メニュー画面を終了してライブモードに戻ります。

^{取扱説明書} 4-5

第4章 設定のしかた

● 設定を保存するとき

画面内で設定の変更があった場合は、画面遷移時に画面右上にメッセージが表示されます。
 ■、 ▶ キーでカーソルを移動し、メニューキーを押します。

はい :設定を保存して前の画面または次の画面に遷移します。 いいえ :設定を破棄して前の画面または次の画面に遷移します。 キャンセル:画面遷移せず、元のカーソル位置に戻ります。

保存しますか? はい いいえ キャンセル

「はい」を選択した場合、保存中のメッセージが表示され、保存が終わると画面が遷移します。

保存しています。電源を切らないでください

ご注意保存中のメッセージが出ているときは、電源を切らないでください。

● 実行操作するとき

設定項目が「実行」となっている項目を選択し、メニューキーを押すと、画面右上にメッセージが表示され ます。

■、▶ キーでカーソルを移動し、メニューキーを押します。

はいこ実行します。

キャンセル:実行せず、元のカーソル位置に戻ります。

実行しますか? はい キャンセル

「はい」を選択した場合、実行中のメッセージが表示されます。

実行しています。電源を切らないでください

終了するとメッセージが表示されます。メニューキーを押すと元のカーソル位置に戻ります。

終了しました ОК

録画設定

録画モードには緊急録画、自動録画(ノーマル録画、アラームイ ベント録画)、プリ録画があります。各録画モードでは、カメラ ごとに録画レート、画質を設定することができます。(P.3-20「録 画」)

解像度設定 緊急録画設定 自動録画設定			
プリ録画設定 上書	許可		

項目	選択	説明
解像度設定		設定については、P. 4-7「解像度設定」を参照してください。
緊急録画設定		設定については、P. 4-9「緊急録画設定」を参照してください。
自動録画設定		設定については、P. 4-12「自動録画設定」を参照してください。
プリ録画設定		設定については、P. 4-20「プリ録画設定」を参照してください。
上書	禁止 / 許可	ハードディスクへの録画の上書きの禁止、許可を選択します。
		禁止:録画できるハードディスクがいっぱいになると、録画を停止します。 録画できる時間が残量警告時間を下回ると、ディスクフル LED が点 滅します。(P. 4-29「システム設定」) 再び録画を開始するときは、ハードディスクを初期化する、または 上書設定を「許可」にします。(P. 3-61「ハードディスクフル」)
		許可:録画できるハードディスクがいっぱいになると、録画日時の古い映 像を自動的に消去し、新しい映像を上書きします。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

■解像度設定

「録画設定」→「解像度設定」

ハードディスクに録画する画像の解像度を選択し設定します。 解像度は、すべての録画モードで共通です。

解像度設定	
m カカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカカ	$ \begin{array}{c} D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 2 \ 4 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 2 \ 4 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 2 \ 4 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 2 \ 4 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 2 \ 4 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 2 \ 4 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ H D 1 & (7 \ 0 \ 4 \times 4 \ 8 \ 0) \\ \end{array}$
カメラ14 カメラ15	HD1 (704×480) HD1 (704×480)
カメフ16	HD1 (704X480)

山頂目 選択 説明 説明	
解像度 D1 (704×480) ハードディスクに録画する画像の解像度を選択します。 HD1 (704×240) D1 : フレーム録画を行います。フィールド録画に比べ垂直解像度が高いより鮮明な画像の録画ができます。 CIF (352×240) TOA 製プログレッシブカメラと組み合わせて使用します。* HD1 : フィールド録画を行います。 CIF : フィールド録画を行います。	ため、

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

^{*} インターレース方式のカメラと組み合わせて使用した場合、録画したデータを再生すると、動きのある映像に"くし" 状のノイズ (インターレースノイズ) が発生する場合があります。その場合は、デインターレーシング機能を使用する ことでインターレースノイズは出なくなりますが、解像度は低下します。(P. 3-16「動きのある映像のノイズを除く (デインターレーシング)」)

第4章 設定のしかた

選択する解像度によって設定動作に違いがあります。

● D1 (704 × 480)、HD1 (704 × 240)の場合

カメラごとに解像度を設定できます。

● CIF (352 × 240)の場合

あるカメラの解像度を設定すると、連動するカメラの解像度も変更されます。 連動するカメラの組み合わせは以下のとおりです。

	互いに連動するカメラ							
奇数カメラ	カメラ1	カメラ 3	カメラ 5	カメラ 7	カメラ 9	カメラ 11	カメラ 13	カメラ 15
偶数カメラ	カメラ 2	カメラ 4	カメラ 6	カメラ 8	カメラ 10	カメラ 12	カメラ 14	カメラ 16

【例】カメラ3をCIF(352×240)に設定するとき

カメラ3でCIF(352×240)を選択します。

カメラ3と連動してカメラ4の解像度が CIF (352×240)になります。



ご注意

- カメラ4の解像度をCIF(352×240)に設定すると、カメラ4に連動してカメラ3の解像度もCIF(352×240)になります。
- 解像度を CIF (352 × 240)に変更し保存すると、連動する偶数カメラの緊急録画と自動録画の録画レート、 および画質は奇数カメラの設定と同じになります。

解像度を変更した場合は、緊急録画設定、自動録画設定、プリ録画設定のいずれかの総録画レートが最高録 画レートを超えると、警告メッセージを表示します。

> 最高録画レートを超える録画設定があります。 保存すると対象の録画設定は初期化されます。 保存しますか? はい いいえ キャンセル

いいえ :設定を破棄して、前の画面に遷移します。

キャンセル :画面遷移せず、元のカーソル位置に戻ります。

メモ

- 録画レートが「―(録画しない)」の場合は、初期化しません。
- 初期化したあとの録画レートは以下のとおりです。解像度によって異なります。

[緊急録画設定、自動録画設定の場合]

D1 (704×480) : 2 ips

- HD1 (704 \times 240) : 4 ips
- CIF (352×240) : 8 ips

[プリ録画設定の場合]

最高録画レートを超えない 4 ips 以下の最大の録画レートに初期化されます。

4-8 取扱説明書
■ 緊急録画設定

「録画設定」→「緊急録画設定」

緊急録画は、自動録画よりも優先した録画モードです。 不審者が侵入した場合などの録画やスケジュール外での録画時 に使用します。(P. 3-22「緊急録画」)

緊急録画設定		
録画設定 緊急録画入力モード 音声 ポスト時間	▶ エッジ ▶ 60秒	

項目	選択	説明
録画設定		設定については、P. 4-10「録画設定 (緊急録画)」を参照してください。
緊急録画 入力モード	レベル / <u>エッジ</u>	 「緊急録画入力端子に信号が入ったとき」 レベル:録画を開始し、入力が解除されてから設定したポスト時間が経過したあとに終了します。 エッジ:設定したポスト時間録画し、ポスト時間が経過したあと終了します。 「緊急録画キーを押したとき」* レベル:手動で停止するまで緊急録画を継続します。 エッジ:設定したポスト時間録画し、ポスト時間が経過したあと終了します。 ※ レベルまたはエッジに設定したときの録画動作は、P.3-27「エッジ/レベル設定時の録画動作について」を参照してください。
音声		設定については、P. 4-11「音声設定(緊急録画)」を参照してください。
ポスト時間	0 ~ <u>60</u> ~ 999 秒 / 無制限	 緊急録画を終了するまでの時間を設定します。 0~999秒:設定されたポスト時間の録画をします。 (緊急録画入力モードがエッジの場合は1秒以上、レベルの場合は0秒以上に設定できます。) 無制限 :手動で停止するまで、緊急録画を継続します。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

* リモートコントローラー(C-RM1000)の緊急録画キーを押したときの録画は、本機の緊急録画キーを押したとき と同じ動作をします。

● 録画設定(緊急録画)

「録画設定」→「緊急録画設定」→「録画設定」

カメラごとに緊急録画時の録画設定(録画レート、画質)ができ ます。画面下に総録画レートと見積録画時間が表示されます。

解像度係数

総録画レートを算出するための係数です。解像度によって係 数が決まります。 録画レートが「--(録画しない)」のときは、解像度係数は「--」

を表示します。

解像度	解像度係数
D1 (704 × 480)	× 4
HD1 (704 $ imes$ 240)	Х2
$CIF(352 \times 240)$	×1*

* 偶数カメラの場合は「連動」と表示されます。 9 局用のカメラ9は「×2」と表示されます。

総録画レート

各カメラごとの録画レートに解像度係数を掛けた合計を表示します。

見積録画時間

ハードディスクに録画できる時間を計算して表示します。

録画する映像によって変動することがあります。時間は参考値であり、保証するものではありません。

緊急録画を行うカメラを増やした場合、プリ録画設定の総録画レートが最高録画レートを超えることがあり ます。最高録画レートを超えると、警告メッセージを表示します。

> プリ録画設定が最高録画レートを超えました。 保存するとプリ録画レートは変更されます。 保存しますか? はい いいえ キャンセル

はい : 最高録画レートを超えない 4 ips 以下の最大の録画レートに初期化されます。

いいえ : 設定を破棄して、前の画面に遷移します。

キャンセル : 画面遷移せず、元のカーソル位置に戻ります。

ご注意

ディスクモードが「長時間モード」の場合は、総録画レートは 240 ips 以下に設定してください。ディスクモー ドが「ミラーモード」の場合は、総録画レートは 120 ips 以下に設定してください。最高録画レートを超える と警告メッセージが表示され設定できません。

メモ

設定する録画レートは、端数を切り上げて表示しています。総録画レートは、実際の録画レートに従って計 算されます。P. 3-28「録画レートについて」を参照してください。

項目	選択	説明
録画レート	30 ips / 15 ips / 8 ips / <u>4 ips</u> / 2 ips / 1 ips / 1/2 ips / 1/3 ips / 1/5 ips / 1/10 ips / - (録画しない)	録画時の録画レートを設定します。*1 *2
画質	1 2 3 4 5 (最低)	録画する画質のレベルを設定します。*1 1 が最高画質、5 が最低画質です。 録画レートが「ー (録画しない)」のときは、「-」を表示します。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

*1 各カメラごとに設定できます。ただし、解像度が CIF (352×240)の場合、偶数カメラは連動する奇数カメラの設定と 同じになり、変更できません。

*² 録画レートは、P. 3-28「録画レートについて」、P. 6-2「録画時間表」を参照してください。

4-10 ^{取扱説明書}

録画設定			
	解像度係数	録画レート	画質
カメラ1	x 4	8 i p s	1 (最高)
カメラ 2	x 2	2 i p s	2
カメラ 3	x 1	15 ips	3
カメラ 4	連動	15 ips	3
カメラ 5	x 2	1 i p s	5 (最低)
カメラ 6	-	-	-
カメラ7	-	-	-
カメラ 8	-	-	-
カメラ 9	-	-	-
カメラ10	-	-	-
カメラ11	-	-	-
カメラ12	-	-	-
カメラ13	-	-	-
カメラ14	-	-	-
カメラ15	-	-	-
カメラ16	-	-	-
	総録画レート		65.6250 i p s
	見積録画時間	5	67日 8時間

● 音声設定(緊急録画)

「録画設定」→「緊急録画設定」→「音声」 緊急録画時の音声をチャンネルごとに録音することができま

す。

音声設定			
	録音		
C H 1	する		
CH 2	しない		
СНЗ	しない		
C H 4	しない		

項目	選択	説明
録音	する / <u>しない</u>	する :緊急録画時に音声を録音します。
		しない:緊急録画時に音声を録音しません。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。



「録画設定」→「自動録画設定」

自動録画は、スケジュール設定に従って録画します。 そのため自動録画をする場合は、スケジュール設定やグループ 設定を行ってください。(P. 3-23「自動録画(アラームイベント 録画、ノーマル録画)」)

自動録画設定			
スケジュール グループA設定	•		
クループB設定 グループC設定 グループD設定			
グループE設定 グループF設定			
特定日設定 モーション設定 音声			
	ŗ		

各曜日や特定日ごとにスケジュールに従い、録画することができます。 以下は設定例と設定項目の説明です。

【スケジュール例】

月	火	水	木	金	土	日	特定日(最大 60 日)
グルーフ	[°] A(平日昼	$8:00 \sim 20:0$	00)		グループC	グループD	グループE
グルーフ	°B(平日夜	20:00~翌	日 8:00)		(1日)	(1日)	(1日)

曜日	開始時刻~終了時刻	運用グループ	曜日	開始時刻~終了時刻	運用グループ
毎日	8:00 ~ 20:00	グループA	日	00:00 ~ 00:00	グループ D
毎日	20:00 ~ 翌日 8:00	グループ B	特定日	00:00 ~ 00:00	グループE
±	$00:00 \sim 00:00$	グループC			

(2) グループ設定 : 録画動作に関する設定をグループ A~F までグループごとに行います。

グループ設定項目	設定内容				
録画間隔設定	ノーマル録画	ノーマル録画時の録画レートを設定します。			
(P. 4-15「録画間隔設定」)	アラームイベント録画	アラーム	イベント録画時の録画レートを設定します。		
	イベントカメラ以外	アラーム	Aイベント録画時のアラームイベントが起きていない		
		カメフク)録画レートを設定します。		
録画画質/イベント設定	ノーマル録画画質		ノーマル録画時の画質をカメラごとに設定します。		
(P. 4-16「録画画質/イベ ント設定」)	アラームイベント録画	画質	アラームイベント録画時の画質をカメラごとに設定 します。		
	アラームイベント録画・	イベント	アラーム入力、モーション検出があったときに録画 するカメラをカメラごとに設定できます。		
アラームイベント録画モード	複数のアラームイベントが発生したときの録画動作を設定します。(P. 4-14「グルー プ A~F 設定」)				
アラーム入力モード	アラーム入力信号による録画動作を設定します。(P. 4-14「グループ A~F 設定」)				
アラームポスト時間	アラーム入力からアラ- プ A~F 設定」)	-ム録画を	E終了するまでの時間を設定します。(P. 4-14「グルー		
モーション検出モード	モーション検出による鉛	录画動作を	を設定します。(P. 4-14「グループ A~F 設定」)		
モーションポスト時間	モーション検出からモ- (P. 4-14「グループ A~	- ション鎖 ·F 設定」)	粛画を終了するまでの時間を設定します。		
		7			

 (3)特定日設定
 : 祝日や記念日など、特別のスケジュールを設定することができます。最大 60 日の 特定日を設定できます。特定日はすべて同じスケジュールで運用されます。
 (P. 4-17「特定日設定」)

(4) モーション設定: カメラごとにモーション設定ができます。範囲を設定して映像の動きを自動的に 検出することができます。(P. 4-18「モーション設定」)

4-12 ^{取扱説明書}

⁽¹⁾ スケジュール : 曜日、特定日を指定し、時間帯によってどのグループで運用するかを設定します。 (P. 4-13「スケジュール」)

⁽⁵⁾ 音声 : 自動録画時の音声をチャンネルごとに録音できます。(P. 4-19「音声設定(自動録画)」)

● スケジュール

「録画設定」→「自動録画設定」→「スケジュール」

スケジュール設定は、プログラムごとに曜日、開始・終了時刻、 運用を設定します。スケジュールは最大 12 プログラムまで設 定できます。各スケジュールの運用は、グループ設定に従って 動作します。

スケジュール設定で時間が重なる場合は、番号の大きいプログ ラム設定が優先されます。

スケジュール設定がない場合は、自動録画は行われません。 終了時刻を開始時刻より前に設定すると、翌日まで録画するこ とができます。

1 毎日	08:00	~ 19:00	進 用 グループ A
2 毎日	19:00	~ 08:00	グループB
3 ±	08:00 -	- 13:00	グループA
4 土	13:00 -	~ 13:00	グループC
5 日	13:00 -	~ 08:00	グループC
6 特定日	08:00 -	~ 13:00	グループD
7 特定日	13:00 -	~ 08:00	グループF
3 –	: ^	~:	
9 –	: ^	~:	
10 -	: /	~:	
11 –	: /	~:	
12 –	: ^	~:	

項目	選択	説明
曜日	<u>毎日</u> /日/月/火 /水/木/金/土 /特定日	自動録画する曜日、特定日を設定します。 毎日 :毎日録画するときに設定します。 日〜土:指定した曜日を録画するときに設定します。 特定日:特定の日を録画するときに設定します。(P.4-17「特定日設定」)
開始時刻	<u>00:00</u> ~23:59	開始時間を設定します。
終了時刻	<u>00:00</u> ~23:59	終了時間を設定します。
運用	<u>グループA</u> ~ グループ F	グループの選択をします。グループ設定は、自動録画設定から設定します。 (P. 4-14「グループ A~F 設定」)

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

● グループ A ~ F 設定

「録画設定」→「自動録画設定」→「グループA~F設定」 スケジュールごとの運用方法を、グループA~Fに設定します。 アラームイベント録画で設定したカメラのアラーム入力、モー ションのモード、ポスト時間を設定します。

項目	選択	説明
録画間隔設定		設定については、P. 4-15「録画間隔設定」を参照してください。
録画画質/ イベント設定		設定については、P. 4-16「録画画質/イベント設定」を参照してくだ さい。
アラームイベント 録画モード	<u>シーケンス</u> / ラスト	複数のアラームイベントが発生したときのアラームイベント録画動作に ついて設定します。 シーケンス:アラームイベントに設定されたカメラをすべて録画します。
		カメラごとのアラームイベントを複数設定することができ、 最大で4つのアラーム入力と4つのモーション検出を設定 することができます。*1 *2
		ラスト : 最後に発生したアラームイベントに設定されたカメラだけ を録画します。 カメラごとのアラームイベントは、アラーム入力とモーショ ン検出を1つずつ設定することができます。*3 *4
アラーム入力モード	レベル / <u>エッジ</u>	アラーム入力端子に入力する信号により、レベルまたはエッジに設定 してください。 レベルまたはエッジに設定したときの録画動作は、P. 3-27「エッジ/ レベル設定時の録画動作について」を参照してください。
アラームポスト時間	0 ~ <u>60</u> ~ 999 秒 / 無制限	アラーム入力時のアラームイベント録画を終了するまでの時間を設定 します。 0~999秒:設定されたポスト時間の録画をします。 (アラーム入力モードがエッジの場合は1秒以上、レベルの 場合は0秒以上に設定できます。)*5 無制限 :手動で停止するまで、アラーム録画を継続します。
モーション 検出モード	<u>レベル</u> / エッジ	モーション検出モードをレベルまたはエッジに設定してください。 レベルまたはエッジに設定したときの録画動作は、P. 3-27「エッジ/ レベル設定時の録画動作について」を参照してください。
モーション ポスト時間	1 ~ <u>60</u> ~ 999 秒 / 無制限	モーション検出時のアラームイベント録画を終了するまでの時間を設定 します。 1~999 秒:設定されたポスト時間の録画をします。* ⁵ 無制限 :手動で停止するまで、モーション録画を継続します。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

※ グループ A~F の初期値はすべて同じ設定です。

*1 シーケンス設定でも、アラームが順次入力された場合は、最後に入力された画面を表示します。

- *2複数のイベントが設定されているときは、1番小さい番号のカメラをモニターへ1画面表示します。
- *3モニターへの1画面表示は後優先になります。
- *4 解像度が CIF (352×240)の場合は、連動するカメラの一方でアラームイベントが発生すると、2 つのカメラを同時に 録画します。
- *5 ポスト時間が録画レートよりも短い場合は、正しく再生できないことがあります。
 - (例)録画レートが 1/10 ips の場合は、10 秒間で 1 枚録画するため、ポスト時間を 10 秒以下に設定したときには 正しく再生できません。

4-14 ^{取扱説明書}

[録画間隔設定]

「録画設定」→「自動録画設定」→「グループ A ~ F 設定」→「録画間隔設定」

カメラごとにノーマル録画とアラームイベント録画、イベント カメラ以外の録画レートを設定します。 画面下に総録画レートとノーマル録画見積時間が表示されます。

解像度係数

総録画レートを算出するための係数です。解像度によって係 数が決まります。

ノーマル録画とアラームイベント録画の録画レートが「一(録 画しない)」のときは、解像度係数は「一」を表示します。

録画間隔設定A 解像度1 カメラ1 X カメラ2 X	系数 ノーマル録画 4 8ips 2 –	アラーム イベント録画 8 i p s 2 i p s	イベント カメラ以外 - 1 ips
א כא מ	1 4 i p s	15 i p s	-
カメラ4 連!	助 4ips	15 ips	-
カメラ5 x	2 2 ips	4 i p s	-
カメラ6 x	2 -	8 i p s	2 i p s
カメラ7 –	-		
カメラ8 –	-	-	-
カメラ9 –	-	-	-
カメラ10 -	-	-	-
カメラ11 -	-	-	-
カメラ12 –	-	-	-
カメラ13 –	-	-	-
カメラ14 –	-	-	-
カメラ15 –	-	-	-
カメラ16 –	-	-	-
	総録画レート	86.	2500 i p s
	ノーマル録画り	1積時間 1	33日23時間
1			

解像度	解像度係数
D1 (704 × 480)	\times 4
HD1 (704 $ imes$ 240)	× 2
CIF (352 × 240)	×1*

* 偶数カメラの場合は「連動」と表示されます。

9局用のカメラ9は「×2」と表示されます。

総録画レート

アラームイベント録画モードの設定によって数値は変わります。

【アラームイベント録画モードが「シーケンス」の場合】

各カメラごとにノーマル録画とアラームイベント録画、イベントカメラ以外の録画レートを比較し、最も 大きな値に解像度係数を掛けた合計を表示します。

【アラームイベント録画モードが「ラスト」の場合】

以下の①と②を比較して、大きいほうの値を表示します。

- ① 各カメラごとにノーマル録画の録画レートに解像度係数を掛けた合計
- ② それぞれのカメラの組み合わせの合計の中で最も大きな値 アラームイベント録画の録画レートに解像度係数を掛けた値とそれ以外のカメラ(アラームイベント 録画レートの計算を行ったカメラ以外)のノーマル録画、またはイベントカメラ以外の録画レートに 解像度係数を掛けた値の合計

ノーマル録画見積時間

ハードディスクに録画できるノーマル録画時間を計算して表示します。

録画する映像によって変動することがあります。時間は参考値であり、保証するものではありません。

アラームイベント録画を行うカメラを増やした場合、プリ録画設定の総録画レートが、最高録画レートを超 えることがあります。最高録画レートを超えると、警告メッセージを表示します。

> プリ録画設定が最高録画レートを超えました。 保存するとプリ録画レートは変更されます。 保存しますか? はい いいえ キャンセル

はい : 最高録画レートを超えない 4 ips 以下の最大の録画レートに初期化されます。

いいえ : 設定を破棄して、前の画面に遷移します。

キャンセル : 画面遷移せず、元のカーソル位置に戻ります。

ご注意

ディスクモードが「長時間モード」の場合は、総録画レートは 240 ips 以下に設定してください。ディスクモードが「ミラーモード」の場合は、総録画レートは 120 ips 以下に設定してください。最高録画レートを超えると警告メッセージが表示され設定できません。

メモ

設定する録画レートは、端数を切り上げて表示しています。

総録画レートは、実際の録画レートに従って計算されます。P. 3-28「録画レートについて」を参照してください。

項目	選択	説明
ノーマル録画	30 ips / 15 ips / 8 ips / <u>4 ips</u> / 2 ips / 1 ips / 1/2 ips / 1/3 ips / 1/5 ips / 1/10 ips / -(録画しない)	ノーマル録画時の録画レートを設定します。*1 *2 *4
アラームイベント録画	30 ips / 15 ips / 8 ips / <u>4 ips</u> 2 ips / 1 ips / 1/2 ips / 1/3 ips / 1/5 ips / 1/10 ips / -(録画しない)	アラームイベント録画時の録画レートを設定しま す。*1 *2 *3
イベントカメラ以外	8 ips / 4 ips / 2 ips / 1 ips / 1/2 ips / 1/3 ips / 1/5 ips / 1/10 ips / <u>-(録画しない)</u>	アラームイベント録画時にアラームイベントが発生 していないカメラの録画レートを設定します。 ^{*1 *2} *4

※下線部は、工場出荷時の設定です。

*1 各カメラごとに設定できます。

ただし、解像度が CIF (352×240)の場合、偶数カメラは連動する奇数カメラの設定と同じになり、変更できません。 *2 録画レートは、P. 3-28「録画レートについて」、P. 6-2「録画時間表」を参照してください。

*3 アラームイベント録画の録画レートを「ー(録画しない)」に設定した場合は、イベントカメラ以外の録画レートは「ー (録画しない)」になります。

** ノーマル録画の録画レートを「-(録画しない)」以外に設定すると、イベントカメラ以外の録画レートは「-(録画しない)」になります。

また、イベントカメラ以外の録画レートを「ー(録画しない)」以外に設定すると、ノーマル録画の録画レートは 「ー(録画しない)」になります。

[録画画質/イベント設定]

「録画設定」→「自動録画設定」→「グループA~F設定」→「録画画質/イベント設定」

カメラごとにノーマル録画とアラームイベント録画の画質、ア ラームイベント録画のイベントを設定します。 画面下にノーマル録画見積時間が表示されます。

ノーマル録画見積時間

ハードディスクに録画できるノーマル録画時間を計算して表示します。 録画する映像によって変動することがあります。時間は参考 値であり、保証するものではありません。

録画画質/イベ	ント設定A		
	ノーマル録画	アラームイイ	ベント録画
	画質	画質	イベント
カメラ1	1 (最高)	1 (最高)	•
カメラ 2	2	2	•
カメラ 3	3	3	•
カメラ 4	3	3	•
カメラ 5	4	4	•
カメラ 6	5 (最低)	5 (最低)	•
カメラ 7	-	-	•
カメラ 8	-	-	•
カメラ 9	-	-	•
カメラ10	-	-	•
カメラ11	-	-	•
カメラ12	-	-	•
カメラ13	-	-	•
カメラ14	-	-	•
カメラ15	-	-	•
カメラ16	-	-	•
	ノーマル録画見税	[時間	133日23時間

項目	選択	説明
ノーマル録画 画質	1(最高) 2 <u>3</u> 4 5(最低)	録画する画質のレベルを設定します。 1 が最高画質、5 が最低画質です。*1 *2
アラームイベント録画 画質	1 2 3 4 5(最低)	録画する画質のレベルを設定します。 1 が最高画質、5 が最低画質です。*1 *3
アラームイベント録画 イベント		設定については、P. 4-17「録画イベント設定」を参照してください。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

*1 各カメラごとに設定できます。

*2 録画間隔設定で、ノーマル録画の録画レートを「一(録画しない)」に設定した場合は、画質は「一」になります。

*3 録画間隔設定で、アラームイベント録画の録画レートを「一(録画しない)」に設定した場合は、画質は「一」になり ます。

4-16 ^{取扱説明書}

[録画イベント設定]

「録画設定」→「自動録画設定」→「グループA~F設定」→「録画画質/イベント設定」→「イベント」

カメラごとに録画を開始するイベントを設定します。 アラーム入力またはモーション検出カメラで設定したイベント でアラームイベント録画が開始されます。

ご注意

- アラームイベント録画モードが「ラスト」の場合、アラーム 入力とモーション検出カメラは、選択したカメラ番号だけを 設定することができます。
- 解像度が CIF (352 × 240)の場合は、カメラにイベントが発生すると、連動するもう一方のカメラも同時にアラームイベント録画を開始します。

カメラ 1	録画イベン	Γ A		
アラーム入力 モーション検出	コカメラ	1 - 1 -	 	

項目	説明
アラーム入力	アラーム入力端子の番号を 1~16(9 局用は 1~9)で選択します。カメラ 1 台あたり最大 4 つの アラーム入力によりアラームイベント録画を開始します。
モーション検出 カメラ	カメラの番号を1~16(9局用は1~9)で選択します。カメラ1台あたり最大で4台のモーション検出カメラが設定でき、設定したカメラにモーション検出があった場合にアラームイベント録画を開始します。

※工場出荷時の設定は、選択したカメラと同じ番号が表示されています。



「録画設定」→「自動録画設定」→「特定日設定」

祝日や記念日などを特別のスケジュールで設定することができ ます。最大 60 日の特定日を設定することができます。 スケジュール設定の曜日設定を「特定日」にすると、登録した 日付だけを異なるスケジュールで運用できます。

特定日設定 1/1 1 -	/
---	---

項目	選択	説明
特定日	1 / 1~12 / 31	特定日の日付を設定します。(最大 60 日まで)

※工場出荷時の設定は、日付が設定されていません。

● モーション設定

「録画設定」→「自動録画設定」→「モーション設定」

カメラごとにモーション設定ができます。範囲を設定して、映 像の中の動きを自動的に検出することができます。 モーションを検出するとアラームイベント録画を開始します。 (P. 4-17「録画イベント設定」)

ご注意

- モーションは輝度変化と輪郭の移動で検出しています。暗い
 映像では輝度変化が小さくなるため、カメラの明るさに合わせた感度設定をしてください。また、ピントのぼやけた映像では検出しにくくなります。周囲が暗くなってもぼやけないようにピントを調整してください。
- モーション感度や映像の明暗によっては、動きを検出できない場合や、誤って検出する場合があります。
 この機能は、盗難、火災などを防止するための専用装置ではありません。万一発生した事故や損害に関して一切責任を負いかねます。



項目	選	択	説明
モーション設定	16 局	9 局	各カメラごとにモーションの設定をします。
	カメラ 1 ~ カメラ 16	カメラ1 ~ カメラ9	

1 モーション設定画面で ▲、▲ キーでカーソルを 設定したいカメラ番号に移動し、メニューキーを押す。 選択したカメラのモーション設定画面が表示されます。

2 モーションを設定したい位置に ▲、▼、、、、、
キーでカーソルを移動し、メニューキーを押す。
(モーション検出 ON:青、モーション検出 OFF:無)
メニューキーを押すごとに ON / OFF が反転します。
設定したエリアでモーション検出するとブロックの色が赤色に変わります。
広い範囲を設定したい場合は、手順1で設定した位置から対角の位置にカーソルを移動し、検索キーを押すと設定できます。広い範囲を解除したい場合も同様に行えます。
モーション検出するブロックの数は、256 モーションブロック(横 16 ×縦 16)です。



※背景は各カメラのライブ映像です。

3 (+)キーを押す。

押すごとに感度の設定が変わります。

4 (-)キーを押す。 押すごとにモーションの設定が変わります。

検出 → 検出&入力 1 → 検出&入力 2 → …… → 検出&入力 16

5 メニューキーを2秒以上押す。 設定保存の確認メッセージが表示されます。

6 <

・ キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。
モーション設定画面に戻ります。

項目	選	択	説明
感度	1(最高)~ <u>3</u> ~	5(最低)	エリア全体のモーション検出の感度を設定します。 感度は5段階あり、感度1が最も高く感知します。
モーション起動	16 局 検出/ 検出&入力1 ~検出&入力16	9 局 検出/ 検出&入力1 ~ 検出&入力9	 モーションを起動する方法を設定します。 検出:モーションを検出するとアラームイベント録画を開始します。 検出&入力1~16(1~9): アラーム入力端子に信号が入っているときにモーションを検出するとアラームイベント録画を開始します。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

● 音声設定(自動録画)

「録画設定」→「自動録画設定」→「音声」

自動録画時の音声をチャンネルごとに録音することができます。

音声設定			
	録音		
CH1	する		
C H 2	しない		
СНЗ	しない		
CH4	しない		

項目	選択	説明
録音	する / <u>しない</u>	する :自動録画時に音声を録音します。 しない:自動録画時に音声を録音しません。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

■ プリ録画設定

「録画設定」→「プリ録画設定」

プリ録画は、録画停止状態で緊急録画やアラームイベント録画 が開始される直前の映像を録画する機能です。最大5分前まで の設定した時間をさかのぼって録画することができます。 (P. 3-25「プリ録画」)

ご注意

- プリ録画は、録画時間を0秒に設定した場合は動作しません。
- 録画停止状態の場合のみ動作します。録画停止状態の場合は 自動録画のスケジュール中でも、プリ録画を行います。



項目	選択	説明
録画時間	<u>0</u> ~300 秒	録画開始時からさかのぼって録画する時間を設定します。
録画レート	8 ips / <u>4 ips</u> / 2 ips / 1 ips / 1/2 ips / <u>1/3</u> ips / <u>1/5</u> ips / 1/10 ips	録画時の録画レートを設定します。* すべてのカメラで共通です。
録画画質	<u>1</u> (最高) 2 3 4 5(最低)	録画する画質のレベルを設定します。 1 が最高画質、5 が最低画質です。
音声		設定については、P. 4-20「音声設定(プリ録画)」を参照してください。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

* 録画レートは、P. 3-28「録画レートについて」、P. 6-2「録画時間表」を参照してください。 最高録画レートを超える録画レートは表示されません。ディスクモードが「ミラーモード」の場合は、最大録画レートは 4 ips になります。

● 音声設定 (プリ録画)

「録画設定」→「プリ録画設定」→「音声」

プリ録画時の音声をチャンネルごとに録音することができます。

音声設定			
СН1	録音 する		
CH 2	しない		
СНЗ	しない		
СН4	しない		

項目	選択	説明
録音	する / <u>しない</u>	する :プリ録画時に音声を録音します。 しない:プリ録画時に音声を録音しません。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

/ 画面表示設定

ライブ、録画、再生などの画面表示や画面切換の設定ができま す。また、カメラ名、DVR 名の設定や起動時の画面の設定もで きます。

画面表示設定	
文字表示設定 モニター出力設定 シーケンス設定 カメラ名設定 モニター2 設定 モニター2 設定 モニター2 起動時画面 モニター2 起動時画面 アラームカメジ表示時間 RGB出力解像度 デインターレーシング起動時設定	 モニター2 9分割 4分割A 3秒 1024×768 0FF
画 面 表 示 設定 文字テス設定 モニターン13股定 クンチンス設定 クンチンス設定 D V R A 2 設定 モニター 2 設定 モニター 2 設動時画面 アラームカメラ表示時間 R G B 出力所像度 デインターレーシング起動時設定	▶ モニター2 9分割 4分割A 3秒 1024×768 0FF

項目	選択	説明
文字表示設定		設定については、P. 4-22「文字表示設定」を参照してください。
モニター出力設定		設定については、P. 4-23「モニター出力設定」を参照してください。
シーケンス設定		設定については、P. 4-23「シーケンス設定」を参照してください。
カメラ名設定		設定については、P. 4-24「カメラ名設定」を参照してください。
DVR 名設定		設定については、P. 4-24「DVR 名設定」を参照してください。
モニター2設定	モニター1 / <u>モニター2</u>	モニター2出力端子から出力する映像を設定します。
		モニター1:モニター1と同じ映像を出力します。 モニター2:モニター2の映像を出力します。ライブ映像の 1 画面、4 分割画面で表示ができます。
モニター 1 起動時画面	16局 9局	モニター1の起動時の画面を設定します。
	カメラ 1~16 / カメラ 1~9 / 4 分割 A~D / 4 分割 A~C /	
	9分割A, B/ <u>9分割</u> /	
	<u>16 分割</u> / シーケンス シーケンス	
モニター2 起動時画面	カメラ 1~16 / カメラ 1~9 / <u>4 分割 A</u> ~D / シーケンス	モニター2の起動時の画面を設定します。 モニター2設定をモニター1に設定している場合は、「モニ ター1」と表示されます。このとき、モニター2の起動時 の画面は、モニター1の起動時の画面を表示します。
アラームカメラ表示時間	0 秒~120 秒 / <u>録画中</u> / 無制限	 ライブモードでアラームイベントが発生して録画を開始した ときに、イベントが入ったカメラが1画面表示する時間を設 定します。*1 *2 0秒 :1 画面表示しません。(イベント発生前の表示 状態を維持します。) 1~120秒:設定した時間で1画面表示します。 録画中 :アラームイベント録画中は1画面表示します。 無制限 :手動で画面表示を切り換えるまで1画面表示を 継続します。
RGB 出力解像度	640×480 / <u>800×600</u> / 1024×768 / 1280×720 / 1360×768 / 1440×900 / 1680×1050 / 1920×1080	アナログ RGB の解像度を設定します。* ³
デインターレーシング 起動時設定	OFF / ON	起動時のデインターレーシング機能を設定します。 起動後はサブメニュー画面のデインターレーシング設定で 変更します。(P. 4-42「サブメニューの設定」) OFF:使用しません。 ON:使用します。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

*1 複数のアラームイベントが入力されたときは、後優先で1画面表示します。

*2 アラームイベント録画モードがシーケンスで複数イベントが設定されているときは、1番小さい番号のカメラを モニターに1画面表示します。

*3 解像度 1920 × 1080 はインタレース方式、それ以外の解像度はプログレッシブ方式で出力します。

■ 文字表示設定

「画面表示設定」→「文字表示設定」

名称や番号の表示/非表示を設定します。 表示位置については、P. 3-12「ライブモードの表示」、P. 3-13「再 生中の表示」を参照してください。

ご注意

モニター2には、カメラ名またはカメラ番号しか表示できま せん。

項目	選択	説明
録音状態表示	表示 / 非表示	表示 :録音時に表示します。 非表示:録音時に表示しません。
上書表示	表示 / 非表示	表示 :上書設定(許可/禁止)を表示します。 非表示:上書設定(許可/禁止)を表示しません。
録画中表示	表示 / 非表示	表示 :録画状態を表示します。 非表示:録画状態を表示しません。
再生中表示	表示 / 非表示	表示 :再生中に再生状態を表示します。 非表示:再生中に再生状態を表示しません。
残時間表示	表示 / 非表示	表示 :ハードディスクの残時間を表示します。* 非表示:ハードディスクの残時間を表示しません。
ディスクモード表示	表示 / 非表示	表示 :ディスクモードを表示します。 非表示:ディスクモードを表示しません。
ディスク状態表示	表示 / 非表示	表示 :録画中または再生中のハードディスクを表示します。 非表示:録画中または再生中のハードディスクを表示しません。
日付表示	表示/非表示	表示 :ライブ時は現在の日付を、再生時は再生中の映像の 日付を表示します。 非表示:ライブ時、再生時ともに日付表示しません。
時刻表示	表示/非表示	表示 :ライブ時は現在の時刻を、再生時は再生中の映像の 時刻を表示します。 非表示:ライブ時、再生時ともに時刻表示しません。
日時表示位置	左上/中央上/ <u>右上</u> 左下/中央下/右下	日時表示位置を設定します。
カメラ制御表示	表示 / 非表示	表示 :コンビネーションカメラが制御可能なときに表示します。 非表示:カメラの制御状態を表示しません。
モニター 1 カメラ名表示	カメラ名 / <u>カメラ番号</u> / 非表示	カメラ名 :モニター 1 にカメラ名を表示します。 カメラ番号:モニター 1 にカメラ番号を表示します。 非表示 :モニター 1 に表示しません。
モニター 2 カメラ名表示	カメラ名 / <u>カメラ番号</u> / 非表示	カメラ名 :モニター2にカメラ名を表示します。 カメラ番号:モニター2にカメラ番号を表示します。 非表示 :モニター2に表示しません。
DVR 名表示	表示/非表示	表示 :DVR 名を表示します。 非表示:DVR 名を表示しません。
位置調整	1~ <u>12</u>	モニター1の文字表示位置を設定します。 1 が最も画面の外側に配置され、数値が1増えるごとに対象の 文字が画面中央方向に移動します。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

* 上書設定が「禁止」の場合に表示されます。

■ モニター出力設定

「画面表示設定」→「モニター出力設定」 モニター出力のカメラ映像の表示/非表示を設定します。

ご注意

ライブモードのカメラ映像の表示/非表示を設定します。非表示に設定しても、再生モードとトリプレックスモードのときは表示されます。

モーター出力設	疋		
	モニター1	モニター 2	
カメラ1	表示	非表示	
カメラ 2	表示	非表示	
カメラ 3	表示	非表示	
カメラ 4	表示	非表示	
カメラ 5	表示	非表示	
カメラ 6	表示	非表示	
カメラ 7	表示	非表示	
カメラ 8	表示	非表示	
カメラ 9	表示	非表示	
カメラ10	表示	非表示	
カメラ11	表示	非表示	
カメラ12	表示	非表示	
カメラ13	表示	非表示	
カメラ14	表示	非表示	
カメラ15	表示	非表示	
カメラ16	表示	非表示	

項目	選択	説明
モニター 1	表示/非表示	表示 :モニター 1 に表示します。 非表示:モニター 1 に表示しません。
モニター2	表示 / 非表示	表示 :モニター 2 に表示します。 非表示:モニター 2 に表示しません。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

■ シーケンス設定

「画面表示設定」→「シーケンス設定」

シーケンス動作は、ステップごとに設定された時間で画面が順次切り換わります。 モニターにシーケンス表示する画面と時間を設定します。 (P. 3-15「シーケンス表示で見る」)

ご注意

ステップ1の表示時間は0秒に設定することができません。

シーケンス設定					
	モニター1		モニター 2		
ステップ 1	4 分割 A	1秒	カメラ 1	3秒	
ステップ 2	カメラ 6	3秒	カメラ 2	3秒	
ステップ 3	カメラ 7	10秒	カメラ 3	3秒	
ステップ 4	9 分割	0秒	4 分割 A	0秒	
ステップ 5	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ 6	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ 7	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ 8	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ 9	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ10	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ11	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ12	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ13	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ14	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ15	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	
ステップ16	カメラ 1	0秒	カメラ 1	0秒	

項目	選	択	説明
モニター1 (表示画面)	16 局	9 局	各ステップの表示画面を設定します。
	<u>カメラ 1~16</u> 4 分割 A~D / 9 分割 A, B / 16 分割	<u>カメラ1~9</u> / 4 分割 A~C / 9 分割	
モニター1(シーケンス時間)	0~ <u>3</u> ~60秒	>	各ステップの表示時間を設定します。
モニター2(表示画面)	カメラ 1~16 / <u>4 分割 A~D</u>	カメラ 1~9 / <u>4 分割 A~C</u>	各ステップの表示画面を設定します。
モニター2(シーケンス時間)	0~ <u>3</u> ~60秒	>	各ステップの表示時間を設定します。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

■ カメラ名設定

「画面表示設定」→「カメラ名設定」

カメラごとにカメラ名称を設定できます。

カメラ名は最大15文字まで設定できます。ただし、9分割画面、 16分割画面のときは、表示できる文字数に制限があります。

9分割:カメラ名は最初の10文字が表示されます。 16分割:カメラ名は最初の7文字が表示されます。

|メ モ│漢字の文字種は、JIS X 0208 に準拠しています。

カメラ名設定		
カカカカカカカカカカカカカカカカカカカ シララララララララララララララララララ	CAMERA1 CAMERA2 カメラ3 カメラ4	

項目	選択	説明
カメラ名	大小英字、数字、記号、カタカナ、 ひらがな、漢字で 15 文字	各カメラの名称を設定します。

1 カメラ名設定画面で ▲、▲ キーでカーソルを設定したいカメラ番号に移動し、メニューキーを押す。 カメラ名の入力画面が表示されます。

2 ▲、▼、▼、▼ キーでカーソルを移動して 文字を選択し、メニューキーを押す。 入力した文字が表示されます。 文字を確定するときは「決定」を選択し、メニューキーを 押します。消去するときは「クリア」を選択し、メニュー

カメラ 1 カメラ名		
北側もん		
P9		
あいうえお かきくけこ さしずねれ かきくけこ さにすねれる たひった まみむめも や ゆ よ らりるれろ わ や ゆ よ らいうえお や ゆ よ	01234 56789 ABCDE FGHIJ PQRST UVWXY abcde fghij pqrst uvwxy !" #\$% & () * :;<=> ?@^`	K L M N O Z k l m n o z + , / { } ~
カナ変換 漢字変換 決定	クリア 終了	

ひらがな入力した文字をカタカナ、漢字に変換する
 文字変換ができる状態(入力文字背景:赤)で、操作してください。
 カタカナに変換する:「カナ変換」を選択し、メニューキーを押す。
 漢字に変換する :「漢字変換」を選択し、メニューキーを押す。

3 文字の入力が完了したら ▲、▲、▲、▲、ト キーでカーソルを「終了」に移動し、メニューキーを押す。 設定保存の確認メッセージが表示されます。

メニューキーを押すごとに次の漢字候補を表示します。

4 ■、 **▶** キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。 カメラ名設定画面に戻ります。

メ モ 空白を入力するときは、「~」の右横の空白を選択し、メニューキーを押してください。

■ DVR 名設定

キーを押します。

本機の名称を設定できます。 DVR 名は、最大 15 文字まで設定できます。 DVR 名設定のしかたは、「カメラ名設定」と同様です。(P. 4-24「カメラ名設定」)

4-24 ^{取扱説明書}

/ ネットワーク設定

本機からネットワークを経由して、遠隔監視や録画映像の検索、 再生の設定ができます。 ネットワークのパスワードやアドレスを設定します。

ネットワーク設定														
P アドレス	1	9	2		1	6	8			1	4		1	
ナブネットマスク	2	5	5		2	5	5		2	5	5		0	
『フォルトゲートウェイ	1	9	2		1	6	8				0		2	
VEBサーバーポート	標	準												
映像ストリームポート	0	1	0	2	4									
VEBユーザーパスワード			0	1	2	3	4							
VEB管理者パスワード	►		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
ライブ配信画質	1	(最	高)									
ライブ配信解像度	С	1	F	(3	5	2	×	2	4	0)		
最高ビットレート	最	高												
プライマリDNS	1	9	2		1	6	8				0		2	
マカンダリDNS	1	9	2		1	6	8				0		2	
NTPサーバー			n	t	p		n	е		i	p			
タイムゾーン	+	0	9	:	0	0				1				

項目	選択	説明
IP アドレス	(<u>192.168.14.1</u>) 0~255	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	(<u>255.255.255.0</u>) 0~255	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	(_0. 0. 0. 0) 0~255	デフォルトゲートウェイを設定します。
WEB サーバーポート	標準/1024~65535	WEB サーバーのポート番号を設定します。標準は 80 番です。
映像ストリームポート	<u>60101</u> ∕ 1024~65532	本機から映像や音声を配信するために PC 側のポート番号を設定し ます。設定したポート番号を先頭に 4 つのポートを使用します。 設定値 :ライブ映像用 設定値 +1:ライブ音声用 設定値 +2:再生映像用 設定値 +3:再生音声用
WEB ユーザーパスワード	大小英字、数字、記号で 10 文字	ユーザーアカウントでログインするときのパスワードを設定し ます。(P. 4-26「WEB 管理者パスワード設定」)
WEB 管理者パスワード*	大小英字、数字、記号で 10 文字	管理者アカウントでログインするときのパスワードを設定しま す。(P. 4-26「WEB 管理者パスワード設定」)
ライブ配信画質	1(最高) 2 3 4 <u>5</u> (最低)	ライブ配信の画質を設定します。 1 が最高画質、5 が最低画質です。
ライブ配信解像度	D1 (704×480) HD1 (704×240) CIF (352×240)	ライブ配信の解像度を設定します。
最高ビットレート	1 Mbps / 2 Mbps / 4 Mbps / 8 Mbps / 12 Mbps / 16 Mbps / <u>最高</u>	転送速度の上限を設定します。
プライマリ DNS	(<u>0. 0. 0. 0</u>) 0~255	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
セカンダリ DNS	(セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
NTP サーバー	大小英字、数字、記号で 46 文字	NTP サーバーの IP アドレスやドメインを設定します。 数字とピリオドを入力したときに IP アドレスと認識します。 (P. 4-26「WEB 管理者パスワード設定」)
タイムゾーン	-12:00 ~ <u>+9:00</u> ~ +13:00	NTP で取得する時刻は UTC 時間(協定世界時間)で、現在地の時刻に合わせるために使用する誤差時間です。15 分単位で設定できます。 日本 (+9:00) に設定されていますので、変更しないでください。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

*WEB管理者パスワードを設定しないとWebブラウザーからアクセスして設定を変更される場合があります。 WEB管理者パスワードを設定してください。

■ WEB 管理者パスワード設定

「ネットワーク設定」→「WEB 管理者パスワード」 大小英字、数字、記号を使用して設定します。 WEB ユーザーパスワード、NTP サーバーの設定のしかたも同 様です。

WEB管理	者パスワード		
passw	ord		
0 1 2 3 4 A B C D E E K L M N O U V W X Y a b c d e k l m n o u v w x y ! " # \$ % + , / ? @ ^	56789 FGHIJ PQRST Z fghij pqrst z & () * ;;<=> ~	クリア 終了	

1 ネットワーク設定画面で ▲ 、▲ キーでカーソルを「WEB 管理者パスワード」に移動し、 メニューキーを押す。 WEB 管理者パスワードの入力画面が表示されます。

2 ▲、■、■、■ キーでカーソルを移動し、文字を選択する。 入力した文字を消去するときは「クリア」を選択し、メニューキーを押してください。

3 文字の入力が完了したら ▲、▲、▲、▲、● キーでカーソルを「終了」に移動し、メニューキーを押す。
設定保存の確認メッセージが表示されます。

4 (、) キーでカーソルを「はい」に移動し、メニューキーを押す。 ネットワーク設定画面に戻ります。

メール設定

アラームイベント発生時や異常時に、送信先アドレスにメール を送信するように設定ができます。 送信先アドレスは4件まで設定できます。

ご注意送信メールに画像を添付することはできません。

メール設定	
送信者アドレス 送信者アドレス1 送信者アドレス2 送信者アドレス3 送信者アドレス3 送信者アドレス4 SMTPポート番号 認証	<pre>test test1 test2 test3 test4 smtp.ne.jp 587 U&xv</pre>
暗号化 アカウント名 バスワード POP3サーバー 送信条件設定 テスト送信	yuser555 pass555 pop3.ne.jp 実行

項目	選択	説明
送信者アドレス	大小英字、数字、 記号で 46 文字	本機のメールアドレスを設定します。
送信先アドレス 1~4	大小英字、数字、 記号で 46 文字	送信先のメールアドレスを設定します。
SMTP サーバー	大小英字、数字、 記号で 46 文字	SMTP サーバーのアドレスを設定します。
SMTP ポート番号	$\underline{587} \nearrow 1 \sim 65535$	SMTP サーバーのポート番号を設定します。
認証	<u>しない</u> /POP3/ SMTP	しない :メール送信時に認証を行いません。 POP3 :メール送信時に POP3 による認証を行います。 SMTP :メール送信時に SMTP による認証を行います。*
暗号化	する / しない	認証が POP3 のときだけ設定できます。それ以外の場合は「-」を表示します。 する :POP3 認証時にユーザー名、パスワードを暗号化します。 しない:POP3 認証時にユーザー名、パスワードを暗号化しません。
アカウント名	大小英字、数字、 記号で 23 文字	POP3 認証または SMTP 認証のアカウント名を設定します。
パスワード	大小英字、数字、 記号で 23 文字	POP3 認証または SMTP 認証のパスワードを設定します。
POP3 サーバー	大小英字、数字、 記号で 46 文字	POP 認証時の POP3 サーバーの IP アドレスを設定します。
送信条件設定	_	設定については、P. 4-28「送信条件設定」を参照してください。
テスト送信	実行	現在の設定でテスト送信をします。 成功した場合は「成功しました」、失敗した場合は「失敗しました」と テスト結果を表示します。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

* SMTP 認証(SMTP-AUTH)は、AUTH CRAM-MD5、AUTH LOGIN、AUTH PLAINに対応しています。

送信者アドレス、送信先アドレス、SMTP サーバー、アカウン ト名、パスワード、POP3 サーバーの設定のしかたは、「WEB 管理者パスワード設定」と同様です。(P. 4-26「WEB 管理者パ スワード設定」)

送信者アドレス	
test	
■1234 56789 ABCDE FGHIJ KLMNO PQRST UVWXY Z abcde fghij kImno pqrst uvwxy z !" #\$% & () * +, =./ ::<=> ?@^]~	クリア 終了

■ 送信条件設定

「メール設定」→「送信条件設定」

アラーム入力があったとき、モーションを検出したとき、緊急 録画が開始されたとき、機器の異常時、または電源投入などの システム操作時にメール送信する条件の設定をします。 メール送信する条件が発生すると、イベント1件に対して1件 のメールを送信します。

カメラ1	する	緊急録画	しない
カメラ 2	する	機器異常	する
カメラ 3	する	システム操作	しない
カメラ 4	する		
カメラ 5	しない		
カメラ 6	しない		
カメラ 7	する		
カメラ 8	する		
カメラ 9	しない		
カメラ10	しない		
カメラ11	しない		
カメラ12	しない		
カメラ13	しない		
カメラ14	しない		
カメラ15	する		
カメラ16	しない		

項目	選択	説明
カメラ1~16 (1~9)	する / <u>しない</u>	する :設定したカメラがアラームイベント録画を開始するとメール送信します。 しない:設定したカメラがアラームイベント録画を開始してもメール送信しません。
緊急録画	する / <u>しない</u>	する :緊急録画を開始するとメール送信します。 しない:緊急録画が開始してもメール送信しません。
機器異常	する / <u>しない</u>	する :異常ログが追加されるとメール送信します。 しない:異常ログが追加されてもメール送信しません。 「する」に設定した場合、以下のログが発生するとメール送信します。 ビデオロス発生、ビデオロス解除(映像復帰、設定無効、解除操作)、残量警告 開始、残量警告解除、ハードディスクエラー、BDエラー、ハードディスクフル、 ハードディスクフル解除、ファン異常
システム操作	する / <u>しない</u>	する :システムログが追加されるとメール送信します。 しない:システムログが追加されてもメール送信しません。 「する」に設定した場合、以下のログが発生するとメール送信します。 主電源 ON、電源キー ON、ハードディスク初期化、ログイン(操作レベル 1、2、3)、 ログアウト、UPS シャットダウン

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

[送信内容]

件名: C-DR166 Callout Mail (16 局の場合) C-DR096 Callout Mail (9 局の場合)

内容: REPORT ALARM CAM 〇〇 (アラームイベント録画時 〇〇はカメラ番号) REPORT PRIORITY (緊急録画時) REPORT FAILURE (機器異常発生時) REPORT SYSTEM OPERATION (システム操作時)

DVR ID:(DVR ID(は設定された DVR 番号)DVR NAME:(DVR 名(は設定された DVR 名称)

ご注意送信メールに画像を添付することはできません。

システム設定

本機の再生するハードディスク、残量警告時間、ブザーの有無 が設定できます。また、カメラ、RS-232C、リモコンの通信仕 様などが設定できます。

システム設定	
再生ディスク	全て
残量警告時間	0時間
ブザー/異常表示設定 入出力端子モード設定	
コントロール出力端子設定 セキュリティ設定	*
カメラプリセット設定	►
カメラモデル	ТОА-В
カメラ通信速度	38400bps
RS232C通信速度	38400bps
RS232Cフロー制御	
RS232C通信応答	する
リモコン通信速度	38400bps
リモコン通信応答	する
DVR-ID	1
言語選択	日本語
音声出力起動時設定	C H 1
1	

項目		選択	説明
再生ディスク	長時間 モード	<u>全て</u>	接続されているハードディスクを順番に再生できます。
	ミラー モード	HDD1 / HDD2	再生するハードディスクのグループを設定します。 HDD1:HDD-A → C → E → A … の順序で再生できます。 HDD2:HDD-B → D → F → B … の順序で再生できます。 ハードディスクのグループは、録画のグループと同じです。 (P.3-21「ハードディスクの録画の順序」)
残量警告時間		0 ~ <u>1</u> ~ 999 時間	上書禁止の場合、録画の残り時間が設定した時間を下回ったとき にディスクフル LED を点滅させます。
ブザー/異常	表示設定		設定については、P. 4-30「ブザー/異常表示設定」を参照してください。
入出力端子モ	-ド設定		設定については、P. 4-30「入出力端子モード設定」を参照してください。
コントロール出た	力端子設定		設定については、P. 4-31「コントロール出力端子設定」を参照 してください。
セキュリティ	設定		設定については、P. 4-32「セキュリティ設定」を参照してください。
カメラプリセ	ット設定		設定については、P. 4-33「カメラプリセット設定」を参照してください。
カメラモデル		тоа-а / <u>тоа-в</u>	 RS-485 で制御するカメラプロトコルを設定します。 TOA-A :通信方式がタイプA で動作するカメラを接続するときに選択します。 TOA-B :通信方式がタイプB で動作するカメラを接続するときに選択します。
カメラ通信速	度	9600 bps / 19200 bps / <u>38400 bps</u>	制御カメラの通信速度を設定します。 TOA-A :9600 bps / 19200 bps / 38400 bps TOA-B :9600 bps / 19200 bps / 38400 bps
RS232C 通信	速度	9600 bps / 19200 bps / <u>38400 bps</u>	RS-232C の通信速度を設定します。
RS232C フロ	一制御	あり / <u>なし</u>	あり:RS-232C フロー制御します。 なし:RS-232C フロー制御しません。
RS232C 通信	応答	<u>する</u> /しない	する :RS-232C の通信応答をします。 しない:RS-232C の通信応答をしません。
リモコン通信速度		9600 bps / 19200 bps / <u>38400 bps</u>	リモコンの通信速度を設定します。
リモコン通信応答		<u>する</u> /しない	する :リモコンの通信応答をします。*1 しない:リモコンの通信応答をしません。
DVR–ID		<u>1</u> ~8	デジタルレコーダーの ID を設定します。 *2
言語選択		日本語/ENGLISH	表示言語を選択します。
音声出力起動	時設定	<u>CH1</u> ~ CH4	起動時に音声出力するチャンネルを設定します。起動後は、サブ メニュー画面の音声出力で変更します。(P. 4-42「サブメニュー の設定」)

※下線部は、工場出荷時の設定です。

- *1 リモートコントローラー (C-RM1000) を接続するときは、必ず「リモコン通信応答」の設定を「する」にしてください。 「しない」に設定すると、リモートコントローラーを使用できません。
- *² リモートコントローラー(C-RM1000)を接続して、本機を複数台(最大 8 台)操作するときは、すべてのデジタルレ コーダーを異なる DVR-ID に設定してください。また、本機前面のキー操作でも DVR-ID を設定することができます。 (P. 3-4「DVR-ID を設定する」)

■ ブザー/異常表示設定

「システム設定」→「ブザー/異常表示設定」

緊急録画、アラーム録画、モーション録画、および機器異常時 のブザー鳴動と機器異常内容の画面表示の設定をします。

	ブザー	異常表示
聚刍 绿面	あり	
^{末 心 み 山} アラーム 絵画	te 1.	
テレジョン録画	あり	
ハードディスクエラー	あり	あり
BDエラー	なし	なし
ビデオロス	なし	なし
ファン異常	あり	あり

項目	選択	説明
ブザー	<u>あり</u> /なし	あり:ブザーを鳴らします。 なし:ブザーを鳴らしません。
異常表示	あり / <u>なし</u>	あり:ライブモード、再生モードの画面に異常内容を表示します。 なし:ライブモード、再生モードの画面に異常内容を表示しません。 ※ 緊急録画、アラーム録画、モーション録画は異常表示されません。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

■ 入出力端子モード設定

「システム設定」→「入出力端子モード設定」 本機後面の入出力端子の設定をします。

入出力端子モー	ド設定		
X H 334 3 C	I BX AC		
入力端子	モード	出力端子	モード
アラーム1	メイク	コントロール1	メイク
アラーム 2	メイク	コントロール 2	メイク
アラーム 3	メイク	コントロール 3	メイク
アラーム 4	メイク	コントロール 4	メイク
アラーム 5	メイク		
アラーム 6	メイク		
アラーム 7	メイク		
アラーム 8	メイク		
アラーム 9	メイク		
アラーム10	メイク		
アラーム11	メイク		
アラーム12	メイク		
アラーム13	メイク		
アラーム14	メイク		
アラーム15	メイク		
アラーム16	メイク		
緊急録画	メイク		

項目	選択	説明
アラーム 1~16 (1~9)	<u>メイク</u> / ブレイク	メイク :COM 端子とメイクすると入力されます。 ブレイク:COM 端子とブレイクすると入力されます。
緊急録画	<u>メイク</u> / ブレイク	メイク :COM 端子とメイクすると入力されます。 ブレイク:COM 端子とブレイクすると入力されます。
コントロール 1~4	<u>メイク</u> / ブレイク	メイク :動作時に COM 端子とメイクします。 ブレイク:動作時に COM 端子とブレイクします。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

4-30 取扱説明書

■ コントロール出力端子設定

「システム設定」→「コントロール出力端子設定」

緊急録画、アラームイベント録画、異常時に本機からコントロー ル信号を出力することができます。 コントロール出力端子は4つの端子があり、コントロール信号 を出力する端子の設定をします。

			-
コントロール出力端子設	定		
	出力端子	時間	
緊急録画	コントロール1	録画中	
アラーム録画	コントロール2	録画中	
モーション録画	コントロール2	经面中	
ハードディスクフル	コントロール 3		
ハードディスクエラー	コントロール 4		
BDエラー	コントロール4		
ビデオロス	コントロール 4		
ファン異常	コントロール 4		

項目		選択	説明
緊急録画	出力端子	<u>コントロール 1</u> /コントロール 2 /コントロール 3 /コントロール 4 / 無効 *	緊急録画時に出力する端子を設定します。
	時間	録画中/1秒間	録画中:緊急録画中に出力します。 1 秒間:緊急録画を開始して 1 秒間出力をします。
アラーム録画	出力端子	コントロール1/ <u>コントロール2</u> /コントロール3/コントロール4 / 無効*	アラーム録画時に出力する端子を設定します。
	時間	録画中/1秒間	録画中:アラーム録画中に出力します。 1 秒間:アラーム録画を開始して1 秒間出力をします。
モーション録画	出力端子	コントロール 1 / <u>コントロール 2</u> /コントロール 3 /コントロール 4 / 無効 *	モーション録画時に出力する端子を設定します。
	時間	録画中/1秒間	録画中:モーション録画中に出力します。 1 秒間:モーション録画を開始して 1 秒間出力をします。
ハードディスク	カフル	コントロール1/コントロール2 / <u>コントロール3</u> /コントロール4 / 無効	ハードディスクの残量が残量警告時間を下回ると出力 する端子を設定します。
ハードディスクエラー		コントロール 1 /コントロール 2 /コントロール 3 / <u>コントロール 4</u> / 無効	ハードディスクエラー時に出力する端子を設定します。
BDエラー		コントロール 1 /コントロール 2 /コントロール 3 / <u>コントロール 4</u> / 無効	BD エラー時に出力する端子を設定します。
ビデオロス		コントロール1/コントロール2 /コントロール3/ <u>コントロール4</u> / 無効	ビデオロス時に出力する端子を設定します。
 ファン異常		コントロール1/コントロール2 /コントロール3/ <u>コントロール4</u> / 無効	ファン異常時に出力する端子を設定します。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

* 出力端子で無効を設定した場合、時間は選択できません。

■ セキュリティ設定

「システム設定」→「セキュリティ設定」

本機の操作や設定にレベルごとのセキュリティ制限をかけるこ とができます。 リモコン(RS-485 制御)や PC(RS-232C 制御)からの操作を制 限することもできます。(P. 3-50「セキュリティ」)

メモ

接点入力による動作や Web ブラウザーを使用したメニュー設定、リモート操作に制限はかかりません。

	パスワード	USB+-
操作レベル 1	有効 123456	(有効)
操作レベル 2	無効 –	(無効)
操作レベル3	有効 -	(無効)
USBキーレベル	レベル1	
緊急録画操作レベル3	無効	
リモートアクセス制限	しない	
ログアウト時間	10分	

項目		選択	説明
操作レベル 1~3	パスワード	有効(数字 6 桁) / <u>無効</u>	各操作レベルにログインするためのパスワードを設定できます。 操作レベルの説明とログイン、ログアウトの関係については、 P. 3-50「セキュリティ」を参照してください。
	USB キー	(有効 / <u>無効</u>)	USB キーレベルで設定した内容が表示されます。
USB キーレ	ベル	レベル1/ レベル2 レベル3/ <u>無効</u>	登録済みの USB キーをキーロック端子に差し込むと、設定が 変更できます。(P. 3-52「USB キーによるセキュリティ設定」) レベル 1:操作レベル 1 にログインするために選択します。 レベル 2:操作レベル 1、2 にログインするために選択します。 レベル 3:操作レベル 1~3 ログインするために選択します。 無効 :USB キーによるセキュリティは使用しません。
緊急録画操作	キレベル3	有効 / <u>無効</u>	有効:操作レベル3で緊急録画キー操作ができます。* 無効:操作レベル3で緊急録画キー操作ができません。*
リモートアク	7セス制限	する / <u>しない</u>	リモコンまたは RS-232C からのリモート操作を制限します。 する :本機と同じ操作レベルで制限をかけます。 しない:制限をかけません。操作レベル1(フルアクセス)で操作 できます。
ログアウト時	寺間	<u>無効</u> /1分/5分 /10分/30分/ 60分	パスワードによるログイン後に何も操作しなかった場合、自動的に ログアウトする時間の設定をします。 無効 :ログアウトしません。 1分~60分:設定された時間後、ログアウトします。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

* 緊急録画端子からの録画開始は制限できません。

■ カメラプリセット設定

「システム設定」→「カメラプリセット設定」

アラーム入力に信号が入ると、コンビネーションカメラで設定 されているプリセットポジションの位置にカメラを移動するこ とができます。

各アラーム入力ごとに、最大で4台のカメラのプリセットポジ ションを設定できます。

カメラブリャット	华 定	
	 カメラ	ポジション
アラーム入力1	1	1
	-	-
	-	-
アフーム人力2	2	99
	-	-
	-	-
	-	
P7-4773	3	1
	-	-
	-	-
7- 11-4	-	-
/////////////////////////////////////	16	255
	-	-
	-	-
カページ		-
X	•	

メモ

 ■コンビネーションカメラを接続したカメラ番号だけが有効です。あらかじめプリセットポジションが設定 されている必要があります。

コンビネーションカメラのプリセットポジションは、Web ブラウザーのライブ配信(P. 5-11「プリセット」) または、リモートコントローラー (C-RM1000)で設定してください。リモートコントローラーの設定につ いては、リモートコントローラー C-RM1000 の取扱説明書をご覧ください。

[●] アラーム録画の運用スケジュールに関係なく動作します。

項目	選択		説明
カメラ	16 局	9 局	1つのアラーム入力に対して、4台のカメラを設定できます。
	カメラ 1~16	カメラ 1~9	
ポジション	1~255		1 つのアラーム入力に対して、4 つのプリセットポジションを設定 できます。

ログ表示/出力

録画したイベントの内容や録画時間を確認できます。 ログ(履歴)情報を USB メモリーに保存できます。

ログ表示/出力 録画ログ 異常ログ システムログ ログー括出力 実行

項目	選択	説明
録画ログ		ログ情報については、P. 4-35「録画ログ」を参照してください。
異常ログ		ログ情報については、P. 4-36「異常ログ」を参照してください。
システムログ		ログ情報については、P. 4-37「システムログ」を参照してください。
ログー括出力	実行	コピー端子に接続した USB メモリーに本機の録画ログ、異常ログ、 システムログ情報をテキストファイル形式で保存します。*

* USB メモリーに以下の3種類のファイル名で保存されます。

・録画ログ:「RecAll.txt」

・異常ログ:「ErrAll.txt」

・システムログ:「SysAll.txt」

USB メモリーに同じ名称のファイルが存在すると、上書き確認メッセージが表示されます。

USB メモリーは、マスストレージクラス(Windows XP / Vista / 7 で「USB 大容量記憶装置デバイス」と認識されるもの)が使用できます。FAT16 / FAT32 でフォーマットされた USB1.1 / USB2.0 の USB メモリーに対応しています。

■ 録画ログ

「ログ表示/出力」→「録画ログ」

録画の開始と終了の時刻を記録し、最新情報から表示します。 最大 1000 件分まで保存し、古いログから順に削除されます。

1 🔼 、 🗖 キーを押し、見たいログを表示する。

ログがページ単位(1画面単位)でスクロールします。

2 • +-を押す。

ログ表示/出力画面に戻ります。

項目	表示		説明
発生日時	年/月/日/時間		録画を開始、終了した日時を表示します。*1
カメラ	16 局	9 局	録画を開始、終了したカメラ番号を表示します。
	1~16	1~9	┃ 緊急録画開始と終了、ノーマル録画開始と終了はカメラ番号が表示 されません。
内容	緊急録画開始/緊急録画終了/ ノーマル録画開始/ノーマル録 画終了/アラーム録画開始/ア ラーム録画終了/モーション録 画開始/モーション録画終了		録画を開始、終了した内容を表示します。*2
起動	16 局	9 局	モーション録画を起動したカメラ番号、アラーム録画を起動した
	1~16	1~9	アフーム人力端子畨号を表示します。*3

*1 録画の開始ログと実際の録画開始時間は、最大1秒のずれが発生することがあります。

*2 ノーマル録画中にアラームイベントが発生すると、録画イベントで設定したカメラはアラームイベント録画を開始 しますが、アラームイベントが発生していないカメラは、ノーマル録画を継続するためノーマル録画終了は記録されません。また、アラームイベント録画で設定した時間が終了すると、ノーマル録画に戻りますが、ノーマル録画 開始は記録されません。

*3 解像度が CIF (352×240)の場合は、連動するカメラの一方でアラームイベントが発生すると、2 つのカメラを同時 に録画します。このとき、アラームイベントが発生していないカメラの録画ログにも、アラームイベントが発生した カメラと同じ番号が表示されます。

■ 異常ログ

「ログ表示/出力」→「異常ログ」

本機で発生した異常の発生時刻と内容を記録し、最新情報から 表示します。 最大 100 件分まで保存し、古いログから順に削除されます。

操作方法は前ページの「録画ログ」と同様です。(P. 4-35「録 画ログ」)

異常の発生原因と各異常時の動作については、P. 3-57「異常時の動作」を参照してください。

異常ログ		
発生日時	カメラ	内容
12/ 2/15	11:31:00 9	ビデオロス発生
12/ 2/14	5:43:00 9	ビデオロス解除(映像復帰)
12/ 2/13	12:00:00 5	ビデオロス解除(設定無効)
12/ 2/12	9:30:00	ハードディスクエラーA
12/ 2/11	12:00:00 3	ビデオロス発生
12/ 2/10	7:02:00	BDエラー
12/ 2/ 9	12:00:00 1	ビデオロス発生
12/2/8	12:00:00	残量警告解除
12/2/8	11:00:00	残量警告開始
12/2/8	10:00:00	ハードディスクフル解除
12/2/8	9:00:00	ハードディスクフル
12/2/8	9:00:00	ファン異常
12/2/8	9:00:00 1	ビデオロス解除(解除操作)
12/ 2/ 7	09:00:00	コーデックエラー
//	:	
//	:	
//	:	
//	:	

項目	表示		説明		
発生日時	年/月/日/時間		異常が発生した日時を表示します。		
カメラ	16局 9局		異常が発生したカメラ番号を表示します。		
	1~16	1~9	カメラ番号はビデオロスのみ表示されます。		
内容	ビデオロス発生// 像復帰、設定無効、 ドディスクエラ・ ディスクフル/ハ・ 除/ファン異常/ 警告解除/ BD エ ラー * ²	ビデオロス解除(映 −○○ *1 /ハード − ドディスクフル解 浅量警告開始/残量 ラー/コーデックエ	発生した異常内容を表示します。		

*1 ハードディスクエラーが発生したときは、ハードディスクエラーの末尾に対象のディスク番号が表示されます。 A :内蔵プライマリ

B :内蔵セカンダリ

C0~C3、D4~D7:ハードディスク増設ユニット1

E0~E3、F4~F7:ハードディスク増設ユニット2

*2 コーデックエラーは、デバイスでエラーが発生した場合に表示します。 一過性のエラーで機器の異常ではありません。そのまま継続してご使用ください。

■ システムログ

「ログ表示/出力」→「システムログ」

電源 ON、ログイン、ログアウト、ハードディスク初期化など の開始時刻を記録し、最新情報から表示します。最大 100 件分 まで保存し、古いログから順に削除されます。

操作方法は前ページの「録画ログ」と同様です。(P. 4-35「録 画ログ」)

システムロク			
発生日時		内容	
12/ 2/15	12:00:00	主電源ON ▲	
12/ 2/14	11:00:00	電源キーON	
12/ 2/13	12:00:00	主雷源ON	
12/ 2/12	14:00:00	ログアウト	
12/ 2/12	13:00:00	ログイン (操作レベル1)	
12/ 2/12	12:00:00		
12/ 2/12	12.00.00	主电線UN	
12/ 2/11	12:00:00	王電源ON	
12/ 2/10	9:00:00	電源キーON	
12/2/9	12:00:00	主電源ON	
//	:		
//	:		
//	:		
//			
///			
//			
/,/,	:-:		
/			
//	:		
//	:		

項目	表示	説明
発生日時	年/月/日/時間	システム操作を行った日時を表示します。
内容	主電源 ON /電源キー ON /ハードディス ク初期化/ログアウト/ログイン(操作レ ベル1/操作レベル2/操作レベル3)/ UPS シャットダウン	発生したシステム操作内容を表示します。



現在時刻の設定や調時設定ができます。 画面下には調時成功時刻が表示されます。

調時成功時刻

NTP サーバーや接点端子による調時が成功した場合、調時された時刻を表示します。失敗した場合は、時刻表示は更新されません。 本機を起動した場合、調時動作設定が「マスター」の場合、または一度も調時が行われていない場合は、「----年--月 --日--時--分--秒」と表示されます。

時刻設定							
時刻設定 時調動作 調時時刻 調時出力	20 スレー 0時 1秒	12年 -ブ	1月	1日	0時	0分	0 秒
調時成功時刻	2 0	11年	12月	31日	0時	0分	0秒

ご注意

現在時刻を変更して録画データに同一時刻が重複する場合や長時間間違った時刻で録画されたあとに現在時 刻に変更した場合には、再生、日時検索、コピー、Web ブラウザーのバックアップが正しくできないことが あります。

項目	選択	説明
時刻設定	2000年1月1日0時0分0秒~ 2099年12月31日23時59分59秒	年、月、日、時、分、秒を設定します。
調時動作	マスター/ <u>スレーブ</u> / NTP	マスター:調時時刻になると、調時出力端子から調時出力 信号が出力されます。また、同時に通信方式 がタイプBで動作するコンビネーションカメラ に対して調時を行います。(P.2-9「調時入出力 端子の接続」)
		スレーブ:調時入力端子に信号が入ると、正時に調時を行 います。調時出力端子から調時出力信号が出 力されます。また、調時入力から1分後に通 信方式がタイプBで動作するコンビネーション カメラに対して調時を行います。(P.2-9「調時 入出力端子の接続」)
		NTP : NTP サーバーに接続して調時を行います。 調時時刻になると、調時出力端子から調時出力 されます。また、同時に通信方式がタイプ B で動作するコンビネーションカメラに対して調 時を行います。(P. 2-6「NTP サーバーから時刻 を取得する」)
調時時刻	0時~23時/正時	調時動作設定がマスターまたは NTP のとき、調時出力する 時刻を設定します。正時の場合は、毎正時に出力します。
調時出力	1秒/5秒	調時出力する時間を設定します。1 局デジタルレコーダーを 使用する場合は、5 秒に設定してください。

※下線部は、工場出荷時の設定です。



本機の初期化(ハードディスク、設定、ログ)や外部から設定の 読み書き、USB キーの登録と削除などを行います。

大行 天灾行 天灾行 天灾行 天灾行 天灾行
未使用 未使用
10日 36000秒

項目	項目	│説明
ハードディスク初期化		設定については、P.4-40「ハードディスクの初期化」を参照してください。
ハードディスク稼働時間		ハードディスクの稼働時間を表示します。P. 4-41「ハードディスク の稼働時間」を参照してください。
設定初期化	実行	設定内容を初期化します。ただし、セキュリティ(すべての項目)、ディ スクモードの設定、現在時刻、調時成功時刻、ハードディスク稼働 時間、ログの情報は変わりません。*1
ログ初期化	実行	ログを初期化します。
設定外部出力	実行	コピー端子に接続された USB メモリーに本機の設定データを書き込みます。ただし、セキュリティ(すべての項目)、再生ディスク、ディスクモードの設定、現在時刻、調時成功時刻、ハードディスク稼働時間、ログの情報は変わりません。*2 *3
設定外部入力	実行	コピー端子に接続された USB メモリーから本機の設定データを読み 込みます。ただし、セキュリティ(すべての項目)、再生ディスク、ディ スクモードの設定、現在時刻、調時成功時刻、ハードディスク稼働 時間、ログの情報は変わりません。*1 *2 *4
USB キー登録	実行	キーロック端子に接続されている USB メモリーを USB キーとして 登録します。設定については、P. 3-52「USB キーによるセキュリティ 設定」を参照してください。
USB キーデータ削除	実行	本機に登録されている USB キーのデータを削除します。 設定については、P. 3-52「USB キーによるセキュリティ設定」を 参照してください。
増設ユニット1	<u>未使用</u> / DA1 / DA2	増設ユニット接続端子1の接続を設定します。(P.3-6「ハードディ スク増設ユニットを設定する」)*1
		 未使用 :ハードディスク増設ユニットを接続していないとき DA1 :C-DA1000-1(生産完了品)、C-DA1010-2を接続するとき DA2 :C-DA1000-2(生産完了品)、C-DA1010-4を接続するとき
増設ユニット2	<u>未使用</u> / DA1 / DA2	増設ユニット接続端子2の接続を設定します。(P.3-6「ハードディ スク増設ユニットを設定する」)*1
		 未使用 :ハードディスク増設ユニットを接続していないとき DA1 :C-DA1000-1(生産完了品)、C-DA1010-2を接続するとき DA2 :C-DA1000-2(生産完了品)、C-DA1010-4を接続するとき
自動消去	<u>なし</u> /1~200日	録画データを消去する日を設定します。 なし :自動消去しません。 1 ~ 200日 :録画してから設定した日数を経過したデータは自動消 去します。
電源異常待機時間	1 ~ <u>60</u> ~ 36000 秒	無停電電源装置 (UPS) からの信号でシャットダウン動作を行う場合、 設定した時間が経過したあとにシャットダウン状態になります。

※ 下線部は、工場出荷時の設定です。

- *1 増設ユニット1や増設ユニット2の設定が変更されたときは、設定保存後に再起動の確認メッセージが表示されます。メッセージに従い、本機を再起動してください。
- *² 設定の書き込みを行うと、USB メモリーに以下のファイル名で保存されます。
 - 16 局:PARAM16.DAT
 - 9局:PARAM09.DAT

ファイル名を変更すると設定の読み込みができません。ファイル名は変更しないでください。 USBメモリーは、マスストレージクラス(Windows XP / Vista / 7 で「USB 大容量記憶装置デバイス」 と認識されるもの)が使用できます。FAT16 / FAT32 でフォーマットされた USB1.1 / USB2.0 の USB メモリーに対応しています。

*3 設定外部出力中に USB メモリーを抜くと、USB メモリーを認識できなくなることがあります。

^{*⁴} 設定外部入力中に USB メモリーを抜くと、本機のシステムに異常が発生することがあります。

■ ハードディスクの初期化

「機器メンテナンス」→「ハードディスク初期化」

ハードディスクの初期化をします。 ディスクモード設定(長時間/ミラー)を選択できます。 (P. 3-7「ハードディスクを初期化する」)

- ハードディスクを初期化すると、録画されていた映像は消去 されますので、必要なデータがある場合は、DVD-R/BD-Rや USBメモリーにコピーしたあとで初期化してください。
- 工場出荷時は「長時間」に設定されています。「長時間」で 使用する場合は、ディスクモードを変更する必要はありません。ただし、本体の電源を入れると自動で録画を開始するので、ハードディスクを初期化することをお勧めします。

ハードディスク初期化				
ディスクモート 実行	× 長時間 実行			
H D D – A	1000GB	H D D – B	1 0 0 0 G B	
H D D – C 0 H D D – C 2 H D D – D 4 H D D – D 6		H D D – C 1 H D D – C 3 H D D – D 5 H D D – D 7		
H D D – E 0 H D D – E 2 H D D – F 4 H D D – F 6		H D D – E 1 H D D – E 3 H D D – F 5 H D D – F 7		
ВD	ВD			

ディスクモードを「ミラー」に変更した場合は、緊急録画設定、自動録画設定、プリ録画設定のいずれかの総録画レートが最高録画レートを超えると、超えている録画設定のすべてのカメラの録画レートを初期化します。

メモ

- 録画レートが「ー(録画しない)」の場合は、初期化しません。
- 初期化したあとの録画レートは以下のとおりです。解像度によって異なります。
 - [緊急録画設定、自動録画設定の場合]
 D1 (704 × 480) : 2 ips
 HD1 (704 × 240) : 4 ips
 CIF (352 × 240) : 8 ips
 - [プリ録画設定の場合] 最高録画レートを超えない 4 ips 以下の最大の録画レートに初期化されます。
- ●本機にハードディスク増設ユニットを初めて接続した場合は、ハードディスクの初期化が必要です。

項目	選択	説明
ディスクモード	<u>長時間</u> / ミラー	 長時間:1台目のハードディスクへの録画が終了すると、2台目のハードディスクに録画します。 ミラー:2台のハードディスクに同じ映像を同時に録画します。 内蔵のハードディスクおよびハードディスク増設ユニットでミラーリング録画を行います。

|メ モ│接続されていないハードディスクは、「---」が表示されます。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

■ ハードディスクの稼働時間

「機器メンテナンス」→「ハードディスク稼働時間」

ハードディスクの稼働時間を表示します。

ハードディスクの交換時期の目安にしてください。

メモ

接続されていないハードディスクは、「---」が表示されます。

ご注意

● ハードディスク増設ユニットの稼働時間は、本機との接続時間をもとに自動で算出されます。

 ●本機にハードディスク増設ユニットを初めて接続してハード ディスクの初期化を行うと、稼働時間は0時間になります。

ハードディス	7稼働時間		
H D D – A	1402時間	H D D – B	600時間
H D D - C 0 H D D - C 2 H D D - D 4 H D D - D 6	3 1 6 0 0 時間 1 6 5 2 時間 	H D D – C 1 H D D – C 3 H D D – D 5 H D D – D 7	3 1 2 6 0 時間 3 2 6 0 時間
H D D – E 0 H D D – E 2 H D D – F 4 H D D – F 6	3600時間 2600時間 11400時間 1600時間	H D D – E 1 H D D – E 3 H D D – F 5 H D D – F 7	1 1 6 0 時間 6 3 6 0 時間 3 7 6 0 時間 2 1 6 0 時間

サブメニューの設定

ライブモードまたは再生モードからサブメニュー画面を表示して、各設定を行います。



1 メニューキーを押す。

サブメニュー画面が表示されます。

メモ

- 再生中にサブメニュー画面を表示すると、再生を一時停止します。
- リモートコントローラー (C-RM1000)を使ってサブメニュー画面を表示する場合は、リモートコント ローラーの DVR メニューキーを 2 秒以上押してメインメニュー画面を表示させたあと、再度 DVR メ ニューキーを 2 秒以上押します。キーを 2 秒以上押すごとに、メインメニュー画面とサブメニュー画 面が切り換わります。

ご注意

ズームモードやズーム中(ズームキー点灯中)、またはモニター2を選択しているとき(モニターキー点 灯中)は、サブメニュー画面が表示されません。

2 ▲、 ▲ キーでカーソルを設定したい項目に移動する。 画像コピー画面を表示するには、画像コピーを選択しメニューキーを押します。 ご注意 コピー中は、画像コピー画面が表示されません。

3 設定値の選択や変更をする。

(+)、(-)キーで設定値を変更します。
 画像コピー画面表示中は、▲、▲、▲、▲、● キーで設定値にカーソルを移動できます。

4 🖪 キーでカーソルを画面の左端の選択位置に移動し、 🗐 キーを押す。

設定が保存され、サブメニュー画面が終了します。

項目	選択	説明
音声出力	<u>CH1</u> ~ CH4	音声出力するチャンネルを選択します。起動時の設定値は、システム設定の音 声出力起動時設定で設定します。(P. 4-29「システム設定」)
デインターレーシング	OFF / ON	デインターレース機能を選択します。起動時の設定値は、画面表示設定のデ インターレーシング起動時設定で設定します。(P.4-21「画面表示設定」) OFF :使用しません。 ON :使用します。
画像コピー		設定については、P. 3-36「コピー」を参照してください。

※下線部は、工場出荷時の設定です。

4-42 ^{取扱説明書}

第5章

Web 機能

Web サーバー機能

■ 機能について

本機は Web サーバー機能を持っています。

本機とPCをLANケーブルで接続し、Webブラウザーを使用して遠隔監視や録画映像の検索、再生ができます。 PCから以下の内容が操作できます。

- 最大3台の PC からの同時操作
- ライブ映像と音声の監視
- コンビネーションカメラのカメラコントロール
- 録画した映像の検索
- 録画した映像と音声の再生
- 録画した映像と音声のバックアップ
- ●本機前面のキー操作と同等の操作
- メインメニュー設定の参照および変更
- Web 発報 LED の通知確認

ご注意

PC のスクリーンセーバーや電源プランの設定で省電力などを利用すると、正しく動作しないことがあります。
■ 初めて Web ブラウザーに接続するときのご注意

ライブ配信、再生配信、およびリモートコントロール画面を表示するためには、本機からソフトウェア(ActiveX プラグイン)のインストールが必要です。

ソフトウェアのインストールを行うときは、PC にログインするときに管理者 (Administrator)権限を持つユー ザーアカウントを使用してください。

また、ソフトウェアをインストールする前にソフトウェア使用許諾契約書を必ずお読みください。(P. 14「ソ フトウェア使用許諾契約書」)

● ソフトウェアをインストールする

- **1** PC のブラウザーを立ち上げ、本機にログインする。(P. 5-5「ログインのしかた」) トップページが表示されます。(P. 5-6「トップページ」)
- **2** ライブ配信、再生配信、またはリモートコントロールを選択する。 ソフトウェアをインストールする情報バーが表示されます。



メモ

画面は Internet Explorer 9 の表示画面です。Internet Explorer 8 は、画面上部に情報バーが表示されます。 情報バーをクリックし、「このコンピュータ上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする(A)…」 をクリックしてください。

3 「インストール」をクリックし、メッセージに従い実行する。 インストールが完了すると、手順2で選択した画面が表示されます。

メーモ|

- 別の画面を選択すると、ソフトウェアのアドオンを実行する情報バーが表示されます。 メッセージに従い実行してください。
- PC にログインするユーザーアカウントを変更した場合や本機とは別のデジタルレコーダー (C-DR096 シ リーズ、C-DR166 シリーズ)に接続してライブ配信、再生配信、またはリモートコントロールを初めて選 択した場合などは、それぞれにソフトウェアのアドオンの実行が必要です。
- ソフトウェアをインストールしたあとに PC にログインするときは、標準ユーザー権限を持つユーザーア カウントが使用できます。

^{取扱説明書} 5-3

■ Windows Vista、Windows 7 を使用するときのご注意

Windows Vista、Windows 7 を使用して、再生配信からバックアップを実行するとき、ブラウザーの保護モード機能によって、正常にバックアップできないことがあります。バックアップ機能を使用するときは、ブラウザーを起動するときに「管理者として実行」で開き、保護モードが無効の状態で行ってください。

メモ

- Windows Vista、Windows 7 は、ブラウザーの保護モードの機能を持っています。
- ●保護モードは、コンピューターへの悪意のあるソフトウェアのインストールをより困難にする機能です。 インターネット、イントラネット、および制限付きサイトゾーンの保護モードは、既定では有効になって います。
- Windows XP には保護モードの機能はありません。

● ブラウザーを「管理者として実行」する方法

ブラウザーのメニューから「管理者として実行」を選択する。

[Windows Vista の場合]

ブラウザーのアイコンを右クリックして、「管理者として実行」を選択します。

[Windows 7 の場合]

タスクバー内のブラウザーのアイコンを右クリックし、表示されたプルアップメニュー内の「Internet Explorer」を右クリックして「管理者として実行」を選択します。

- ●「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されるので、管理者ユーザーでログインしている場合は [は い]を、標準ユーザーでログインしている場合は、管理者ユーザーのパスワードを入力後 [はい]を選択 してください。
- ●ブラウザーは、保護モードが無効状態で起動します。

メーモ Internet Explorer 8 では"ステータスバー"に保護モードの状態が表示されます。

■ ログインのしかた

アカウントには、管理者アカウントとユーザーアカウントの2種類があります。管理者アカウントは、すべての操作ができます。ユーザーアカウントは、ライブ映像と音声の監視、Web 発報 LED の通知確認、カメラコントロールの操作(カメラメニュー設定とプリセット記憶を除く)ができます。

1 PC のブラウザーを立ち上げる。

ご注意

- 1 台の PC から立ち上げるブラウザーは、1 つにしてください。複数立ち上げると正しく操作できないこ とがあります。
- Internet Explorer (64 bit 版)は使用できません。
- 2 本機のネットワーク設定の IP アドレスをブラウザーのアドレスに入力する。(P. 4-25「ネット ワーク設定」)

認証画面が表示されます。認証画面内には、本機の管理番号(メンテナンス用)が表示されます。

3 アカウント名とパスワードの入力をする。 工場出荷時は、パスワードは設定されていません。 管理者アカウント名 : root ユーザーアカウント名: user

認証	
アカウント名	root
バスワード	
	ログイン

メ モ WEB 管理者パスワード、WEB ユーザーパスワードを設定することをお勧めします。(P. 4-26 「WEB 管理者パスワード設定」)

ご注意 アカウント名の変更や追加はできません。

4 [ログイン]をクリックする。

トップページが表示されます。

ご注意

- 間違ったアカウント名やパスワードを入力すると、認証画面に戻ります。
- ●ネットワーク接続が切断された場合、本機の電源が切れた場合、またはスタンバイ時には認証画面に 戻ります。しばらく待ってから再度ログインしなおしてください。

● アクセス禁止の場合

最大接続台数は3台です。ユーザーアカウントで3台まで接続できます。管理者アカウントは1台しか接続 できません。管理者アカウントを1台接続している場合には、ユーザーアカウントは2台まで接続できます。 最大接続台数を超えて接続したときは、以下の画面が表示され、ログインすることができません。 また、管理者アカウントを1台接続している場合は、2台目のPCから管理者アカウントでログインするとき にも同じ画面が表示されます。

> 現在最大接続人数に達しているため ブラウザからの操作ができません。

時間を空けて、もう一度アクセスしてください。

OK

「OK」を押すと認証画面に戻ります。



認証に成功すると、トップページが表示されます。

各項目をクリックすると各項目の画面に切り換わります。ログアウトをクリックすると認証画面に戻ります。 操作が終わったときは、必ずログアウトしてください。

[管理者アカウントの場合]



[ユーザーアカウントの場合]



ご注意

- ログアウトする場合は、必ず「ログアウト」をクリックして終了させてください。
- ほかのページに切り換えたときに「ページが表示されません」というメッセージが出た場合は、数秒待ってからブラウザーの更新ボタンを押してください。

/ メニュー画面

デジタルレコーダーの設定内容の参照や変更をするときに使用します。管理者アカウントのトップページで 「メニュー」を選択すると、本機のメインメニューにアクセスできます。メインメニューの設定項目をクリッ クすると、設定内容が画面の右側に表示されます。(P. 4-5「メインメニューの設定」)

■ メニュー画面の設定

P http://102.168.14.1/monu.coi		
コマイル(E) 編集(E) 事子(A) かなに3 (A) パー		
ファイル(r) 禍未(r) &((*) のスルにハワ(h) フー	トップページ ライブ配信 再生配信	<u>ログアウト</u>
メインメニュー (周) (四) 参加部定 ・ 新進部定 ・ 新進の部定 ・ 新進の部定 ・ 自動映画設定 ・ 自動映画設定 ・ 自動映画設定 ・ 回面表示超定 ・ 立てきる設定 ・ 立てきる設定 ・ シーケンス設定 ・ クリット設定 ・ ログ表示 ・ 日本の一 ・ ・ ジェーク ・ ・ ジェーク ・ ・ ・ ドネスクな解映時 ・ Note ディスクな影響時	錢画設定 上書ぎ 許可 ▼ 設定	

Web ブラウザーのメニュー画面では、以下の設定項目の参照や設定ができません。 以下の機能は、デジタルレコーダーで操作してください。

- USB キー登録
- USB キーデータ削除
- ディスクモード
- ハードディスク初期化
- 設定初期化
- ログ初期化
- 設定外部出力
- 設定外部入力
- モーション設定
- 増設ユニット1
- 増設ユニット2
- メールテスト送信
- ログー括出力

ご注意

- ●本機でコピーをしているときやライブモード以外の画面を表示しているときは、Web ブラウザーのメニュー 画面から設定の変更はできません。
- Web ブラウザーのメニュー画面から設定を変更するとすぐに本機に反映されます。ただし、ネットワーク 設定の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、WEB サーバーポートを変更した場合は、 本機にログインしているすべての PC がログアウト後に反映されます。

■ Web 発報設定

Web ブラウザーのメニュー画面の Web 発報設定で行います。

本機に接続された PC に対して、アラームイベント録画、緊急録画、機器異常、システム操作のイベントが 発生した場合に発報する条件を設定します。

ご注意

Web 発報設定は本機のメインメニュー画面では設定できません。Web ブラウザーのメニュー画面だけで設定できます。



|メ −モ| 16 局用の Web 発報設定画面です。9 局用の表示はカメラ 1 ~ 9 までになります。

項目	選択	説明
カメラ 1 ~ 16 (1 ~ 9)	する/ <u>しない</u>	する : 設定したカメラのアラームイベント録画が開始されると発報します。 しない:設定したカメラのアラームイベント録画が開始されても発報しません。
緊急録画	する/ <u>しない</u>	する : 緊急録画が開始されると発報します。 しない : 緊急録画が開始されても発報しません。
機器異常	する/ <u>しない</u>	する : 異常ログが追加されると発報します。 しない: 異常ログが追加されても発報しません。 「する」に設定した場合、以下のログが発生すると発報します。 ビデオロス発生、ビデオロス解除(映像復帰、設定無効、解除操作)、残量警告開始、 残量警告解除、ハードディスクエラー、BD エラー、ハードディスクフル、ハードディ スクフル解除、ファン異常
システム操作	する/ <u>しない</u>	する : システムログが追加されると発報します。 しない : システムログが追加されても発報しません。 「する」に設定した場合、以下のログが発生すると発報します。 主電源 ON、電源キー ON、ハードディスク初期化、ログイン(操作レベル 1、2、3)、 ログアウト、UPS シャットダウン

※下線部は、工場出荷時の設定です。

/ ライブ配信

ライブ映像と音声の監視、コンビネーションカメラのカメラコントロールができます。



メモーユーザーアカウントの場合、カメラメニューとプリセット記憶ボタンは表示されません。

ご注意

下記の場合には、更新レートが遅くなり、音声が途切れることがあります。

- ネットワークの通信速度が遅いとき
- ●本機が録画中、再生中またはコピー中のとき

① 映像表示 : ライブ映像とカメラ番号が表示されます。

初期画面では16局は16分割、9局は9分割画面で表示されます。多画面表示のときは、カメラ映像を任意に配置することができます。

[カメラの配置設定をする]

多画面表示のとき、配置変更したいカメラ映像表示部で右クリックすると、ポッ プアップメニューが表示されます。次にポップアップメニューでカメラ1~16(9 局用は1~9)をクリックすると選択したカメラ映像が表示されます。

```
メモ
```

配置設定は画面ごとに保存されます。次回ログイン時にも保存したカメラの配置 で表示されます。

ご注意

● 同じカメラを複数選択することはできません。

●1 画面表示のときは選択できません。

 ② 画面切換
 : 1 画面表示、多画面表示を切り換えます。
 フルスクリーンボタン : をクリックすると、表示している映像を全画面で表示します。全画面表示中は、ほかの操作を受け付けません。
 PC の ESC キーを押す、または画面をクリックすると全画面表示を解除します。
 メ モ カメラ 10 ~ 16、4 分割 D、9 分割 B、16 分割ボタンは、9 局用では表示されません。

 ③ デインターレーシング: ON / OFF を設定します。ネットワーク設定でライブ配信解像度を D1 (704 × 480)に設定すると、動きのある映像に"くし状"のノイズ(インターレースノイズ)が発生する場合があります。「ON」にするとデインターレーシング機能を使用し、このノイズを除去します。
 メ モ TOA 製プログレッシブカメラは、インターレースノイズが発生しないため、ディンターレーシング機能を使用する必要はありません。

(4) 音声切換 :音声出力するチャンネルを切り換えます。

⑤ 音量
 : 音声出力する音量をスライダーバーで調整します。右端が最大音量になります。
 スピーカーボタン
 ▲ スピーカーボタン
 ● を押すごとに消音中
 ● 、出力中
 ● と表示が切り換わります。

メ モ 最大音量は PC の設定音量になります。

(6) カメラコントロール :本機に接続されているコンビネーションカメラのコントロールができます。コン ビネーションカメラが接続されたカメラを1画面表示したときにコントロール できます。多画面表示やコントロールできないカメラを1画面表示したときは、 カメラコントロールの操作部がすべてグレー表示になり操作できません。

[パン・チルト]

カメラのパン・チルト制御を行います。

▲、▶、▲、▼ を押すと、押した方向にカメラの向きが移動します。移動するスピードを変える場合は、ドロップダウンリストボックス 10
 (1 (高速) ~ 16 (低速))から選択し、変更することができます。

コンビネーションカメラのメニュー操作時は、ボタンを押した方向にカーソルが移動します。

[ズーム]

カメラのズーム制御を行います。

▲ を押すと、映像を望遠で表示します。▼ を押すと、映像を広角で表示します。スピードを変える 場合は、ドロップダウンリストボックス (低速) ・ (1 (高速) ~ 4 (低速))から選択し、変更することが できます。

[フォーカス]

カメラのフォーカス制御を行います。

▲ を押すと、近距離にフォーカスが移動します。▼ を押すと、遠距離にフォーカスが移動します。ス ピードを変える場合は、ドロップダウンリストボックス 4(低速) ・ (1 (高速) ~ 4 (低速))から選択し、 変更することができます。

オートフォーカス ォート を押すと、オートフォーカスが働きます。

[ワイパー]

リモートコントローラー (C-RM700)経由でワイパー機能付きのミカミ PTC 通信制御カメラが接続され ているときに ______ を押すと、ワイパーを動作させることができます。

メモ

通信方式がタイプBで動作するコンビネーションカメラを接続しているときにボタンを押すと「ツアー 16」の動作を実行します。

5-10 ^{取扱説明書}

[プリセット]

ドロップダウンリストボックス 1 ▼ からポジション番号を選択します。

記憶:現在のカメラ位置がポジション番号に設定されます。

^{移動} :設定されている位置にカメラが移動します。

ご注意

- ●記憶されていないプリセット番号を選択したときは、「移動」を押しても移動しません。プリセット番号は最大 255 ポジションの記憶ができます。
- プリセット番号の記憶は、管理者アカウントでのみ設定ができます。

[オート動作]

- オーパン :コンビネーションカメラをオートパンで動作させます。
- シーケンス :コンビネーションカメラをプリセットシーケンスで動作させます。
- (^{停止} :オートパン、プリセットシーケンスを停止します。

[カメラメニュー]

コンビネーションカメラのメニュー操作を行います。

詳しくは、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。

カーソルの移動は、パン・チルト部のボタンで行います。押した方向にカーソルが移動します。

わ:カメラメニューに入ります。

- オフ :カメラメニューから抜けます。
- セット :カメラメニュー項目の決定をします。
- ワリア :カメラメニュー項目のクリアをします。
- ★ジション選択 : カメラメニューのポジション番号を決定します。 プリセット部のドロップダウンリストボックス 1 ・ でポジション番号を選択し、ボタン ★ジション運択 を押すとポジション番号が表示されます。

ご注意

- ●カメラメニューは、管理者アカウントでのみ操作ができます。
- 異なるカメラプロトコルのコンビネーションカメラを同時に接続すると、正常に動作しません。
- ⑦ Web 発報
 : アラームイベント録画、緊急録画、機器異常、システム操作のイベントが本機で発生した場合に発報 LED が点灯 10 します。
 (ア)ア を押すと発報 LED は消灯 00 します。(P. 5-8 [Web 発報設定])

再生配信

再生配信をクリックすると、バックアップ実行時の注意画面が表示されます。注意画面の内容を確認したう えで「OK」をクリックすると再生映像が表示されます。(P. 5-4「Windows Vista、Windows 7 を使用すると きのご注意」)



メモ

メッセージは Windows XP 使用時でも表示されます。また、保護モードの状態にかかわらず表示されます。

録画した映像と音声の再生、検索およびバックアップができます。管理者アカウントでのみ操作ができます。



 映像表示
 : 再生映像とカメラ番号が表示されます。初期画面では 16 局は 16 分割、9 局は 9 分割で表示されます。また、画面右下には再生映像の日時が表示されます。
 多画面表示のときは、カメラ映像を任意に配置することができます。

[カメラの配置設定をする]

多画面表示のとき、配置変更したいカメラ映像表示部で右クリックすると、ポッ プアップメニューが表示されます。次に、ポップアップメニューでカメラ1~ 16 (9 局用は1~9)をクリックすると、選択したカメラ映像が表示されます。

メモ

配置設定は画面ごとに保存されます。次回ログイン時にも保存したカメラの配置 で表示されます。

ご注意

● 同じカメラを複数選択することはできません。

●1 画面表示のときは選択できません。

 ② 画面切換
 : 1 画面表示、多画面表示を切り換えます。
 フルスクリーンボタン :: をクリックすると、表示している映像を全画面で表示します。全画面表示中は、ほかの操作を受け付けません。PCのESCキーを 押す、または、画面をクリックすると全画面表示を解除します。

メモ

カメラ 10 ~ 16、4 分割 D、9 分割 B および 16 分割ボタンは、9 局用では表示 されません。

③ デインターレーシング: ON / OFF を設定します。解像度が D1 (704 × 480)で録画されたデータを再生 すると、動きのある映像に"くし状"のノイズ(インターレースノイズ)が発生す る場合があります。「ON」にするとデインターレーシング機能を使用し、このノ イズを除去します。

メ モ
 TOA 製プログレッシブカメラは、インターレースノイズが発生しないため、デ
 インターレーシング機能を使用する必要はありません。

- ④ 音声切換
 : 音声出力するチャンネルを切り換えます。
 再生中のみ出力されます。再生速度を変更したときや逆再生中は出力されません。
 「メーモ」音声が録音されていないチャンネルは選択できません。
- ⑤ 音量
 : 音声出力する音量をスライダーバーで調整します。右端が最大音量になります。
 スピーカーボタン を押すごとに消音中 、出力中 と表示が切り換わります。

メ モ 最大音量は PC の設定音量になります。

⑥ 再生制御
 :一時停止、再生、再生×2、再生×4、再生×8、逆再生、逆再生×2、逆再生×4、英再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、逆再生×8、



- (A) 早戻し再生をします。押すごとに逆再生速度が2倍(×2)、4倍(×4)、8倍
 (×8)、1分飛ばし(×1分)、10分飛ばし(×10分)と変化します。
- (B) 逆再生します。
- (C)再生します。
- (D) 早送り再生をします。押すごとに再生速度が2倍(×2)、4倍(×4)、8倍(×8)、
 1分飛ばし(×1分)、10分飛ばし(×10分)と変化します。
- (E) 録画された最古の時刻の映像を表示します。

- (F) コマ戻し再生をします。
- (G) 再生を一時停止します。
- (H) コマ送り再生をします。
- (I) 録画された最新の時刻の映像を表示します。
- (J) 再生状態を表示します。
- (K) 再生一時停止中の1 画面、多画面映像を印刷します。印刷される内容は、表示画面映像(カメラ番号含む)、再生日時、DVR 名、カメラ名です。
 - メモ

再生、逆再生で録画データの最新または最古に達した場合、最終映像で一時停止 します。

ご注意

- Web ブラウザーでバックアップしているときは再生できません。
- ●再生と逆再生は録画されたデータをすべて再生しますが、早送り再生と早戻し 再生は、再生速度にあわせてスキップします。
- ●下記の場合は、再生速度が遅くなり、音声が途切れることがあります。
 - ・ネットワークの通信速度が遅いとき
 - ・再生データの録画レートや録画画質が高いとき
 - ・本機が録画中、再生中またはコピー中のとき
- ⑦ 検索、バックアップ : 日時検索、イベント検索、バックアップの選択、操作を行います。
 (P. 5-14「日時検索」、P. 5-16「イベント検索」、P. 5-17「バックアップ」)
- ⑧ Web 発報
 : アラームイベント録画、緊急録画、機器異常、システム操作のイベントが本機で発生した場合に発報 LED が点灯 10 します。
 (P. 5-8 「Web 発報設定」)

■ 日時検索

本機に録画されているデータを日時検索します。



(1) 録画されている最古映像の時間から最新映像の時間を表示します。

ご注意

検索範囲の時刻表示は更新されません。時刻を更新する場合は、ブラウザーの更新ボタンを押すか、別の画面を表示させたあとで日時検索画面を表示させてください。

5-14 ^{取扱説明書}

- ② 検索日時を指定します。年/月/日、時:分:秒をマウスで選択し、 で変更します。 選択した部分の数字を直接キーボードで入力することもできます。
- ③ 検索 を押すと検索を開始し、指定した日時以降の一番近い映像を表示します。
 該当する録画データがない場合は、以下のメッセージを表示します。
 指定された条件に該当するデータがありません。

ご注意

- ●現在時刻を変更して録画データに同一時刻が重複する場合や長時間間違った時刻で録画されたあとに現在 時刻を変更した場合には、日時検索が正しくできないことがあります。
- 上書許可で録画中の場合、日時検索画面を表示して3分以上経過すると、録画された映像が上書きされる ため、最古時間付近の検索、表示ができなくなります。検索範囲の表示時刻を参考にしてください。
- 指定した時刻に録画データが存在する場合でも、指定した時刻に対して最大1秒前後ずれた映像を表示することがあります。

■ イベント検索

本機に録画されているデータを指定した条件でイベント検索します。

日時検索「イベント検索	: /ï»!	רידל		<u>_</u>
日時	カメラ	イベント	•	
2012/09/07 21:03:23	2	ノーマル		
2012/09/07 21:03:23	1	ノーマル		
2012/09/07 21:03:23	16	ノーマル	=	
2012/09/07 21:02:50	16	モーション		
2012/09/07 21:02:49	2	ノーマル		
2012/09/07 21:02:49	1	ノーマル		<u> </u>
2012/09/07 21:02:49	16	ノーマル		
2012/09/07 21:02:01	1	パラーム		
2012/09/07 21:01:51	2	ノーマル		
2012/09/07 21:01:51	10	ノーマル		
2012/09/07 21:01:01	10	ノーマル		
			1	1
開始 2012/09/07	-	12:00:00 🕂		
60 - 0040 (00 (07				
称了[2012/09/07	•	21:10:00		
イベント すべて	-			(2)
,				
לאל 1 2 3	4	5 6 7	8 9	<u> </u>
10 11 12	13	14 15 16	すべて	
	検索	ē		

- 検索範囲を指定します。年/月/日、時:分:秒をマウスで選択し、 で変更します。
 選択した部分の数字を直接キーボードで入力することもできます。
- ② 検索するイベントの種類を選択します。 イベント:緊急/ノーマル/アラーム/モーション/すべて
- ③ 検索するカメラ番号を選択します。
 カメラ:カメラ1~16(9局用は1~9)/すべて
- (4) 検索 を押すと検索を開始します。

メモ

検索中は <u>検索</u> が <u>キャンセル</u> に変わります。 キャンセル を押すと、その時点までに取得したイベントリ ストを表示します。

⑤ 指定した条件で検索が一致した場合、イベントリストを表示します。 イベントリストをマウスでダブルクリックすると映像を表示します。

イベントリスト表示の内容

日時 :録画開始日時を表示します。

- カメラ :カメラ番号を表示します。
- イベント:録画されたイベントの種類を表示します。

メモ

イベントリストが複数あり、画面内にすべて表示できない場合は、スクロールバーが表示されます。

ご注意

録画開始日時は実際にイベントが入った時刻から最大1秒前後することがあります。

■ バックアップ

本機に録画されているデータを PC のハードディスクにバックアップします。 保存したファイルはビューアーソフトで再生できます。

ご注意

- Windows Vista、Windows 7 を使用してバックアップ機能を使用する場合は、ブラウザーを起動するとき に「管理者として実行」で開き、保護モードが無効の状態で行ってください。(P. 5-4「Windows Vista、 Windows 7 を使用するときのご注意」)
- バックアップされたデータの時刻は、指定した時刻に対して最大2秒前後することがあります。
 開始時刻:指定時刻の2秒前~指定時刻
 終了時刻:指定時刻~指定時刻の2秒後

日時検索(イベント検索)バックアップ	I
開始 2012/09/07 💠 20:00:00 ÷ 再生中の日時	
終了 2012/09/07 📫 20:10:00 🗧 再生中の日時	
カメラ <u>すべて</u> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	2
音声ありなし	-3
保存先 [¥20120907210112_201209072	(4)
ไร้อย่างว่า	

- バックアップ範囲を指定します。年/月/日、時:分:秒をマウスで選択し、 で変更します。 選択した部分の数字を直接キーボードで入力することもできます。

 「再生中の日時」を押すと、画面に表示されている映像の再生日時が、開始または終了日時に設定されます。
- ②「カメラ1」~「カメラ16」と「すべて」からバックアップするカメラを選択します。(9局用は「カメ ラ1」~「カメラ9」、「すべて」から選択できます。)
- 3 音声を選択します。

④ バックアップデータの保存先を指定します。
 保存先ボタン
 保存先に指定したフォルダー、ファイル名が表示されます。

メモ

- ファイル名は任意で変更できます。
- ●ファイル保存画面で最初に表示されるファイル名には、日時、映像、音声情報が含まれています。
 - (例) $\frac{20120720120000}{(1)}$ $\frac{20120720131530}{(2)}$ $\frac{01}{(3)}$ $\frac{01}{(4)}$
 - (1) バックアップデータ開始日時(西暦年月日時分秒)を表します。 例は、2012 年 07 月 20 日 12 時 00 分 00 秒を表します。
 - (2) バックアップデータ終了日時(西暦年月日時分秒)を表します。 例は、2012 年 07 月 20 日 13 時 15 分 30 秒を表します。
 - (3)映像情報を表します。「00」の場合はすべて、それ以外は選択されたカメラ番号(01~16)。 例は、カメラ1を表します。
 - (4) 音声情報を表します。「on」の場合は音声あり、「off」の場合は音声なしです。 例は、音声ありを表します。
- ⑤ バックアップ を押すとバックアップを開始します。

バックアップ中は進捗バーを表示します。バックアップ中は再生操作を受け付けません。 バックアップ中は バックアップ が キャンセル に変わります。 キャンセル を押すと、バックアップを終了するこ とができます。

バックアップが完了すると、以下のメッセージを表示します。

バックアップを完了しました。

ご注意

- ●開始時刻から終了時刻まで連続的にデータが録画されていない場合は、バックアップできないことがあります。
- ●バックアップ実行中に再生配信画面から別の画面に切り換えた場合やブラウザー操作(進む、戻る、更新、ホームなど)を行った場合は、バックアップ動作は終了します。
- ●指定したカメラの録画データがない場合は、ビューアーソフトとデータファイルだけが保存されます。
 このときビューアーソフトでファイルを選択すると、以下のエラーメッセージが表示されます。
 指定した時間、カメラが正しく設定されているか確認してください。

指定されたファイルは再生可能なデータではありません。

● エラーメッセージについて

指定された条件に該当するデータがありません。

- 開始位置、終了位置の時刻を逆に入力した場合に表示されます。正しく設定してください。
- すべてのカメラの録画データがない時刻を設定した場合に表示されます。

保存先の空き容量が不足している可能性があります。バックアップを実行しますか?

バックアップ開始時に保存先の容量とバックアップするデータの容量を確認し、バックアップするデータ 容量が大きい場合に表示されます。バックアップの開始位置、終了位置の時刻やバックアップするカメラ を再設定する、または別の保存先に変更するなどしてください。 また、メッセージが表示されてもバックアップを実行することはできます。

バックアップに異常が発生しました。

- ●バックアップするデータの読み込みまたは保存に失敗した場合に表示されます。
- PC のアクセス制限で書き込みが禁止されているフォルダーを保存先に指定し、保存に失敗した場合に表示されます。書き込み可能なフォルダーを選択する、または新規フォルダーを作成して、作成したフォルダーを選択してください。
- 本機と Web ブラウザーによる接続ができなくなり、保存に失敗した場合に表示されます。
- ●保存先の容量いっぱいに書き込まれてバックアップが途中で終了した場合に表示されます。このとき、途中までバックアップしたデータは再生できます。

5-18 取扱説明書

● フォルダー構成とファイル名



- ビューアーソフト :バックアップ時にダウンロードされる専用のビューアーソフトです。
- データファイル : バックアップした映像データと音声データを1つのファイルとして保存します。 拡張子は ".264"です。保存先のフォーマット形式に関係なく、サイズが4GB を超えるとファイルは分割されます。
- ビューアーソフトによる再生

PC でバックアップデータを見る場合は、以下の手順で行ってください。

- **1** PC ドライブから保存先フォルダーを選択し、ダブルクリックする。
- 2 フォルダーの中のビューアーソフト(DRviewer.exe)を選択し、ダブルクリックする ビューアーソフトが起動します。
- **3** ビューアーソフトで再生したいファイルを選択し再生する。 ビューアーソフトについては、P. 3-45「ビューアーソフト」を参照してください。



リモートコントロールの画面から本機前面のキー操作と同様の操作ができます。管理者アカウントでのみ操 作できます。

リモート操作の長押しは、本機と同様にボタンを2秒以上押すと、長押しと同じ動作をします。 本機前面と同様に画面表示、録画、機器異常を表示する LED があり、10 秒ごとに更新します。

ご注意

最新逆再生、最古再生、コマ送り再生、コマ戻し再生は、Web ブラウザーのリモートコントロールからは操 作できません。



メモー本機は16局用の表示画面です。9局用のカメラチャンネル表示は1~9までになります。

第6章

補足



録画設定の解像度、画質、録音の設定条件でファイルサイズが異なります。

以下の表は、各設定条件での1フレームあたりの画像ファイルサイズを表します。 ※ ファイルサイズは、録画する映像によって変動することがあります。 ※ ファイルサイズは参考値です。保証するものではありません。 ※ 音声を録音する場合は、1チャンネルにつき音声ファイルサイズが8KB/sec 必要です。

[音声:なし]

単位:KB

解像度	CIF	HD1	D1
画質	(352×240)	(704×240)	(704×480)
画質1(最高)	12.5	25	50
画質 2	10.25	20.5	41
画質 3	8	16	32
画質 4	5.75	11.5	23
画質5(最低)	3.5	7	14

録画時間表

ファイルサイズー覧表を元に、録画できる時間を算出しています。

録画時間は以下の条件で算出しています。

- 各カメラの解像度、画質、録画レートをすべて同一にした場合
- ディスクモードを長時間モードに設定している場合

※録画時間は参考値です。録画時間を保証するものではありません。

- ※ 録画時間は、録画する映像によって変動することがあります。
- ※ 実際に録画するデータには、画像ファイルと音声ファイルに管理情報が付加されます。管理情報のサイズ は、解像度、録画レート、録音の設定条件によって異なります。
- ※ ディスクモードがミラーモードの場合は、録画時間は半分になります。
- ※以下の表の「-」欄は、カメラの録画レートの合計が、設定できる総録画レートを超えるものです。

第6章 補 足

● C-DR096D10 ハードディスク容量:1 TB、音声:なし、カメラ9台

単位:時間

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	而所			た	ッメラ1台の	の録画レー	۲ ۲		
	凹貝	8 ips	4 ips	2 ips	1 ips	1/2 ips	1/3 ips	1/5 ips	1/10 ips
	1(最高)	317	629	1247	2411	4823	7235	12058	24117
	2	376	745	1476	2894	5788	8682	14470	28941
(352×240)	3	492	977	1904	3617	7235	10852	18088	36176
(352 × 240)	4	651	1292	2494	4823	9647	14470	24117	48235
	5(最低)	1096	2128	4019	7235	14470	21705	36176	72352
	1(最高)	159	318	634	1247	2494	3742	6237	12474
	2	189	378	753	1476	2953	4429	7382	14765
$ HD1 \\ (704 \times 240)$	3	248	495	977	1904	3808	5712	9520	19040
(704 × 240)	4	330	657	1292	2494	4989	7484	12474	24949
	5(最低)	560	1113	2192	4256	8512	12768	21280	42560
	1(最高)	_	159	318	634	1269	1904	3173	6346
Di	2	-	189	378	753	1507	2261	3768	7536
D1	3	_	248	495	977	1955	2933	4888	9777
	4	_	330	657	1292	2584	3876	6460	12920
	5(最低)	_	560	1113	2192	4385	6577	10962	21925

● C-DR096D10 ハードディスク容量:1 TB、音声:あり(4系統)、カメラ9台

単位:時間

留色由	而后	カメラ1台の録画レート								
件1家皮	件修及 回 頁	8 ips	4 ips	2 ips	1 ips	1/2 ips	1/3 ips	1/5 ips	1/10 ips	
	1(最高)	305	585	1085	1871	3057	3946	5001	6309	
	2	360	648	1254	2149	3418	4256	5294	6537	
CIF (352 X 240)	3	464	875	1550	2523	3876	4823	5803	6912	
(332 × 240)	4	604	1118	1920	3057	4475	5294	6201	7187	
	5(最低)	969	1695	2713	3786	5294	6201	6912	7642	
	1(最高)	156	307	589	1085	1920	2615	3570	5036	
	2	185	362	691	1254	2181	2933	3918	5372	
HD1	3	241	467	875	1550	2615	3445	4503	5898	
(704 × 240)	4	317	609	1115	1920	3123	4019	5071	6365	
	5(最低)	525	982	1736	2818	4214	5047	5996	7047	
	1(最高)	_	156	307	589	1101	1550	2299	3623	
D.	2	_	185	362	691	1286	1779	2596	3982	
D1	3	_	241	467	875	1584	2192	3109	4531	
(104 / 400)	4	_	317	609	1118	1973	2679	3678	5107	
	5(最低)	_	525	982	1736	2874	3678	4739	6097	

● C-DR096D20 ハードディスク容量:2TB、音声:なし、カメラ9台

単位:時間

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	面質		カメラ1台の録画レート								
丹+1家/文	回見	8 ips	4 ips	2 ips	1 ips	1/2 ips	1/3 ips	1/5 ips	1/10 ips		
	1(最高)	634	1258	2494	4823	9647	14470	24117	48235		
	2	753	1491	2953	5788	11576	17364	28941	57882		
$ $ CIF $ $ (252 \times 240)	3	984	1955	3808	7235	14470	21705	36176	72352		
(352 × 240)	4	1303	2584	4989	9647	19294	28941	48235	96470		
	5(最低)	2192	4256	8039	14470	28941	43411	72352	144705		
	1 (最高)	319	637	1269	2494	4989	7484	12474	24949		
	2	379	757	1507	2953	5906	8859	14765	29531		
$ HD1 \\ (704 \times 240)$	3	497	991	1955	3808	7616	11424	19040	38080		
	4	660	1315	2584	4989	9979	14969	24949	49898		
	5(最低)	1121	2226	4385	8512	17024	25536	42560	85120		
	1 (最高)	—	319	637	1269	2538	3808	6346	12693		
	2	—	379	757	1507	3014	4522	7536	15073		
$\begin{bmatrix} D1\\ (704 \times 480) \end{bmatrix}$	3	—	497	991	1955	3910	5866	9777	19554		
	4	_	660	1315	2584	5168	7752	12920	25840		
	5(最低)	_	1121	2226	4385	8770	13155	21925	43850		

● C-DR096D20 ハードディスク容量:2TB、音声:あり(4系統)、カメラ9台

単位:時間

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	而后			た	ッメラ1台の	D録画レー	۲		
		8 ips	4 ips	2 ips	1 ips	1/2 ips	1/3 ips	1/5 ips	1/10 ips
	1(最高)	611	1170	2170	3742	6114	7893	10002	12619
015	2	721	1369	2509	4298	6836	8512	10588	13075
$ $ CIF $ _{(252 \times 240)}$	3	929	1750	3100	5047	7752	9647	11607	13825
(352 × 240)	4	1209	2237	3841	6114	8950	10588	12403	14374
	5(最低)	1938	3391	5426	7752	10588	12403	13825	15285
	1(最高)	313	614	1179	2170	3841	5230	7140	10072
	2	371	724	1382	2509	4362	5866	7836	10745
$ HD1 \\ (704 \times 240)$	3	482	935	1750	3100	5230	6890	9006	11796
(704 × 240)	4	635	1219	2237	3841	6246	8039	10142	12730
	5(最低)	1051	1964	3472	5637	8249	10095	11992	14094
	1(最高)	_	313	614	1179	2203	3100	4598	7247
	2	_	371	724	1382	2553	3558	5192	7965
D1	3	_	482	935	1750	3168	4385	6219	9062
	4	_	635	1219	2237	3946	5359	7357	10214
	5(最低)	_	1051	1964	3472	5749	7357	9478	12194

第6章 補 足

● C-DR166D20 ハードディスク容量:2TB、音声:なし、カメラ 16 台

単位:時間

単位:時間

解像度 CIF (352 × 240) HD1 (704 × 240)	面 啠	カメラ1台の録画レート								
	凹貝	8 ips	4 ips	2 ips	1 ips	1/2 ips	1/3 ips	1/5 ips	1/10 ips	
	1(最高)	359	716	1418	2782	5565	8348	13913	27827	
	2	426	851	1682	3288	6577	9866	16443	32887	
(352 X 240)	3	558	1113	2192	4256	8512	12768	21280	42560	
(002 / 240)	4	742	1476	2894	5565	11131	16696	27827	55655	
	5(最低)	1258	2494	4823	9044	18088	27132	45220	90440	
	1(最高)	180	359	716	1418	2837	4256	7093	14186	
	2	214	428	851	1682	3365	5047	8413	16826	
HD1	3	280	560	1113	2192	4385	6577	10962	21925	
(704 × 240)	4	373	745	1476	2894	5788	8682	14470	28941	
	5(最低)	637	1269	2494	4823	9647	14470	24117	48235	
	1(最高)	_	180	359	716	1432	2149	3581	7163	
Di	2	—	214	428	851	1702	2553	4256	8512	
D1	3	_	280	560	1113	2226	3339	5565	11131	
	4	—	373	745	1476	2953	4429	7382	14765	
	5(最低)	_	637	1269	2494	4989	7484	12474	24949	

● C-DR166D20 ハードディスク容量:2TB、音声:あり(4系統)、カメラ16台

密偽귵	而后			た	ッメラ1台の	D録画レー	۲		
解像度 CIF (352 × 240) HD1 (704 × 240)	回貝	8 ips	4 ips	2 ips	1 ips	1/2 ips	1/3 ips	1/5 ips	1/10 ips
	1(最高)	350	683	1307	2385	4174	5637	7669	10588
	2	415	805	1528	2747	4718	6291	8380	11246
CIF (252 × 240)	3	538	1036	1938	3391	5637	7357	9478	12194
(332 × 240)	4	707	1344	2466	4174	6678	8512	10588	13075
	5(最低)	1160	2138	3742	5866	8682	10588	12403	14374
	1(最高)	178	351	686	1307	2425	3418	5012	7752
	2	211	416	809	1528	2800	3910	5637	8478
HD1	3	275	540	1043	1938	3472	4770	6678	9604
(704 × 240)	4	364	710	1356	2466	4298	5788	7836	10745
	5(最低)	611	1170	2170	3742	6114	7893	10002	12619
	1(最高)	—	178	351	686	1319	1904	2949	5030
D.	2	_	211	416	809	1544	2214	3391	5659
D1	3	—	275	540	1043	1964	2782	4174	6709
(104 × 400)	4	—	364	710	1356	2509	3500	5119	7878
	5 (最低)	_	611	1170	2170	3841	5168	7140	10072

● C-DR166D40 ハードディスク容量:4 TB、音声:なし、カメラ 16 台

単位:時間

磁侮귵	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一			た	フメラ1台の	の録画レー	<u>۲</u>			
//HIII/又	凹只	8 ips	4 ips	2 ips	1 ips	1/2 ips	1/3 ips	1/5 ips	1/10 ips	
	1(最高)	718	1432	2837	5565	11131	16696	27827	55655	
	2	853	1702	3365	6577	13154	19732	32887	65774	
(352 X 240)	3	1117	2226	4384	8512	17024	25536	42560	85120	
(352 × 240)	4	1484	2953	5788	11131	22262	33393	55655	111311	
	5(最低)	2516	4989	9646	18088	36176	54264	90440	180880	
	1(最高)	360	719	1432	2837	5674	8512	14186	28373	
	2	428	856	1702	3365	6730	10095	16826	33652	
HD1	3	561	1121	2226	4384	8769	13154	21924	43849	
(704 × 240)	4	747	1491	2953	5788	11576	17364	28940	57881	
	5(最低)	1274	2538	4989	9646	19293	28940	48234	96469	
	1(最高)	_	360	719	1432	2865	4298	7163	14327	
	2	-	428	856	1702	3404	5107	8512	17024	
D1	3	_	561	1121	2226	4452	6678	11131	22262	
(704 × 480)	4	_	747	1491	2953	5906	8859	14765	29531	
	5(最低)	_	1274	2538	4989	9979	14969	24949	49898	

● C-DR166D40 ハードディスク容量:4 TB、音声:あり(4 系統)、カメラ 16 台

単位:時間

									1 - 313			
密偽宦	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一			た	ッメラ1台の	D録画レー	۲					
肝隊反	凹貝	8 ips	4 ips	2 ips	1 ips	1/2 ips	1/3 ips	1/5 ips	1/10 ips			
	1(最高)	701	1367	2615	4770	8348	11275	15339	21176			
	2	830	1610	3057	5495	9437	12583	16761	22492			
	3	1077	2072	3876	6783	11275	14715	18956	24388			
(332 × 240)	4	1414	2688	4933	8348	13357	17024	21176	26151			
	5(最低)	2321	4276	7484	11732	17364	21176	24806	28749			
	1(最高)	356	703	1373	2615	4850	6836	10025	15504			
	2	422	832	1619	3057	5601	7821	11275	16957			
HD1	3	551	1081	2087	3876	6945	9540	13357	19208			
(704 / 240)	4	729	1420	2713	4933	8596	11576	15671	21490			
	5(最低)	1222	2340	4341	7484	12228	15785	20005	25239			
	1(最高)	—	356	703	1373	2638	3808	5898	10060			
D1 (704 × 480)	2	_	422	832	1619	3089	4429	6783	11319			
	3	—	551	1081	2087	3928	5565	8348	13419			
	4	_	729	1420	2713	5018	7001	10238	15757			
	5(最低)	_	1222	2340	4341	7683	10336	14280	20144			

故障かな?と思ったら

症状	調べるところ	対 処
電源が入らない。(電源キー ① を押しても起動しない)	付属の電源コードが本機のインレッ トおよび電源コンセントに接続され ていますか?	電源コードを接続してください。
	後面の電源スイッチは「切」になっ ていませんか?	後面の電源スイッチを「入」にし てください。
電源キー 山 を押しても終了 しない。	電源キー 山 を 2 秒以上押しました か ?	電源キー <u>し</u> を 2 秒以上押してくだ さい。
前面のキー操作ができない。	セキュリティの設定がされていませ んか?	セキュリティ設定で操作レベルが 設定されています。セキュリティ の内容を確認してください。 (P. 3-50「セキュリティ」)
映像が出ない。	モニターの電源は入っていますか?	モニターの電源を入れてください。
	ケーブルは正しく接続されています か?	ケーブルを正しく接続してください。
	モニター出力設定でカメラ映像が 「非表示」になっていませんか?	カメラ映像を「表示」に設定して ください。(P. 4-23「モニター出力 設定」)
音声が出ない。	ケーブルが正しく接続されています か?	ケーブルを正しく接続してください。
	出力する音声チャンネルが正しく選 択されていますか?	出力する音声チャンネルを正しく 選択してください。(P. 3-16「音声 チャンネルを切り換える」)
自動(ノーマル)録画ができない。	スケジュール設定の時間内ですか?	スケジュール設定を時間内に設定 してください。(P. 4-13「スケジュー ル」)
	自動録画の録画間隔設定でノーマル 録画の録画レートが「ー(録画しない)」になっていませんか?	ノーマル録画の録画レートを設定 してください。(P. 4-15「録画間隔 設定」)
自動(アラームイベント)録画 ができない。	スケジュール設定の時間内ですか?	スケジュール設定を時間内に設定 してください。(P. 4-13「スケジュー ル」)
	自動録画の録画間隔設定でアラーム イベント録画の録画レートが「ー(録 画しない)」になっていませんか?	アラームイベント録画の録画レー トを設定してください。(P. 4-15「録 画間隔設定」)
プリ録画ができない。	プリ録画設定で録画時間が「0 秒」 になっていませんか?	録画時間を1 秒以上に設定してく ださい。(P. 4-20 「プリ録画設定」)
	録画中に緊急録画やアラームイベン トが開始されていませんか?	未録画状態で緊急録画やアラーム イベントを開始してください。
音声が録音されない。	音声設定の録音は「する」になって いますか?	音声設定の録音を「する」にして ください。
再生、逆再生ができない。		録画したデータを再生してください。

第6章 補 足

症状	調べるところ	対 処
検索できない。	録画したデータがありますか?	録画したデータを検索してください。
コピーできない。	録画したデータがありますか?	録画したデータをコピーしてくだ さい。
	DVD-R/BD-R または USB メモリー が挿入されていますか?	DVD-R/BD-R または USB メモリー を挿入してください。
DVD-R/BD-R が取り出せない。	BD 取り出しキーを押して、取り出 せますか?	本機の電源キーを2秒以上押して スタンバイ状態にしたあと、BD挿 入トレイの下の穴(強制イジェクト ホール)を先端の細いものなどで押 してください。
ネットワークに接続できな い。	ケーブルは正しく接続されています か?	ケーブルを正しく接続してくださ い。
	ネットワーク設定は正しく設定され ていますか?	IP アドレス、サブネットマスク、 デフォルトゲートウェイ、ポート、 DNS を正しく設定してください。 (P. 4-25「ネットワーク設定」)
	セキュリティソフトが起動したり、 ファイアウォールが設定されていま せんか?	セキュリティソフトやファイア ウォールを適切に設定してくださ い。
リモートコントローラー(C- RM1000)から本機を操作で	ケーブルは正しく接続されています か?	ケーブルを正しく接続してくださ い。
きない。	後面の終端スイッチは正しく終端さ れていますか?	システムの最後に接続するデジタ ルレコーダーの終端スイッチだけ を「入」にしてください。
	リモコン通信速度は正しく設定され ていますか?	リモートコントローラーの通信速 度とあわせてください。(P. 4-29「シ ステム設定」)
	DVR-ID は正しく設定されています か?	DVR-ID を正しく設定してくださ い。(P. 4-29「システム設定」)
	リモコン通信応答が「しない」に なっていませんか?	リモコン通信応答を「する」に設 定してください。(P. 4-29「システ ム設定」)
コンビネーションカメラの操 作ができない。	ケーブルは正しく接続されています か?	ケーブルを正しく接続してくださ い。
	Web ブラウザーまたはリモートコン トローラー(C-RM1000)が接続され ていますか?	本機のキー操作ではコンビネーショ ンカメラは操作できません。 Web ブラウザーまたはリモートコ ントローラー(C-RM1000)を使用 して操作してください。
	カメラモデルやカメラ通信速度は正 しく設定されていますか?	接続されているコンビネーション カメラと合わせてください。 (P. 4-29「システム設定」)
	コンビネーションカメラのアドレス は、本機の映像入力番号と一致して いますか?	コンビネーションカメラのアドレ スを本機の映像入力番号と一致さ せてください。
│ 機器異常の LED が点滅して │ いる。	│ 異常ログの内容を確認してくださ い。(P. 4-36 「異常ログ」)	障害の原因を取り除いてください。 (P. 3-57「異常時の動作」)

6-8 ^{取扱説明書}

* 1 0 dB=1 V

品					番	C-DR096D10	C-DR096D20					
電					源	AC100 V 50 / 60Hz						
消		費	電	i L	カ	57 W (1.3 A)	63 W (1.4 A)					
記	録	X	デ	ſ	ア	SATA ハードディスク 1 TB(1 TB × 1)	SATA ハードディスク2 TB(1 TB × 2)					
画	像	圧	縮	方	式	H.264 (MPEG-4 AVC)						
音	声	記	録	方	式	4 bit、ADPCM、16 kHz サンプリング						
映		像	入		カ	9 系統、VBS1.0V(p-p)、75 Ω、BNC 接枘	 全					
映		像	出	l	カ	9 系統、VBS1.0V(p-p)、75 Ω、BNC 接标	全、ループスルー出力					
Ŧ	Ξ	タ	_	出	力	2 系統、VBS1.0V(p-p)、75 Ω、BNC 接 モニター 2 出力はライブ映像専用(1 画 力と同じ映像を選択可能	全、 面、4 分割のみ)、または、モニター1出					
R	G	В	Ļ	±	カ	1 系統、D-sub コネクター(15P、メス) 解像度:640 × 480、800 × 600、102 1440 × 900、1680 × 1050、19 ※ モニター 1 出力と同じ映像を出力	、アナログ RGB、 4 × 768、1280 × 720、1360 × 768、 20 × 1080 ^{* 2}					
リ	ン	ク	入	カ	* 3	1 系統、VBS1.0V(p-p)、75 Ω、BNC 接标	 全					
音		声	入		カ	4 系統、0 dB ^{*1} 、10 k Ω、不平衝、RCA						
音		声	出	l I	カ	1 系統、0 dB ^{* 1} 、600 Ω、不平衝、RCA	ピンジャック					
ア	ラ	_	4	入	カ	9系統(エッジ、レベル)、無電圧メイク	妾点入力、開放電圧:DC1.7 V、					
						短絡電流:0.3 mA、最小短絡時間:100 ms 以上、ループ抵抗:500 Ω以下、						
						スクリューレスコネクター						
	ント		— J	レ出	ーカ	4系統(緊急録画、アラーム録画、モーショ	ン録画、ハードディスクフル、ハードディ					
						スクエラー、BD エラー、ビデオロス、ファン異常)						
						オーブンコレクター出力、耐電圧:DC3	30 V、制御電流:20 mA、スクリューレ					
41		/~										
制	:	御	人	•	Л	4 糸統(UPS 人刀、調時人刀、緊急録画) 	ヘ刀、アフーム解除人刀)、無電圧メイク					
						按点入力、開放电圧・DOT.7 V、粒裕电/ 最小短終時間・1 e以上(HPS 入力) / 100	msl/l-(調時入力 竪刍録画入力 アラー					
							スクリューレスコネクター					
制	:	御	Щ	ļ	†	2系統(UPS出力1 調時出力) オーフ	<u></u>					
1 10.0		1111		•	//	制御電流:20 mA、スクリューレスコネ						
						1 系統(UPS 出力 2)、オープンコレクタ-	- 出力(High レベル)、開放電圧:DC12 V、					
						短絡電流:40 mA、スクリューレスコネ	クター					
カ	メラ	ラ制	御立	湍 子	* 4	1 系統、RS-485、スクリューレスコネク	ター					
リ	÷ =	コン	制翁	卸端	;子	1 系統、RS-485、スクリューレスコネク	ターまたは RJ11					
НС	DD	増	設	端	子	2 系統、eSATA (および専用制御信号)、	eSATA 端子、およびモジュラー端子					
	ピ	_	端	子	* 5	1系統(コピー、設定外部入力/出力、ロ	(グー括出力)					
+	— F	コッ	クす	湍 子	* 5	1 系統(USB キー登録、USB キーロック))					
RS	S – 1	232	2 C	端	子	1 系統、D-sub コネクター(9P、オス)						
Et	h e	rn	et i	端	子	1 系統、10BASE-T/100BASE-TX、RJ45	、最大転送レート 20 Mbps					
画	·	面	表	č	示	1 画面、4、9 分割、2 倍電子ズーム、シー	- ケンス(シーケンスはライブ映像のみ)					
					-	※ モニター 2 出力は、ライブ映像の 1 画	面、4 分割、シーケンスのみ					
画					質	5段階						
画	素	数()	解修	象度)	352×240 (フィールド)、704×240 (こ	フィールド)、704 X 480 (フレーム)					

仕 様

品番	C-DR096D10	C-DR096D20			
ディスクモード	長時間録画	長時間録画、ミラーリング録画			
録 画 レ ー ト	総録画レート 240 ips (352 × 240)、120 ips (704 × 240)、60 ips (704 × 480)				
	30、15、8、4、2、1、1/2、1/3、1/5、1/10 ips				
録 画 モ ー ド	プリ録画、緊急録画、自動録画(ノーマル	ν録画、アラーム録画、モーション録画)			
プリ録画時間	最大5分(0~300秒)				
緊急録画時間	最大 999 秒(0~999 秒)、無制限				
アラーム録画時間	最大 999 秒(0 ~ 999 秒)、無制限				
モーション録画時間	最大 999 秒(1 ~ 999 秒)、無制限				
モーション機能	感度5段階、16×16モーションブロッ	クでエリア設定可能			
検索機能	日時検索、イベント検索(緊急録画、アラ-	-ム録画、ノーマル録画、モーション録画)			
その他の機能	コピー機能(DVD-R/BD-R、USBメモリ)、セキュリティ機能(パスワード、			
	USB キーロック)、Web サーバー機能(ライブ、再生、リモート、メニュー、				
	カメラ制御、データバックアップ)、調問	持機能(接点端子、NTP)、UPS 連動機能、			
	メール送信機能、ログー括出力、設定外部	部入力/出力、言語選択(日本語/英語)			
適合ディスクメディア	DVD-R (1 層)、DVD-R DL (2 層)、BD-R (1 層)、BD-R DL (2 層)				
日付・時刻	年月日時分秒、24 時間表示、月差士 30 秒以内、対応年 2099 年まで				
許容高度	3,000 m 以下				
使用温度範囲	+5°C∼ +40°C				
使用湿度範囲	80%RH 以下(ただし結露のないこと)				
仕 上	パネル:表面処理鋼板、黒(マンセル N1.0 近似色)、塗装、3 分艶				
	ケース:プレコート鋼板、黒(マンセル N1.0 近似色)				
寸 法	420 (W) \times 96.4 (H) \times 337 (D) mm				
質量	6.8 kg	7.5 kg			

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

- *² 解像度 1920 × 1080 はインタレース方式、それ以外の解像度はプログレッシブ方式で出力します。
- *3 デジタルレコーダー (C-DR091 / 161 シリーズ、C-DR096 / 166 シリーズ)のモニター出力をリンク入力に接続す ると、リモートコントローラー C-RM1000 (別売品)を使用することによって最大 8 台のカスケード接続されたデジ タルレコーダーを操作でき、1 台のモニターで監視できます。
- ** Web サーバー機能またはリモートコントローラー C-RM1000 (別売品)を使用することによってコンビネーションカ メラの操作、メニュー表示/設定が可能です。
- *⁵ FAT16 / FAT32 でフォーマットされた USB1.1 / USB2.0 の USB メモリーに対応しています。 マスストレージクラス (Windows XP / Vista / 7 で「大容量記憶装置デバイス」と認識されるもの)のみ使用可能で す。

第6章 補 足

* 1 0 dB=1 V

品番	C-DR166D20	C-DR166D40			
電源	AC100 V 50 / 60Hz	·			
消費電力	63 W (1.4 A)	70 W (1.5 A)			
記 録 メ デ ィ ア	SATA ハードディスク 2 TB(1 TB × 2)	SATA ハードディスク 4 TB(2 TB×2)			
画像圧縮方式	H.264 (MPEG-4 AVC)				
音声記録方式	4 bit、ADPCM、16 kHz サンプリング				
映像入力	16 系統、VBS1.0V(p-p)、75 Ω、BNC 接	轻			
映像出力	16 系統、VBS1.0V(p-p)、75 Ω、BNC 接	全、ループスルー出力			
モニター出力 	2 系統、VBS1.0V(p-p)、75 Ω、BNC 接栓、 モニター 2 出力はライブ映像専用(1 画面、4 分割のみ)、または、モニター 1 出 力と同じ映像を選択可能				
R G B 出 力	1 系統、D-sub コネクター(15P、メス)、アナログ RGB、 解像度:640 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 720、1360 × 768、 1440 × 900、1680 × 1050、1920 × 1080 ^{* 2} ※ モニター 1 出力と同じ映像を出力				
リンク入力*3	1 系統、VBS1.0V(p-p)、75 Ω、BNC 接标	全			
音声入力	4 系統、0 dB ^{* 1} 、10 k Ω、不平衝、RCA	A ピンジャック			
音声出力	1 系統、0 dB ^{* 1} 、600 Ω、不平衝、RCA	ピンジャック			
ア ラ ー ム 入 カ	16 系統(エッジ、レベル)、無電圧メイク接点入力、開放電圧:DC1.7 V、 短絡電流:0.3 mA、最小短絡時間:100 ms 以上、ループ抵抗:500 Ω以下、 スクリューレスコネクター				
コントロール出力	4系統(緊急録画、アラーム録画、モーショ スクエラー、BD エラー、ビデオロス、 オープンコレクター出力、耐電圧:DC3 スコネクター	ン録画、ハードディスクフル、ハードディ ファン異常) 30 V、制御電流:20 mA、スクリューレ			
制御入力	4 系統(UPS 入力、調時入力、緊急録画入力、アラーム解除入力)、無電圧メイク 接点入力、開放電圧:DC1.7 V、短絡電流:0.3 mA、 最小短絡時間:1 s以上(UPS 入力)/100 ms以上(調時入力、緊急録画入力、アラー ム解除入力)、ループ抵抗:500 Ω以下、スクリューレスコネクター				
制御出力	 2 系統(UPS 出力 1、調時出力)、オープンコレクター出力、耐電圧:DC30 V、 制御電流:20 mA、スクリューレスコネクター 1 系統(UPS 出力 2)、オープンコレクター出力(High レベル)、開放電圧:DC12 V、 短絡電流:40 mA、スクリューレスコネクター 				
カメラ制御端子*4	1 系統、RS-485、スクリューレスコネクター				
リモコン制御端子	1 系統、RS-485、スクリューレスコネクターまたは RJ11				
HDD 増設端子	2系統、eSATA (および専用制御信号)、	eSATA 端子、およびモジュラー端子			
コピー端子*5	1系統(コピー、設定外部入力/出力、□	1グー括出力)			
キーロック端子*5	1 系統(USB キー登録、USB キーロック))			
RS-232C 端 子	1系統、D-sub コネクター(9P、オス)				
Ethernet 端 子	1 系統、10BASE-T/100BASE-TX、RJ45	i、最大転送レート 20 Mbps			
画 面 表 示 	1 画面、4、9、16 分割、2 倍電子ズーム、シ- ※ モニター 2 出力は、ライブ映像の 1 画	ーケンス(シーケンスはライブ映像のみ) 国面、4 分割、シーケンスのみ			
画質	5段階				
画 素 数(解 像 度)	352×240 (フィールド)、704×240 (フ	フィールド)、704 X 480 (フレーム)			
ディスクモード	長時間録画、ミラーリング録画				
録 画 レ ー ト 	総録画レート 240 ips(352 × 240)、120 30、15、8、4、2、1、1/2、1/3、1/5、1) ips (704 $ imes$ 240) 、60 ips (704 $ imes$ 480) /10 ips			

品番	C-DR166D20	C-DR166D40				
録 画 モ ー ド	プリ録画、緊急録画、自動録画(ノーマル	☆録画、アラーム録画、モーション録画)				
プリ録画時間	最大5分(0~300秒)					
緊急録画時間	最大 999 秒(0 ~ 999 秒)、無制限					
アラーム録画時間	最大 999 秒(0 ~ 999 秒)、無制限					
モーション録画時間	最大 999 秒(1 ~ 999 秒)、無制限					
モーション機能	感度 5 段階、16 × 16 モーションブロックでエリア設定可能					
検索機能	日時検索、イベント検索(緊急録画、アラ-	-ム録画、ノーマル録画、モーション録画)				
その他の機能	コピー機能(DVD-R/BD-R、USBメモリ	-)、セキュリティ機能(パスワード、				
	USB キーロック)、Web サーバー機能(ライブ、再生、リモート、メニュー、カ				
	メラ制御、データバックアップ)、調時機能	能(接点端子、NTP)、UPS 連動機能、メー				
	│ ル送信機能、ログー括出力、設定外部入力/出力、言語選択(日本語/英語)					
適合ディスクメディア DVD-R (1 層)、DVD-R DL (2 層)、BD-R (1 層)、BD-R DL (2 層)						
日付・時刻	年月日時分秒、24 時間表示、月差士 30	秒以内、対応年 2099 年まで				
許容高度	3,000 m 以下					
使用温度範囲	+5°C ~ +40°C					
使用湿度範囲	80%RH 以下(ただし結露のないこと)					
仕 上	パネル:表面処理鋼板、黒(マンセル N1.0 近似色)、塗装、3 分艶					
	ケース:プレコート鋼板、黒(マンセル N1.0 近似色)					
寸 法	420 (W) \times 96.4 (H) \times 337 (D) mm					
質量	7.6 kg	7.9 kg				

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

- *2 解像度 1920 × 1080 はインタレース方式、それ以外の解像度はプログレッシブ方式で出力します。
- *³ デジタルレコーダー (C-DR091 / 161 シリーズ、C-DR096 / 166 シリーズ)のモニター出力をリンク入力に接続す ると、リモートコントローラー C-RM1000 (別売品)を使用することによって最大 8 台のカスケード接続されたデジ タルレコーダーを操作でき、1 台のモニターで監視できます。
- ** Web サーバー機能またはリモートコントローラー C-RM1000 (別売品)を使用することによってコンビネーションカ メラの操作、メニュー表示/設定が可能です。
- *⁵ FAT16 / FAT32 でフォーマットされた USB1.1 / USB2.0 の USB メモリーに対応しています。 マスストレージクラス (Windows XP / Vista / 7 で「大容量記憶装置デバイス」と認識されるもの)のみ使用可能で す。

● パーソナルコンピューター要件(Web サーバー機能、ビューアー機能使用時)

パソコン	PC-AT 互換機(ネットワ-	- ク対応)				
パソコン要件	CPU	:Intel Core2 Duo 2.0 GHz 以上、メモリー 2 GB 以上				
	グラフィック	: 解像度 1024 × 768 以上、ビデオメモリー 256 MB 以上、 16 bit カラー以上				
	HDD 空き容量	:1 GB 以上				
	対応 Web ブラウザー	: Internet Explorer 8 / 9				
0 S	Windows XP Home Edition (32bit 版) Service Pack3					
	Windows XP Professional (32bit 版) Service Pack3					
	Windows Vista Business (32bit 版) Service Pack2					
	Windows 7 Professional (32bit 版) Service Pack1					
	Windows 7 Professional	(64bit 版) Service Pack1				

※本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※ Intel Core は米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

※ Blu-ray Disc および Blu-ray は、Blu-ray Disc Association の商標です。

※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。

● 付属品

電源コード(2m)	1
eSATA ケーブル固定金具	2
金具取付ねじ	2

● 別売品

ラックマウント金具 :MB-23B

機器保証書

		H	製造(ロット)番号		
^{EE}		畨			この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行う
保	証其	期間	お買い上げ日から1 年間		ことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、 本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご
お	買_	上日	年月日	1:	Ω 椎 Ϛ /こ ⊂ い。
	ご		ТСС () –		住所・店名・TEL
お	住	ii i		販	
客	所			売	
様	お女		++	店	
	山前		依		

上記保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管して ください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記を よくお読みください。

h

<無償修理規定>

- 上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに 従った、正常な使用状態で万一故障した場合、お買い上げの販売店に 修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。お買い上 げの販売店が無償修理を致します。
- 2. 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
 - (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - (2) お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧に よる故障および損傷。
 - (4) 離島および離島に準ずる遠隔地への出張旅費および壁面・高所・ 難所に設置されている場合のセットの取り外し・取り付けを行っ た場合はそれに要する実費。
 - (5) 自然消耗により部品を交換する場合。
 - (6) 本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - (7) 保証書のご提示がない場合。

(8)保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、 または、字句が書き換えられた場合。

3. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan. 修理メモ

- * 本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできませ
- * この保証書は本書に明記した期間、条件の下において無償修理をお約 束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利 を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて ご不明の場合、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお問 い合わせください。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル	0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、および
商品の内容や組み合わせ、設置方法などにつ	ナビダイヤル	0570-064-475(有料)	カタログのご請求については、取り扱い店または最寄
いての技術的なお問い合わせにお応えします。	FAX	0570-017-108(有料)	りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所に
受付時間 9:00 ~ 17:00(土日、祝日除く)	※ PHS、IP 電話;	からはつながりません。	ついては、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供すること があります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ http://www.toa.co.jp/



133-02-00300-00